



報 会 師 剤 薬 沖 縄

No.326. 2025(令和7年) 1・2月号



沖 縄 県 薬 剤 師 会

目次

表彰	学校薬剤師制度創設70周年記念事業文部科学大臣表彰 上原陽子先生 平安山 丈継 (2)
	那覇地区学校保健功労者表彰 吉田洋史先生…………… 平安山 丈継 (2)
	被災地支援薬剤師へ感謝状授与…………… 長嶺 勇作 (3)
年頭挨拶	新年のご挨拶…………… 前濱 朋子 (4)
	新年のご挨拶…………… 岩月 進 (5)
	新年のあいさつ…………… 糸数 公 (6)
	新しい年を迎えて…………… 本田 顕子 (7)
	新年にあたって…………… 神谷 政幸 (8)
	年頭ご挨拶…………… 國場 幸之助 (9)
	ご挨拶…………… 宮崎 政久 (10)
	新年のご挨拶…………… 島尻 安伊子 (11)
	年頭のご挨拶…………… 西銘 恒三郎 (12)
	年頭のご挨拶…………… 比嘉 奈津美 (13)
	新年のご挨拶…………… 渡嘉敷 奈緒美 (14)
	新年のご挨拶…………… 島袋 大 (15)
	新年のご挨拶…………… 新垣 淑豊 (16)
祝賀会	令和6年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催…………… 川平 真央 (18)
	令和6年度受賞者プロフィール…………… (25)
薬と健康の週間	薬祖祭…………… 大城 喜仁 (39)
	くすりと健康フェア…………… 村田 美智子 (40)
	県民公開講演会…………… 柴田 忠佳 (41)
	「健康とおくすり相談会」「薬剤師になろう！こども調剤体験」…………… 島袋 さゆり (42)
	広報活動について…………… 川平 真央 (45)
	論壇 深刻な県内の薬剤師不足…………… 古謝 玄太 (46)
	論壇 超高齢化社会に突入した日本 薬剤師の役割さらに重要に…………… 喜友名 朝史 (47)
	くすりと健康フェア告知チラシ…………… (48)
転載記事	毎日新聞「薬と健康の週間」企画誌面
	セルフケア・セルフメディケーションの強い味方が薬剤師…………… 日本薬剤師会 (49)
	第1回 薬剤師はあなたの健康をサポートします…………… 日本薬剤師会 (50)
	第2回 薬局でも医療DXが進んでいます！…………… 日本薬剤師会 (50)
	第3回 薬剤師によるフォローアップ、ご存知ですか…………… 日本薬剤師会 (51)
	第4回 薬剤師と考える災害への備え…………… 日本薬剤師会 (51)
沖縄学術大会	第37回沖縄県薬剤師会学術大会…………… 潮平 英郎 (52)
	第37回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会…………… 川平 真央 (60)
	会員発表審査報告…………… 中尾 滋久 (61)
	奨励賞受賞発表要旨…………… (62)
保健・福祉	令和6年度薬剤師認知症対応力向上研修…………… 中尾 滋久 (64)
	なごみ会主催第11回県民健康フェア2024報告
	健康とおくすり相談ブース…………… 高橋 優斗 (66)
	こども調剤体験ブース…………… 東恩納 美月 (67)
	論壇 健康長寿のかぎ握る働き盛り世代 意識高めること重要だ…………… 松本 圭五 (68)
卸薬部会	令和6年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会…………… 鈴鹿 玲子 (69)

・表紙

題字：豊平峰雲

「好古」太田節子書

地区だより	卸の営業所なし、地域薬が「急配」 沖縄北部の備蓄センター、1600品目そろえ職員が対応 …… (72)
	地域の課題解決にフォーミュラリ 沖縄北部、流通難・基幹病院の薬選定にも期待 …… (73)
	第197回健康とおくすり相談会 …… 長田 ゆかり (74)
ぶれいくたいむ	祖母の財布 …… 大城 尚美 (75)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報 …… 薬達ちやー (76)
D I	薬事情報おきなわNo. 283 …… 薬事情報センター (77)
試験検査センター	試験検査センターからのお知らせ …… (91)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第68回暮らしの中の薬草学 マツリカ …… 狩俣 イソ (92)
リレー随筆	ファッションショー …… 喜久山 有沙 (94)
薬連だより	オレンジ日記「新年度に向けて～令和7年度予算編成ほか～」 …… 本田 顕子 (96)
	政幸だより「創薬への取り組み」 …… 神谷 政幸 (97)
日薬通達	医薬品販売制度に関する自己点検結果について …… 日本薬剤師会 (98)
	2025年薬剤師賠償責任保険・サイバー保険等の加入募集について …… 日本薬剤師会 (102)
会務報告	令和6年12月～令和7年1月分 …… (110)
ぶれいくたいむ	写真集 …… 池間 きよ (113)
会員作品	誌上ギャラリー（裏表紙）について…令和6年度誌上ギャラリー大賞&優秀賞決定！ (114)
編集後記	…… (114)
お知らせ	沖縄県薬剤師会Facebookをご覧ください！ …… (65)
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！ …… (71)
	会報原稿募集のご案内 …… 広報委員会 (95)
	沖縄県薬剤師連盟Facebookをご覧ください！ …… (97)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について …… (109)

薬剤師綱領

一 薬剤師は国から付託された資格に基き、
 医薬品の製造、調剤、供給において、その固有
 の任務を遂行することにより、医薬水準の向
 上に資することを本領とする

一 薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職
 としてその職能を發揮し、国民の健康増進に
 寄与する社会的責務を担う

一 薬剤師はその業務が人の生命健康にかかわる
 ことに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の
 成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう
 努める。

日本薬剤師会

学校薬剤師制度創設 70 周年記念事業文部科学大臣表彰

上原 陽子先生 おめでとうございます！



上原先生は、平成元年4月に糸満市内複数校の学校薬剤師に委嘱され以来、29年間学校薬剤師活動を続け、薬物乱用防止教室、環境衛生検査などを実施し、学校保健活動の向上に貢献した。また、若手学校薬剤師の発掘と育成、教育委員会との交渉、学校薬剤師の地区研修会の実施にあたるなど、学校薬剤師の資質向上に貢献されたことで今回の受賞となっております。

上原陽子先生、この度の受賞誠におめでとうございます。（文：事務局 平安山丈継）

那覇地区学校保健功労者表彰

吉田 洋史先生 おめでとうございます！



吉田先生は、平成25年4月から那覇市立神原中学校の学校薬剤師を担当。専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献した。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与したことで今回の受賞となっております。

吉田洋史先生、この度の受賞誠におめでとうございます。（文：事務局 平安山丈継）

被災地支援薬剤師へ感謝状授与



左より、石田浩氏、桑江航氏、前里氏の代理を務めた古謝真己氏。



浦嶋博人氏



玉城武範氏



前里由紀子氏

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地において、薬剤師としての職能を発揮し、支援薬剤師として活躍された功績を称え、日本薬剤師会から贈られた感謝状の授与式を行いました。

感謝状を贈られた石田浩氏から「実際に被災地に行ってみると大変な状況で、どう動いたらいいのか大変勉強になった。沖縄で万が一（災害が）発生した際には力になりたい。」、桑江航氏からは「沖縄県の第一陣として（被災地へ）行かせていただいた。被災地に行つて分かることが多く、普段の対策などを考え

るきっかけになった。沖縄で（災害が）いつ発生するか分からないので、伝達など発災時に備えた対応をしていきたい。」と述べた。

伝達式に参加できなかった先生もおりましたが、被災地支援に入られた会員の先生方にご場を借りて深く感謝申し上げます。

（文：事務局 長嶺勇作）

本会から派遣した支援薬剤師（派遣日順）

- 桑江 航（令和6年1月25日～29日）
- 前里 由紀子（令和6年2月6日～10日）
- 玉城 武範 ○石田 浩 ○浦嶋 博人（令和6年2月9日～13日）



新年のご挨拶

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長
前濱 朋子



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、能登半島を震源とする地震や各地での豪雨などの災害が多い年でした。沖縄県でも本島北部で、豪雨による土砂崩れや床上浸水などが発生しました。

被災された全ての方々、その関係者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、いち早い復旧と穏やかな日常生活が戻りますよう、心よりお祈り申し上げます。

7年連続の薬価改正や薬剤師、事務員の確保難、人件費の高騰などにより薬局の経営は大変厳しい状況が続いております。後発医薬品における産業構造の問題や原料不足などを要因として未だ安定しない薬剤供給状況の中、医療DXは着々と進んでおります。今年は「2025年の崖」といわれるように少子高齢化による人材不足や老朽化した基幹システムへの対応などIT業界ではDXの遅れが危惧されております。これが医療界では団塊の世代が75歳以上となる時期と重なり、医療費の

適正化や人材不足への対応にDXが欠かせないものとして推進されています。医療DXが進展して行く中、我々薬剤師がどう利用して、地域のため、患者のために役立てることが出来るかという視点を忘れてはいけません。

さて、本会では、琉球大学病院の移転に伴い、門前にある会営薬局を昨年十二月三十一日をもって閉局いたしました。沖縄県下でも院外処方箋応需薬局の先駆けとなった会営薬局の閉局に、大変残念だという声を多くの会員、患者様からいただきました。今後は、残りの2つの会営薬局での事業の充実に取り組んでいく所存です。

今年は巳年。蛇は脱皮し新たな姿に生まれ変わることから、新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年ともいわれておりますように、会員の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、今後とも本会事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年新春





新年のご挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会 会長
岩月 進



新年明けましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から日本薬剤師会の会務に格別のご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年は、能登半島を震源とする地震や各地での豪雨などによる災害が続いた一年となりました。犠牲になられた皆様に深く哀悼の意を表するとともに、被災地の皆様に心より謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く日常生活を取り戻せるように、そして本年が穏やかな年となることを心よりお祈り申し上げます。

さて、令和7年は、地域包括ケアシステムの構築目標年とされています。住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援のサービスが一体的に提供されるシステムを構築し、その中ですべての薬局がかかりつけ薬局としての機能を持つことが求められています。また、昨年4月から、各都道府県において第8次医療計画がスタートしたところです。こうした地域包括ケアシステムの構築や医療計画の策定・実施にあたっては、各地域・都道府県において、当該地域の実情を踏まえ、医療・介護に携わる関係職種や行政等の関係者と密に連携を図りながら作り上げていくことが基本となります。まずは、地域薬剤師会が中心となって地域住民が医薬品提供サービスを確実に享受できる環境を作り、その上で、都道府県薬剤師会には、より広域での医薬品

提供体制を構築するなどその地域での活動だけでは解決できない課題を検討し、地域薬剤師会の活動を支えていただきたいと考えており、地域の自主性や主体性に基づいた積極的な取組みに期待をしているところです。

日本薬剤師会としては、地域の薬剤師・薬局がその役割を果たすための環境づくりを進めていきたいと考えています。地域住民の医薬品アクセスを確保し、安全・安心な医薬品提供システムの確立に向けて、本会の政策提言である「地域医薬品提供計画」の策定・実現を目指し、全力で取り組んでいきたいと考えています。

さらに、昨年は、厚生労働省の検討会において、次期制度改正に向けた議論が行われました。本会としては、①安全性の確保と実行性を両立した医薬品販売制度、②地域に必要な医薬品提供体制の構築・確保、③医薬品の安定供給、ドラッグ・ラグ/ロスの解消を実現すべく、必要な制度改正が行われるよう意見を述べてまいりました。今年は、関係法令の改正や施行のための具体的な準備が進められることと思いますが、薬剤師・薬局が薬学的知見に基づき国民の生活を守る医療職種として活躍するよう、関係の皆様のご協力をいただきながら、引き続き適切に対応をして参る所存です。

結びにあたり、沖縄県薬剤師会会員の皆様にとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。



新年のあいさつ

沖縄県保健医療介護部長
糸数 公



はいさい、ぐすーよー、いいそーぐあちでーびる。

新年あけましておめでとうございます。沖縄県薬剤師会の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県の薬務行政の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、能登半島を震源とする地震や全国各地で豪雨などによる災害が続いた1年となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま及び御家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、本県では昨年3月に第8次沖縄県医療計画を策定いたしました。同計画では、災害時における支援医薬品等の管理や県外から派遣される薬剤師の受け入れ調整等の役割が期待される「災害薬事コーディネーター」の養成が明記されております。県では昨年2月に、初めてとなる災害薬事コーディネーター養成研修会を開催し、沖縄県薬剤師会から御推薦いただいた17名の薬剤師を沖縄県災害薬事コーディネーターとして登録いたしました。引き続き、災害薬事コーディネーターの養成等に御理解御協力をよろしく願いいたします。

また、本年（2025年）は、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築目標年とされています。「地域包括ケアシステム」の一翼を担う薬局・薬剤師は、服薬情報の一元

的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導に加え、24時間対応・在宅対応や、医療機関等との連携、薬物療法の専門家として、その機能や職能を発揮していくことが期待されています。皆さまにおかれましては、日々の業務でご多忙のことと思いますが、薬物療法の専門家として患者さんや現場の視点を基に薬剤師の新たな業務や役割等について、御発信・御提案いただきたいと思います。

一方で、本県では薬剤師が慢性的に不足しており、薬剤師の確保が重要な課題となっているところです。そのため県では、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」及び「沖縄県薬剤師確保計画」に基づき、県内での就業を目的とした奨学金の返還助成や県内国公立大学への薬学部設置等の総合的な薬剤師の確保・養成に取り組んでおりますので、引き続き、皆さまの御協力をお願いいたします。

最後になりますが、近年、市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）が社会問題となっております。県では、薬物乱用防止対策として、沖縄県薬剤師会、県警及び沖縄県薬物乱用防止協会等の関係機関、関係団体と連携し、学校、地域における薬物乱用防止講習会や薬物乱用防止街頭キャンペーン、SNSや動画共有サービス等を活用した普及啓発活動を実施しています。今後とも、本県の薬物乱用防止対策に一層の御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、沖縄県薬剤師会の限りない御発展と会員の皆さまの御健勝と御活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



新しい年を迎えて

文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかに新たな年を迎えられたことと存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は元日に能登半島地震が発生しました。復旧・復興に向けた活動は、被災地の皆様のご努力と全国からの温かいご協力に支えられながら今も続けられています。その日から1年、大規模災害に見舞われた全国各地の一日も早い復旧・復興を願うにあたり、改めて防災対策の強化・徹底の必要性を痛切に感じます。

また、昨年は第8次医療計画の下で地域の実情に即した医療提供体制が動き出した年でもありました。報酬上の評価と連動させた形で医療政策の実効性を高め、地域医療構想を実現へと導く大事な時期を迎えています。そのため、引き続き本年も物価高対策や賃上げ対応につながる経済対策を講じつつ、地域医療介護総合確保基金の活用等を通じて必要な医療人材を確保のうえ、5疾病6事業および在宅医療の全てにおいて薬局の機能および薬剤師の職能を遺憾なく発揮して、地域医療を支えていただくことを祈念します。

本年は巳年。

脱皮を繰り返すヘビの特性が常に「生まれ変わる」ことを連想させ、餌を食べなくても我慢強く生きながらえるため、「生命（いのち）」や「生命力」を象徴する動物として医療との縁が深いとされており、薬学のシンボルとも言われる「ヒュギエイア（Hygieia）

の杯（さかずき）」にはヘビが巻き付いています。

医薬品を濫用等させないための販売方法の確立、必要な医薬品・医療機器の開発および品質確保などを念頭に置いた薬機法改正や、電子処方箋の普及などに伴う薬局の更なるDX化、そして医薬品供給不足の解消など、本年も喫緊の課題への対応が控えております。

そのような中、「健康」、「衛生」といった言葉の語源とも言われる女神ヒュギエイアに倣い、国民のいのちと暮らしを守るために、参議院議員としての5年余りの経験と、その間の約2年に及ぶ大臣政務官としての実績を生かし、これからも薬剤師や薬業界を取り巻く現下の課題解決と政策実現に向けて力を尽くしてまいります。

現在は自民党女性局長として、全国の党员の方々と語る機会を通じて党の信頼回復に努めているところ、自民党は結党70年を迎えた今こそ、立党の精神「政治は国民のもの」に立ち返らなければならないと考えています。

結びに、会員の皆様にとりまして本年が実り多き1年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2025年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。





新年にあたって

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

医療DXの推進について政府は、今後さらに進む少子高齢化や人口減少社会において、より質の高い医療やケアを効率的に提供する体制を構築するとともに、医療分野のイノベーションを促進し、その成果を国民に還元していく環境整備を進めることとしています。薬剤師を取り巻く環境の変化の中で、現在、電子処方箋の発行を含む、全国医療情報プラットフォームの整備が進んでいます。これは、医療機関や介護施設、公衆衛生機関等でそれぞれに保存・管理されている患者の医療関連情報を、一つに集約して閲覧共有・管理するための新しいシステムであり、全国でリアルタイムに共有できる状況を目指しています。

リアルタイムに処方・調剤情報が把握できることで、重複投薬や併用禁忌チェック、適切な服薬指導の実施、効率的なフォローアップの実現、さらには電子処方箋ネットワークを活用した医療機関への効率的なフィードバックも可能となることが期待され、薬剤師に対する評価はさらに高まるものと考えます。

昨年2024年の骨太の方針に、調剤録等の薬局情報のDX・標準化の検討を進めることが明記されました。薬剤師・薬局情報のDX化や地域における医薬品提供体制の構築に積極的に取り組んでまいります。

本田あきこ先生と共に皆様の声を国政の場に届け、国民や患者さんに対し、安心・安全な薬物療法の提供等にご尽力されておられる先生方のお役に立てるよう、今年もしっかりと仕事をしてまいります。

結びに、会員の皆様の益々のご活躍と、本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。





年頭ご挨拶

衆議院議員
國場 幸之助



新年明けましておめでとうございます。
皆様には平素より格別のご理解ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は国土交通副大臣の任務を無事に終えることができ、またおかげさまをもちまして衆議院議員として5期目迎えることができました。沖縄にこだわり、沖縄から日本を変える。常にふるさと沖縄を原点に、引き続き平和創造の拠点と強い経済を実現すべく全力で取り組んで参りますので、変わらぬご支援ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様を取り巻く環境は大きな変化が続き、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に落ち着きを見せる中で、薬剤師の皆様の役割もまた新たな局面を迎えているものと存じます。地域に根差した医療の充実が求められる中、県民の健康を支える専門職として、より一層の貢献が期待されています。

特に、令和6年度の診療報酬改定では、薬剤師の職能を最大限に活かし、医療提供体制の効率化を図ることが重要視されています。地域包括ケアシステムの充実や、ポリファーマシー対策、薬剤師の対人業務の強化など、多くの課題に対応することが求められます。こうした変化に対応するためには、薬剤師の皆様おひとりおひとりが専門知識を深めるとともに、地域医療の中での役割を明確にしていくことが不可欠であると考えております。また、昨年よりスタートした「リフィル処方箋」の導入や「オンライン服薬指導」の普及により、利便性が向上するとともに、薬剤師としての対応力が発揮される場面も増えて参りました。おひとりおひとりに寄り添いながら、適切な薬学的管理を行い、医師や他の医療従事者と連携することで、安全で質の高い

医療を提供していくことが求められます。

この世に生を受けてから一度たりとも薬を口にすることが無い人は皆無に等しく、薬は命を保つために不可欠なものです。ただ、その使用法など認識を誤ると生命に係る側面を有していることも確かで、そのため私達の健康維持や病の治療に大きく関わっているのが薬剤師の皆様です。日頃、安心・安全に薬を服用できるのは、皆様の蓄積された知見と日々の研鑽の賜物でありますことを、我々は改めて認識すべきものと存じております。そのためにも、最新の医療情報の共有や研鑽のための継続教育の充実、そして会員同士の交流の活性化など、様々な取り組みを確実に前に進めるとともに、しっかりと連携を強化していくことも重要でございます。

社会全体としては少子高齢化が進み、医療・介護のニーズがますます高まっています。こうした状況の中、薬剤師としての役割、皆様だからこそできることが大変重要であり、大切になっていくと思っています。「かかりつけ薬剤師」として、単に薬を渡すだけでなく、生活習慣のアドバイスや健康相談にも応じることなどで、地域に密着した医療の提供がより充実したものとなっていきますように、その専門性を活かし、より一層の社会貢献を果たせるよう、皆様のご活躍を期待しております。

結びになりますが、本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう、沖縄県薬剤師会のみならずのご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

いつも誠にありがとうございます。本年もよろしくお願い致します。



ご挨拶

衆議院 経済産業委員長
衆議院議員
宮崎 政久



新年あけましておめでとうございます。

前濱会長をはじめ、沖縄県薬剤師会の皆様、ご関係のすべての皆様におかれましては、お健やかに新たな年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、貴会ならびに会員の皆様からひとかたならぬご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。第50回衆議院総選挙に際しては、宮崎政久に対し多大なるご尽力とお力添えを賜り誠にありがとうございました。比例区にて復活当選を果たすことができました。これもひとえに皆様の御支えの結果です。心より御礼申し上げます。

改めまして、日頃より、地域医療の最前線で尽力される薬剤師の皆様のご努力に心から敬意を表します。特に近年、新型コロナウイルス等の感染症の対応や、地域医療のさらなる充実に向けた活動において、薬剤師の皆様が果たす役割はますます重要となっております。その献身的な働きに、地域住民を代表して深く感謝申し上げます。

今年も、沖縄県が抱える医療課題の解決に

向けて、皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。高齢化が進む中、地域包括ケアの充実や薬剤の適正使用の推進は喫緊の課題です。私は国政の場において、皆様の現場の声をしっかりと届け、薬剤師の皆様がより良い環境で活動できるよう尽力してまいります。

また、薬剤師の職能がさらに発展し、地域住民の健康を支える重要な柱となるための制度や施策の実現に向けて、引き続きご協力を賜れば幸いです。県民の健康を支えていただくとともに、県民の医療福祉の向上のため、ご貢献いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、前濱会長はじめ役員の皆様、そして会員の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

令和7年1月吉日



新年のご挨拶

衆議院議員
島尻 安伊子



令和七年の新春を迎えるに当たり、前濱会長はじめ、沖縄県薬剤師会の皆様にご挨拶を申し上げます。

地域医療の担い手として、高い倫理観と職能技術に基づく使命感をもって、薬事衛生業務に取り組み、県内の公衆衛生の向上及び増進に貢献され、また県民の健康で安心安全な生活を確保することに常日頃からご尽力いただき、心から敬意を表する次第であります。

昨年は、元日の能登地方を震源地とする能登半島地震により大変な災害が発生しました。これまでに多数の人的被害、建物倒壊、火災など、非常に大規模な被害が確認されている状況です。被災地では、各医療機関が多数の負傷者・患者に対応している状況です。このような状況は長期化することが予想され、被災地の病院や避難所巡回の医療チームでも薬剤師不足が生じることが予想されます。被災地で調剤や避難所の環境衛生業務などを担いながら、全国各地から医薬品提供体制の確保にご尽力されている関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。

また近年では、情報通信技術が進展する中で、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを通じた社会活動が増加するとともに、OTC医薬品の活用をはじめとするセルフケア・セルフメディケーションの推進が図られるなど、国民と医薬品を取り巻く状況は大きく変化しています。

さらに、インターネットやSNS等により、医薬品に関する様々な情報が容易に入手可能

となったことも背景に、一般用医薬品の濫用等の安全性確保に関する課題が新たに生じてきております。

このような状況の下、医薬品のリスクを踏まえ、医薬品の安全かつ適正な使用を確保するとともに、医薬品の使用に当たり適切な情報理解が必要であることについて、国民への浸透を図るとともに、国民が薬剤師等から情報提供を受け、相談しやすい環境を整備する対策が必要であると考えております。

近年では、医療分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)が進められており、マイナポータル等を通じた各種医療情報共有、電子処方箋やオンライン服薬指導、電子お薬手帳などICT等の技術発展に伴い、薬剤師を取り巻く環境も急速に変化しております。これらの技術を効果的に活用していただき、地域医療の担い手として、地域住民の健康づくりの拠点となる薬局や薬剤師の皆様方には、県民の健康維持、促進のために引き続き、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

私も、県内の慢性的な薬剤師不足の状況を踏まえつつ、県民の悲願である薬学部新設に関しての、ご要請に対しましても、関係省庁と引き続き連携して取り組んで参る所存であります。

結びに、沖縄県薬剤師会のみすますのご発展と前濱会長はじめ貴会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ、よろしくお願いたします。



年頭のご挨拶

元 復興大臣・元内閣府特命担当大臣(沖縄および北方対策)

衆議院議員

西銘 恒三郎



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

沖縄県薬剤師会の皆さまにおかれまして、平素は格別のご支援ご理解を賜り厚く御礼申し上げますと共に、県民の医療向上と命と暮らしを守ってられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

日本経済の牽引役と期待をされているここ沖縄県ですが、歴史・伝統・文化の豊かな離島が多いのが特色の一つです。離島などの医療体制は脆弱であり、円滑な薬剤提供を推進するため実効性ある取り組みを後押しすることは勿論の事、医師派遣の充実や勤務環境改善の為の更なる支援を講じてまいりますので、調剤業・服薬指導等を通じて県民の健康管理に寄り添っていただく等、変わらぬご協力を宜しくお願い致します。東アジアにより近い沖縄県の特性を活かし、医療の充実豊かな地域社会を形成する為にも、国政の場より皆さま方としっかりと連携し取り組んで参ります。

時代の変化に対応すべく、電子お薬手帳やオンライン資格確認、電子処方箋の普及拡大は更に進むものと考えます。全国の薬局情報を統一的に管理し、データベースとして検索し活用するなど、利便性向上の為には支援システムも強化していく必要があります。安心できる保健医療体制の構築に向けて、薬剤師の確保・育成が重要であると考えております。加えて、深刻な少子高齢化・人口減少社会を迎える中で、全世代型社会保障の構築に向けた取り組みは急務であり、医療提供体制や規

制緩和の見直しも含め、地域包括ケアシステムを踏まえた地域の介護・医療・医薬品など、提供体制の更なる向上の為の取り組みを進めていく必要があります。あわせて、地域医療の一翼を担い、地域住民が健康について気軽に相談できる身近な存在としての『かかりつけ薬局・薬剤師』に係る取り組みを着実に進めていくことが重要であります。

地域の医薬品提供体制において、薬局や薬剤師への期待は今後益々大きくなるものと考えております。地域への医薬品提供を担う薬剤師の皆さまの知見を十二分に発揮いただく環境づくりに、国政の場において全力で取り組んでまいります。こうした取組には、皆さまのご支援ご協力が不可欠でございますので、今後ともより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

冒頭でも申し上げました離島の多い沖縄県。日本経済の牽引役と期待されているわが沖縄県でも、深刻な人口減少という「静かな有事」が予測されており、地域の活力、そして経済の活力が低下していく懸念があります。将来に向けた安心感を生む社会保障制度や医療体制の構築、魅力ある沖縄県へ、県民の皆様の安心安全を守るべく、初心を忘れず国会活動に取り組んでまいります。

結びに、本年も沖縄県薬剤師会の益々のご発展並びに、お一人おひとりのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

令和7年新春



年頭のご挨拶

参議院議員
比嘉 奈津美



新年あけましておめでとうございます。

沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと存じます。また日々の活動を通じて医療の現場に携わる皆様のご尽力に深く感謝を申し上げます。

昨年からインフルエンザの感染が例年よりも広がっており、薬剤師の皆様が地域医療の最前線で果たしている役割の重要性を強く感じております。ワクチン接種の推進や感染予防対策の徹底、患者様への適切な薬剤情報の提供など、多岐にわたる業務を遂行し、地域の健康を守るために尽力されていることに心から敬意を表します。

皆様の献身的な努力が、地域社会全体の健康維持に大きく貢献していることは間違いありません。また、薬剤師の皆様が提供する薬剤情報やアドバイスは、患者様にとって非常に重要です。正確な情報を提供することで、患者様が安心して治療を受けることができ、感染予防にもつながります。皆様の専門知識と経験が、地域の健康を支える大きな力となっています。このように、薬剤師の皆様が日々行っている多岐にわたる業務とその努力に対し、深い感謝の意を表し、これからも地域医療の最前線でご活躍されることを期待しております。

本年も医療現場は多くの課題に直面することが予想されます。高齢化社会の進展に伴う医療需要の増加や、新たな感染症の脅威、さらには医療資源の限界など、解決すべき問題

は山積しています。しかし、こうした課題に対して、薬剤師の皆様の専門知識と経験が大いに役立つことを確信しております。特に、地域包括ケアシステムの構築において、皆様の役割はますます重要となっております。患者様一人ひとりに寄り添い、適切な薬の使用に必要な情報の提供及び指導することで、地域全体の健康を支える役割が期待されています。また、薬剤師の皆様が持つ情報提供能力や相談対応力は、医療チームの一員としての価値をさらに高めるものと考えております。さらに、薬剤師の皆様が地域社会において果たす役割は、単に薬の提供にとどまりません。健康相談や生活習慣病の予防、さらには災害時の医薬品供給など、多岐にわたる分野での活躍が期待されています。皆様の幅広い知識と経験が、地域の健康を支える大きな力となっていることを改めて強調させていただきます。

私も沖縄県薬剤師会との協力を一層進め、地域医療の向上に貢献するための施策と一緒に検討していきたいと考えています。特に、かかりつけ薬剤師制度の推進や、薬剤師の専門性を活かした健康教育・啓発活動の拡充は重要な課題です。このような取り組みを通じて、沖縄県民の健康維持・増進に寄与したいと思っております。

最後に、薬剤師の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、今年一年が皆様にとって実り多き年となりますよう心より願っております。



新年のご挨拶

元衆議院議員
渡嘉敷 奈緒美



新年明けましておめでとうございます。

前濱朋子会長をはじめ関係者皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになりましたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年の衆議院選挙では、前濱朋子会長はじめ沖縄県薬の先生方、地元大阪府薬の先生方、そして近隣の薬剤師の先生方、遠方からも多くの薬剤師の先生方に駆け付けて頂き、今までにないほどの熱い応援を頂戴したにもかかわらず結果を出すことが出来ずに本当に申し訳なく思っております。この選挙で皆様から頂戴したご好意の数々が落選した私にとってもう一度再起を目指したい！と思えるエネルギー源です。選挙で訴えた薬や薬剤師への思いを諦める事なく様々なかたちで実現できるよう、これから捲土重来を期して努力を続けます。

捨てる神あればと言いますが落選直後に大きな仕事を2つさせて頂きました。「第4回日米ヘルスケア・イノベーション・ラウンドテーブル」の司会と「第1回患者・市民大集会」の審査員です。

ラウンドテーブルは日米両政府と創薬産業のリーダーが一同に会するもので今回で4回目です。回を重ねるごとに日米双方の政策に顕著に影響を及ぼすようになってきており、我が国では創薬力向上を目指し構想会議が設置され、ドラッグ・ロスの解消、国際競争力向上に向けた議論が行われ報告書も提出されました。また、「創薬エコシステム・サミット」が開催され創薬イノベーション・エコシステムを実現する実効策の検討をすることが

宣言されました。今回のラウンドテーブルの最後に「薬価＝薬の評価だ。評価されるところに投資が集まる結果、エコシステムが回ることになる。創薬の原動力であるベンチャーを育てるにはエコシステムの好循環を促す事が重要である。日本は特にこの点を米国から学ぶべき」と私は司会者として総括させて頂きました。

もう一つの「患者・市民大集会」は日本では疾病ごとに患者団体が存在していますが、それぞれの規模が小さく患者側の声が届けにくいという仕組み上の問題を抱えています。患者団体としてまとめ、これからの医療を良くするために声をあげようといわれた大会です。「難病議連の再開に向けて」「治療薬の情報を入手しやすくするには」「難病を抱えている方の就労・社会参加について」などの提案に、元国会議員として具体的にアドバイスさせて頂きました。

この2つのイベントに参加しながら感じたのは、創薬の環境や患者の立場から見ると「日本の医療が変わる時期にきている」ということが明確に見てとれます。このターニングポイントの時こそ政治の力が重要になってきます。再起して政界で再び活躍したいとの気持ちの方がより強く持て、自分が果たさなくてはいけない仕事が明確に見えてきた機会となりました。

今後も沖縄の血を受け継ぐ政治家として頑張りますので、今年も引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

沖縄県議会議員
島袋 大



沖縄県薬剤師会の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和7年、巳年であります。蛇は神の使いとも言われております。ご利益多き一年となりますよう、心より祈念申し上げます。

さて、昨年暮れに大変ショックを受けた報せに接しました。桑江朝千夫沖縄市長が急逝されました、享年は68歳。あまりにも突然、あまりにも早すぎる。県議の先輩でもある桑江市長の無念を思うと本当に言葉にならない想いでありました。しかし、政治というのはいかなる空白も許しません。地元沖縄市区選出の花城大輔県議会議員の擁立が決定し、相手候補も現職県議会議員の出馬が決まり、一騎打ちの構図が早々と固まりました。桑江市長が志半ばで実現が叶わなかった様々なプロジェクト・施策が残されたままであります。桑江市政を継承し、発展させることができるのは、一体誰なのか、争点は明確であります。

昨年6月には沖縄県議会議員選挙がありました。自民党公認候補20名全員当選という復帰以降初めての大勝を得る結果となり、私の所属する沖縄自民党・無所属の会が県議会運営で主導権を握ることができましたし、私も5期目当選を果たすことができました。引き続き県民の皆様への負託を受けた責任を果たしていくべく、政治は結果、結果を残す政治をモットーに邁進していく考えでございます。また、改選後の役員人事では、図らずも県連会長の重責を担うこととなりました。沖縄県薬剤師会の皆様には、懸案となっている県内大学への薬学部設置、この課題を一緒になって前進させ、解決に向けて取り組んでいく考

えであります。

国政に目を向けますと、昨年9月には石破茂内閣が発足し、10月の衆議院議員総選挙では自公過半数割れという結果となり、少数与党として厳しい政権運営を迫られることとなりました。その要因の一つとして、パーティー券収入の不記載問題をめぐって国民の皆様から批判の目を向けられているということがあります。虚心坦懐、国民政党としての原点に立ち返り、信頼回復に向けた対策はいったい何なのか。地方組織の声を届けるのも私の役目でありますので、しっかりと主張すべきは主張をして参りたいと思います。

令和7年度沖縄振興予算案が昨年末閣議決定をされました。特徴的な部分は、離島地域を抱える本県における条件不利性の解消、この構造的課題に対処するため、これまで一括交付金を充てていた事業が特出され、沖縄の抱える根本的課題として位置付けられた点ではないでしょうか。具体的には、沖縄農林水産物条件不利性解消事業（20億円）、沖縄離島住民交通コスト負担軽減事業（31億円）、沖縄離島無電柱化緊急対策事業（3億円）であります。離島の振興なくして、沖縄の振興はありません。引き続き離島振興の充実強化に取り組んでまいりたいと思っています。

最後に、県内ではインフルエンザが流行しております。1月14日には県からインフルエンザ警報が発令されております。医療に従事される皆様におかれても感染予防の徹底に十分ご留意いただき、健やかな一年のスタートを切ることができるよう切に願っております。



新年のご挨拶

沖縄県議会議員
新垣 淑豊



令和7年、あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、能登地震や台風などの自然災害が相次ぎ、多くの方々が被害を受ける年となりました。また、国内外においてもさまざまな困難が続き、多くの試練を乗り越える1年でありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲となった方々へ哀悼の意を表します。

沖縄県としても、北部豪雨による災害も発生しましたが、その他にも今後、起こりうるであろう自然災害についても備えねばなりません。本県は島嶼地域であり、災害時には他県からの支援が遅れる可能性があることから、県内の人的資源を最大限に活用し、迅速な対応を可能とする基盤整備に取り組むために、特に、離島やへき地における医療体制の強化は喫緊の課題であり、薬剤師をはじめとする医療従事者の育成が欠かせません。

しかし、沖縄県においては薬剤師不足が深刻に叫ばれる中において、県内国公立大学に薬学部を設置する取り組みは、まだ進捗が見えていない状況であります。本県内の学生が薬学を学ぶ環境を整えることが急務であり、保護者の経済的負担を軽減する支援策としても必要です。設置により、沖縄県内での医療連携、創薬や農業分野での活躍も見込まれま

す。早期に実現するために、県議会としても引き続き貴会と連携を図りながら取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が完全には収束していない中、インフルエンザ感染が拡大の傾向も見受けられますので、県民の健康を守るため、感染症対策や地域医療の充実は引き続き重要です。沖縄県薬剤師会の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

沖縄県も多分に漏れず、少子高齢化や人口減少といった課題にも直面しています。これらの問題に対処し、地域の活力を維持・向上させるためには、子育て支援や教育環境の整備が欠かせません。医療分野においても、産官学の連携を進めることで、地域活性化や経済成長を図る取り組みなど、貴会と力を合わせて課題解決に望みたいと思います。

本年も沖縄県薬剤師会の皆様のご支援をいただきながら、県民の安心・安全を守る施策に取り組んでまいります。ともに未来志向の政策を推進し、次世代へ誇れる沖縄を築いてまいりましょう。

結びに、本年が皆様にとりまして、健康で実り多い1年となりますよう心よりご祈念申し上げます。
令和7年元旦

新年 賀 謹

昨年はい運営にご理解ご協力を賜わりお礼申し上げます。
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

社一般
法人団

沖縄県薬剤師会

名誉会員	新垣正次	長田紀昭
相談役	神村武之	亀谷浩昌
監事	松山朝雄	
会長	江夏京子	山里勇
副会長	前濱朋子	
専務理事	中村克徳	川満直紀
常務理事	古謝玄太	
	阿部義則	
	佐藤雅美	宮城幸枝
	姫野耕一	知名博樹
	喜友名朝史	
理事	浅沼健一	石川恵市
	又吉智賀子	名嘉紀勝
	古謝真己	幸地良信
	村田美智子	鈴鹿玲子
	知念大輔	吉田典子
会営薬局 医療センター前	阿部義則	
会営薬局 とよみ	宮里威一郎	
薬事情報 センター	吉田典子	
試験検査 センター	小泉宝之	
事務局	大城喜仁	
	他職員一同	

沖縄県薬剤師連盟

沖縄県本田あきこ後援会
沖縄県神谷まさゆき後援会

会長 前濱朋子
幹事長 石川恵市
他役員一同

令和6年度 薬事功労受賞者



薬事功労受賞者合同祝賀会に出席した受賞者の皆様
右上：受賞者代表あいさつを務めた渡嘉敷 見氏

令和7年1月19日正午より、ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で、沖縄県薬業連合会主催の令和6年度薬事功労受賞者合同祝賀会が開催された。

司会進行は、沖縄県薬剤師会（以下、本会）の宮城敦子広報委員会委員長が務め、「かぎやで風」で式典の幕開けとなった。踊りを川満直紀副会長、宮城幸枝常務理事、佐藤雅美常務理事が務め、地謡は青年薬剤師部会の石井秀典副副会長が務めた。司会の『今日の誇らしい日は、何に例えることができるだろう。蕾が付いた花に露が付いたようだ。』と歌詞の一部を引用した紹介にふさわしい幕開けに会場はしばし魅了された。

沖縄県薬業連合会の親泊康行理事（沖縄県医薬品登録販売者協会会長）による開会の挨拶、前濱朋子会長による主催者挨拶があった。

前濱会長は、本年が巳年にあたることから、蛇が脱皮し新たな姿に生まれ変わることになぞらえ、変化や新たな挑戦に前向きな年と言われると述べた。本会でも、琉球大学病院の移転に伴い、会営薬局うえはらが閉局したことを報告し、関係各位へより一層のお力添えをいただきたいと述べた。また、医薬品の供給不足が続く状況を乗り切るためにも薬業4団体のつながりをより一層深め、地域医療の向上に努めていきたい、と述べるとともに受賞者の今後のさらなる活躍と出席者への感謝を述べ、挨拶とした。

来賓の玉城デニー沖縄県知事に代わりご出席いただいた沖縄県保健医療介護部の糸数公部長の代読により知事からのご祝辞を賜り、

合同祝賀会開催



会期 令和7年1月19日（日） 正午～14時

会場 ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 20階 スカイビュープラザ

司会 沖縄県薬剤師会 広報委員会委員長 宮城 敦子

<会次第>

幕開け かぎやで風

開会のことば

主催者あいさつ

来賓あいさつ

乾杯

受賞者登壇・紹介

受賞者代表挨拶

閉会のことば

沖縄県薬業連合会理事 親泊 康行
(沖縄県医薬品登録販売者協会会長)

沖縄県薬業連合会会長 前濱 朋子
(沖縄県薬剤師会会長)

沖縄県知事 玉城 デニー
(代読 沖縄県保健医療介護部部長 糸数 公)

沖縄県医師会会長 田名 毅
沖縄県薬業連合会副会長 秋信 裕一
(沖縄県医薬品卸業協会会長)

渡嘉敷 見

懇談

沖縄県薬剤師会副会長 古謝 玄太



続けて、来賓の沖縄県医師会の田名毅会長からご祝辞を賜った。

次に、沖縄県薬業連合会の秋信裕一副会長（沖縄県医薬品登録販売者協会会長）による乾杯のご発声をいただき、受賞者の登壇・紹介へと移った。

受賞者の名前が呼ばれ受賞者が登壇すると、会場からは一人一人に受賞をたたえる温かい拍手が送られた。受賞者を代表して瑞宝双光章を受章した渡嘉敷見氏が受章の喜びとともに周囲の方々への感謝を語った。長年、学校薬剤師として活躍する渡嘉敷氏は、これからも学校の環境衛生に貢献していきたいと語り、若い世代の薬剤師への期待と引き続きご協力をいただきたいと述べられた。

懇談に入り、来賓の國場幸之助衆議院議員、宮崎政久衆議院議員、西銘恒三郎衆議院議員よりご挨拶を頂戴し、島尻安伊子衆議院議員より賜った祝電も読み上げられた。また、薬剤師議員である本田頭子参議院議員のメッセージ動画も放映した。

懇談中は、受賞をたたえ合う先生方の笑顔が会場にあふれ、話もつきない様子であった。本会の古謝玄太副会長による閉会のことばで、盛会のうちに幕を閉じた。

(文：事務局 川平 真央)





開会のことば
沖縄県薬業連合会
親泊 康行 理事



主催者あいさつ
沖縄県薬業連合会
前濱 朋子 会長



来賓あいさつ
沖縄県保健医療介護部
系数 公 部長



来賓あいさつ
沖縄県医師会
田名 毅 会長



乾杯の音頭
沖縄県薬業連合会
秋信 裕一 副会長

薬事功労受賞者合同祝賀会

沖縄県薬業連合会



幕開け「かぎやで風」

(写真上) 地謡を務めた石井秀典 青年薬剤師部会副部会長
(写真左より) 踊り：佐藤雅美 常務理事、川満直紀 副会長、宮城幸枝 常務理事



乾杯風景



来賓あいさつ
衆議院議員
國場 幸之助 氏



来賓あいさつ
衆議院議員
宮崎 政久 氏



来賓あいさつ
衆議院議員
西銘 恒三郎 氏



閉会のことば
沖縄県薬剤師会
古謝 玄太 副会長



司会
広報委員会
宮城 敦子 委員長



本田あきこ参議院議員よりビデオメッセージ

恒例の記念撮影



熟年の集いの皆様



中部地区薬剤師会関係者



那覇地区薬剤師会関係者

薬事功労受賞者合同祝賀会

沖縄県薬業連合会



宮古地区・八重山地区薬剤師会関係者

薬事功労受賞者合同祝賀会 功労受賞者合同祝賀

沖縄県薬業連合会



南部地区薬剤師会関係者



北部地区薬剤師会関係者



卸薬剤師部会関係者



学校薬剤師部会関係者



女性薬剤師部会関係者



病院薬剤師部会関係者

令和6年度受賞者プロフィール

〔瑞宝双光章〕

渡嘉敷 見氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。その傍ら、昭和58年から現在に至るまで、複数校の学校薬剤師として活動している。学校薬剤師のなり手がいない中、学校薬剤師の発掘をし、へき地及び離島の学校にも学校薬剤師を配置するなど普及に尽力した。

昭和62年に沖縄県学校薬剤師会（現 沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会）の副会長、平成9年には会長に就任。長きに亘り同会の実質上の最高責任者として業務を遂行してきた。県内外の会議や研修会に率先して参加し、修得した知識・技術を組織に還元して、会の発展に寄与した。平成2年に「第40回全国学校薬剤師大会」を開催、平成5年には「学校環境衛生研究協議会」の実行委員に就き、沖縄県での開催実現等、多くの事業を企画、実行して事業を成功させ、会員の資質向上をもたらした。

「薬と健康の週間」では県内小中学校前にて騒音測定を長きに亘り実施。また、全国巡回キャラバンカーの誘致や学校を訪問して薬物乱用防止の講演活動をするなど、薬物乱用防止啓発活動も積極的に行った。県内の小・中・高教員や教育委員会からの信望も厚く、県内学校薬剤師への評価を高めた。

平成25年に沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会の顧問、令和元年から現在も相談役として同部会の活動を支えている。

〔薬事功労者厚生労働大臣表彰〕

善久原 隆氏

平成10年に沖縄市内に開局して以来、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に努めている。平成15年には沖縄市介護認定審査会委員に就任し、地域社会の活動に積極的に協力している。

また、平成17年から長きに亘って沖縄県立泡瀬特別支援学校の学校薬剤師として学校環境衛生の充実と発展に貢献している。

平成18年に中部地区薬剤師会理事に就任して以来、会の要役として運営に取り組み、副会長、会長と要職も務めてからも、病院薬剤師との薬薬連携、若手薬剤師の育成を強化するなど、会員の資質向上と組織の発展に多大な貢献をした。健全な組織運営を目指すとともに中部地域においての多職種連携を図り、薬局が地域医療介護に積極的に取り組んでいけるよう尽力した。会長職を退任後も監事として中部地区薬剤師会の健全な組織運営が執行されるよう監査し、現在も中部地区薬剤師会の役員を担っている。

令和6年度受賞者プロフィール

〔学校薬剤師制度70周年記念事業文部科学大臣表彰〕

上原 陽子 氏

平成元年から糸満市内の学校薬剤師に委嘱され、以来、離島を含む複数校の学校薬剤師として29年の永きに亘り学校長及び養護教諭と連携して積極的に活動を行った。

また、平成23年からの6年間沖縄県学校薬剤師部会の南部支部長に就き、若手学校薬剤師の発掘と育成、教育委員会との交渉、学校薬剤師の地区研修会の実施にあたるなど、学校薬剤師の資質向上に貢献した。

〔学校保健功労者文部科学大臣表彰〕

小波蔵 廣美 氏

昭和56年から宜野湾市内の複数校の学校薬剤師に委嘱され、以来、39年の永きに亘り学校長及び養護教諭と連携して積極的に学校薬剤師活動を行った。専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を実施し、また、学校保健及び学校環境衛生に関し学校保健的見地から指導助言を行ってきた。

平成11年からの6年間、沖縄県学校薬剤師会の宜野湾市、北中城村、中城村の支部長に就き組織の強化、会員の資質向上を図り、学校保健の発展に大いに貢献した。

〔厚生労働省医薬局長表彰〕

津波 昭史 氏

沖縄県の行政薬剤師として、平成17年以降、保健所や薬務主管課にて15年にわたり薬事・毒物劇物監視業務に携わり、薬事行政の推進に尽力した。薬事監視員、毒物劇物監視員としての業務を真摯にこなし、後継職員の育成に努め、他の職員の模範となっている。



令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

前濱 朋子 氏

平成23年に沖縄県薬剤師会理事に就任すると、それまで活動してきた各種委員会の担当分野の重責を担う。広報委員会では、会報誌の企画・編集・発行に長年携わるとともに、子ども調剤体験学習等の県民向け薬剤師職能のPR活動、会や県の主要事業の司会役も務めた。保健福祉委員会では、禁煙や「健康とおくすり相談会」の保健分野での薬剤師養成研修の実施や県民への普及啓発に力を注いだ。これらの委員会を歴任し、業務に対する誠実さと責任感の強さは会員からも絶対的な信頼と評価を得ており、事業の活性化に大いに貢献した。この実績が認められ、平成27年に副会長、令和3年には会長に就任し、会の発展と会員の資質向上に尽力している。

会長職に就くと同時に、新型コロナウイルス感染症対策に係る県や他医療団体・機関との連携や、沖縄県内国公立大学への薬学部設置に係る事業ならびに国・県等への要請活動に大いに尽力している。沖縄県の医療審議会や薬事審議会の委員にも委嘱され、会の代表として、沖縄県の施策、運営にも貢献している。

その他に、学校薬剤師部会の活動では、平成17年から長年に亘って関わり、平成19年に同部会の副部会長、平成25年に部会長の要職に就くと、組織の強化、会員の資質向上を図って学校環境衛生・学校保健を通して公衆衛生の普及向上に貢献した。学校薬剤師としては、平成16年から複数校の学校薬剤師として委嘱され、以来、学校長及び養護教諭と積極的に連携し、学校保健、学校環境衛生に関し公衆衛生的見地から指導助言を行った。学校保健委員会を通して学校環境衛生、特に日常点検の重要性を説き、学校保健の発展に寄与した。また、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話、資料提供等の指導助言等を行い、公衆衛生的見地から生徒らの健康増進に貢献。現在も精力的に学校薬剤師活動を続けている。



令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

徳嶺 恵子氏

平成5年に県立北部病院の医薬分業に伴う病棟服薬指導業務導入において、当時厚生省のモデル病院であった北里大学病院薬剤部で薬剤管理指導業務（いわゆる100点業務）研修終了後、県立北部病院の薬剤管理指導業務体制を構築し、患者サービスの向上、薬剤師業務の質向上につなげた。県立那覇病院と県立南部病院が統合して新たに県立南部医療センター・こども医療センターが設立される際には、医薬品情報担当者として県立病院初の電子カルテシステム導入と、その電子カルテシステム上で展開される医薬品情報支援システムのワーキンググループに参加し、患者サービスの質的向上に貢献した。

令和2年から4年の新興感染症 COVID-19 禍において、中部病院勤務コロナ対策本部の一員として、レムデシビルをはじめ特例承認となった治療薬の供給管理から投与後の一般使用成績調査に協力した。また、うるま市新型コロナウイルス感染症対策本部と連携して病院職員はじめ中部地区の医療従事者、介護施設等の従事者、基礎疾患を有する小児らの感染予防におけるコロナワクチンの確保、供給調整、接種業務の応援に務め、県民の感染予防と地域医療に貢献した。

日本小児総合医療施設協議会に属し、会の目的とする小児総合医療施設の医療、研究、教育及び社会活動の支援、国際的水準の小児医療の確保、普及に努め、こどもとその家族の心身の健康水準の向上に貢献した

平成27年6月より沖縄県病院薬剤師会役員、平成29年7月より沖縄県薬剤師会薬事情報センター委員会委員として両薬剤師会の活動の充実に努めた。

〔九州山口薬学大会表彰〕

糸嶺 達氏

専務理事・事務局長が不在で迎えた平成23年開催の第73回九州山口薬学大会（沖縄大会）において、ボランティアで県薬事務局に詰め、企画・運営等の業務全般にわたって各種委員会を陣頭指揮する大会総務部の部長に就き尽力した功績は大きい。

大会後も会の多くの常置委員会（学術研修委員会・医薬品事故過誤対策委員会、医療安全対策委員会、薬事情報委員会）の委員として、主に学術分野においてその才能を活かし大いに活躍した。同時に、薬剤師不足で窮地にあった会営薬局において、薬局長に配置されると、職員の育成・教育、職場づくりに励み、その温かい指揮・監督は職員から絶大な信頼を得て、現場の雰囲気を高揚させた。

また、学校薬剤師としても、薬剤師の立場から、児童・生徒、又は地域の方に対する公衆衛生、薬物乱用防止、禁煙等の講話を行うと同時に、これらに係る資材の整備も行った。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会長表彰〕

新垣 慶朗 氏

沖縄県薬剤師会の総会において、平成29年6月の定時総会で副議長、平成30年3月の臨時総会では議長に選出され、以降、毎回、議長・副議長に選出され、重責を担っている。

平成25年に西原小学校の学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生の指導助言とともに、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を行い、そして、公衆衛生的見地から児童らの健康増進に貢献している。

上里 雅江 氏

平成24年より地域の消化器内科の診療所の門前薬局に勤務。病院勤務の経験を活かし、適切かつ懇親的な服薬指導で地域住民から信頼を得ている。宮古地区薬剤師会活動においては、学校薬剤師として児童生徒の学校環境衛生改善に取り組むと同時に、同会の監事として会計監査を担い組織運営に貢献した。

また、令和元年より宮古島市の介護認定審査員、令和5年からは同市が新設した在宅医療介護連携推進協議会の委員として活動し、行政、各団体へ薬剤師の存在を示した。

コロナ禍においては、ワクチン希釈・充填作業に地区薬剤師会からの選出メンバーとして看護師、病院薬剤師と共に従事し、地区薬剤師会活動の拡充に貢献した。

上原 幸代 氏

病院薬剤師として約14年キャリアを積んだ後、保険薬局に勤務し、医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供に貢献した。その後、株式会社沖縄健康企画の代表取締役を約9年務め、社員教育や地域連携に尽力した。代表取締役退任後も引き続き薬局に勤務し、現場での実務を通して地域住民の健康増進、薬事衛生の向上に貢献している。

沖縄県薬剤師会では代議員を務め那覇東支部の代表として尽力し、那覇地区薬剤師会では理事を務め同会の発展に寄与した。



令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会長表彰〕

名嘉 紀勝氏

沖縄県薬剤師会においては、青年薬剤師部会副部長や学術研修委員会、財務委員会などに委嘱され、若々しく活動的に任務にあたった。会の総会では、平成30年3月の臨時総会で副議長、平成30年6月の定時総会では議長に選出され、以降、令和3年6月の定時総会まで毎回、議長もしくは副議長に選出され、責務を担った。その後、会の南部地区代表理事に就任し、南部地区薬剤師会の活性化に励んでいる。

また、平成27年に沖縄県立西崎特別支援学校の学校薬剤師に委嘱され、学校環境衛生の指導助言とともに、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関して教示し、公衆衛生的見地から児童らの健康増進に貢献している。

中村 俊満氏

県立北部病院の院外処方箋が発行されることになった当時、北部地区薬剤師会では備蓄センターおよびFAXコーナー設置・運営を行うことになり、平成7年の院外処方箋発行開始の際の中心メンバーとして携わり、医薬分業の発展に大いに尽力した。平成17年、北部地区医師会病院の薬剤師不足の際には、夜間救急当番で調剤業務を行うなど、北部地域における夜間休日体制を支えた。

北部地区薬剤師会の理事、副会長、監事等を務め、長年に渡り、同会の活動に積極的に関わり、組織運営等を支えてきた。また、広報担当理事として、薬剤師だけでなく地域住民に同会の事業および薬剤師職能を幅広く広報するための活動を行った。

宮良 善朗氏

石垣市内に自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

また、石垣市主催の防災会議にも出席し、積極的に地域活動にも協力している。



令和6年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

石川 元信 氏

県内の卸会社に勤務し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給に寄与する傍ら、本会の生涯学習や保健福祉分野の委員会にも委嘱され、本会会員向け研修の講師を務めるなど、組織強化に大いに貢献した。また、本会会員のみならず、医薬品登録販売者協会や医薬品配置協議会の会員向けにも講義を行った。

平成13年沖縄県薬剤師会会長表彰、平成17年九州山口薬学大会表彰、平成19年沖縄県薬事功労知事表彰などを受賞。

伊敷 幸太郎 氏

自ら薬局を開設し、親族（会員）とともに現在も良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、学校薬剤師としても永きに亘り活動し、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

平成8年沖縄県薬剤師会会長表彰、平成13年九州山口薬学大会表彰、平成15年沖縄県薬事功労者知事表彰、平成23年沖縄県学校保健功労者表彰などを受賞。

太田 秀雄 氏

那覇市及び沖縄市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

神山 康喜 氏

自ら薬局を開設し、親族（会員）とともに現在も良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動し、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

平成15年沖縄県薬剤師会会長表彰、平成21年沖縄県薬事功労者知事表彰、平成17年沖縄県学校保健功労者表彰、平成29年学校保健功労者文部科学大臣表彰などを受賞。

島袋 勇 氏

沖縄市及び浦添市において、自ら薬局を開設し、親族（会員）とともに、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。また、娘2名（会員）を薬剤師不足であった会営薬局に勤務させるなど、本会の組織強化に多大なる協力をした。

令和6年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

島袋 徳子 氏

沖縄市において、自ら薬局を開設し、親族（会員）とともに、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。娘2名（会員）を薬剤師不足であった会営薬局に勤務させたこと、また、地元紙に薬剤師職能PR投稿をするなど、永年に亘り本会の組織強化に多大なる協力をした。

田仲 和恵 氏

配偶者（会員）が県内各地に経営する一般医薬品販売店や調剤薬局に勤務し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、平成23年からは自ら開設者となり、本会へ多くの薬剤師を入会させるなど、本会の組織強化に多大なる協力をしている。

仲村 将順 氏（故人）

自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、学校薬剤師としても長きに亘り活動し、その専門的な立場から、学校保健、学校環境衛生の改善・指導助言を行い、児童らの健康増進に寄与した。

平成11年沖縄県学校保健功労者表彰、平成14年沖縄県薬剤師会会長表彰、平成21年学校保健功労者文部科学大臣表彰などを受賞。

仲村 千佳子 氏

都市圏から離れた沖縄本島北部の地に配偶者（会員）が開設した薬局に永年勤務し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

中村 麗子 氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、本会の広報委員会委員長を永きに亘り務め、特に広報誌の出版においては会員へタイムリーな情報提供に尽力し、本会の組織強化に多大なる貢献をした。

平成9年沖縄県薬剤師会会長表彰を受賞。

令和6年度受賞者プロフィール

〔日本薬剤師会有功賞〕

原國 愛子氏

那覇市内に自ら一般用医薬品販売店を開設し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

比嘉 清久氏

自らの活動拠点を沖縄本島中部地域（中部地区薬剤師会）とし、慢性的な薬剤師不足で悩む同地域の薬局を永年に亘りサポート勤務して尽力している。その傍ら、本会理事及び中部地区薬剤師会会長等の要職も歴任し、両会の発展に大いに寄与した。特に、中部地区薬剤師会においては、平成9年、沖縄県立中部病院の院外処方箋発行にあたり、中部地区薬剤師会の運営実行委員の一人として県、市への要望、医薬品情報の収集、病院との折衝、地域住民への啓蒙活動など、医薬分業の開始、またその後の推進へ大きく貢献し、中部地区の医薬分業のスムーズな移行に尽力した。同時に、若手薬剤師の育成を強化するなど、会員の資質向上と組織の発展に多大なる貢献をした。

松田 進氏（故人）

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

山城 秀子氏

離島僻地の病院薬剤師として長年携わり、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

吉田 和子氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。また、本会の女性薬剤師部会へも多大なる協力をし、貢献した。

平成30年沖縄県薬剤師会会長表彰を受賞。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県学校保健会表彰〕

草壁 瑞恵 氏

平成18年から西原町内の複数校の学校薬剤師に委嘱され、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与している。

平良 恭子 氏

平成17年から糸満市内の複数校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数の担当校を受け持ち、平成29年には特別支援学校の学校薬剤師にも委嘱されている。現在も複数校の学校薬剤師として、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。また、薬の専門的立場から薬の正しい使い方や薬物乱用防止に関する講話等を実施し、児童生徒らの健康増進に貢献している。

平成19年には沖縄県学校薬剤師会の副会長に就任し、会の組織強化と会員の資質向上に努めた。

福地 健治 氏

平成21年からうるま市内の中学校、高等学校の学校薬剤師に委嘱され、専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献している。

また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与している。

〔沖縄県公衆衛生大会長表彰〕

山城 晶 氏

平成21年に久米島町内の学校薬剤師として委嘱され、以来、離島の複数校の学校薬剤師を現在も担当している。専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校側に適切な指導助言を行い、学校環境衛生及び学校保健の向上に努め、児童生徒らの健康増進に貢献している。

また、担当校及び担当校以外の遠隔地・へき地においても薬物乱用防止講話を実施し、児童生徒らの健康増進に貢献し、公衆衛生の向上に寄与した。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

安里 健氏（故人）

沖縄県の行政薬剤師として、薬務管轄課等に永年従事し、沖縄県の薬事衛生対策に多大なる貢献をした。沖縄県を退職後は、那覇市内の薬局に従事しながら、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

具志堅 興信氏

昭和61年の医療法第2次改正に伴い、薬剤師が地域医療の中に位置づけられ、医薬分業が急速に高まる中、平成4年県立那覇病院勤務時から県立病院の院外処方せん発行に向けた勉強会等を中心となって取り組んだ。県立北部病院薬局長就任に伴い、医薬分業の推進に積極的に取組み、地区薬剤師会との調整等幾多の難関を揺るぎのない医薬分業推進の信念で克服し、県立北部病院の院外処方せん発行が伸展され、北部地区医薬分業体制が確立できた。この経験を踏まえ、県立宮古病院でも更に高度な分業体制を構築、尽力し、県立病院の医薬分業体制が確立した。また、薬薬連携の強化策として、研修会等の開催、薬剤師間の情報の共有化の取組等を主動的に行い、後進の育成指導にも尽力した。

新川 重一氏

昭和45年、宜野湾市内に開局の傍ら、昭和55年には沖縄県薬剤師会の宜野湾支部長、平成4年に沖縄県医薬品小売商組合副理事長に就き、長年にわたって宜野湾支部の会員や小売商組合員の資質向上や組織強化など公衆衛生の向上に貢献してきた。平成8年には、ぎのわん調剤支援センターを立ち上げ地域の薬局への支援を行いながら、平成13年から15年まで厚労省のモデル事業実施を行うなど、地域住民や会員の健康、病気の予防等に積極的に取り組んでいる。

昭和47年に宜野湾市立宜野湾小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、複数校の学校を受け持ち、積極的に学校薬剤師活動を行い、学校環境衛生の定期検査等、専門的立場から学校環境衛生に関する適切な指導助言を行い公衆衛生の向上に貢献している。

砂川 裕美子氏

昭和50年より学校薬剤師に委嘱され、以来、複数校を担当し、宮古島本島のみならず、交通の不便な周辺離島の学校薬剤師としても積極的に活動した。学校環境衛生検査の実施、指導助言を行い、児童生徒の健康増進に貢献した。学校薬剤師会支部長として長年活動し、支部組織の強化、地区研修会を開催し会員の資質の向上、宮古地区における新人学校薬剤師の発掘、遠隔地・離島への学校薬剤師の配置に貢献した。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

高良 弘子氏

昭和58年から名護商業高校、北部工業高校の学校薬剤師に委嘱され、名護幼、小、中、真喜屋小、名護商工高校を担当している。薬剤師という専門的な立場から、学校環境衛生の検査等を通して、学校長、養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育に関する指導助言等を行って学校保健活動の向上に貢献している。

知念 邦之氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

また、昭和63年に那覇市立城北中学校、平成7年には沖縄県立首里東高等学校の学校薬剤師に委嘱され、以来、長きに亘り学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い学校保健活動の向上に貢献している。

照屋 林現氏

うるま市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。

沖縄県薬剤師会代議員及び中部地区薬剤師会うるま支部長を永年にわたり務め、特に、中部地区薬剤師会の組織の発展や医薬分業の推進・確立に多大の貢献をした。

また、学校薬剤師としても具志川市（現：うるま市）内の小学校を複数校担当し、学校環境衛生の充実と発展に尽力した。

渡具知 一枝氏

保険薬局に勤務する傍ら、那覇地区薬剤師会副会長として会長を補佐し、円滑な事業運営に貢献した。沖縄県薬剤師会では、学術研修委員会委員として薬剤師の生涯学習の企画・運営に貢献した。平成29年度には沖縄県薬剤師会那覇地区代表理事に就き会の運営に尽力した。

長島 予利子氏

医療法人を経営する傍ら、複数校の学校薬剤師に委嘱され、以来、長きに亘り、学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献した。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

名嘉真 廉氏

具志川市（現：うるま市）内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与した。現在も保険薬局に勤務している。

仲村 喜久子氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

また、平成7年に複数の幼稚園、小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、長きに亘り学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献した。

仲村 廣美氏

県内有数の食品流通会社を経営する傍ら、宜野湾市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

また、昭和63年に琉球大学附属小・中学校の学校薬剤師に委嘱され、長きに亘り学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にし、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供等を行い、学校保健活動の向上に貢献した。

萩原 涼子氏

那覇市内に自ら薬局を開設し、永年に亘り、良質な医薬品の安定供給・医薬品の正しい情報提供を通し、地域住民の健康増進に寄与している。

宮城 笙子氏

輸血用の血液を十分に確保し、医療機関に安定的に血液を供給する沖縄赤十字血液センターに長年勤務し、輸血用の血液製剤や血漿分画製剤等の安全性の向上と安定供給に努めた。

令和6年度受賞者プロフィール

〔沖縄県薬剤師会貢献賞〕

屋嘉比 康藤 氏

那覇地区薬剤師会理事及び那覇東支部の支部長・副支部長を務め、事業の円滑な運営、組織強化、支部の活性化に尽力した。また、永年に亘り薬局を経営し、身近なかかりつけ薬局として地域住民の健康を支え、地域医療の向上に大きく貢献した。

山里 勇 氏

昭和56年から4年間、平成17年から再び沖縄県薬剤師会理事として会務に関わり、財務担当理事として健全な財務管理・運営に尽力した。特に、会館建設委員会委員長として種々の困難な問題に真摯に取り組み、念願であった薬剤師の拠点となる沖縄県薬剤師会新会館を建設したことは、氏の献身的な貢献によるもので、組織の発展に多大な寄与をした。現在も会の健全な運営を監査する監事を務めている。

県内の大手医薬品卸売販売業に長年に亘り従事し、医薬品の品質管理・安定供給に尽力すると共に、医薬品の情報提供、特に患者の生命に危険のある情報の開示と啓蒙に努力し、社員教育、後進の薬剤師の育成指導等、薬剤師業務の発展向上に寄与した。また、県内の各薬局への経営支援、薬局の設立、医薬品の品質管理等の指導を行った功績は大きい。



薬と健康の週間

薬 祖 祭



「薬と健康の週間」行事は、毎年、波上宮本殿で、朝10時からの『薬祖祭』を皮切りに行われる。宮司の祝詞の中に、薬祖神である少彦名命（スクナヒコナノミコト）に薬の取り扱いに間違いがないよう病める人の苦しみの癒えんことを奏上して、沖縄県薬業連合会（沖縄県薬剤師会、沖縄県卸業協会、沖縄県登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会）、沖縄県、那覇市に言上されている。

当会の第六・八・十一代会長であった故仲松弥元氏は、昭和37年に製薬会社が軒を並べる大阪市道修町の少彦名神社より御分霊「神

農（中国医薬の守護神）」を勧請して、那覇市波上宮に依頼して奉祀された。祭神は日本の医薬の神として敬われてきた少彦名命と大国主命（オオクニヌシノミコト）。祭日は土地ごとに違っていたが、近年、10月17日に統一され、薬剤師会や薬業界が祭主となって催している。

今年の薬祖祭は、10月18日午前10時から波上宮本殿にて、晴れわたった朝の澄みきった潮風の流れるさわやかな雰囲気の中で、沖縄県薬業連合会と沖縄県、那覇市で厳修された。

（文：事務局 大城 喜仁）



参拝者には、病除祈願の張り子の虎を笹に結びつけたお守りが配られる。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓（虎の頭骨を配合した丸薬）」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配った。当時、コレラを「虎列刺」と書き、その猛威と怖さを誇示していたので、薬に“虎を殺す鬼”と名づけられた。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア

日時：令和6年10月20日（日）13：00～17：00

会場：沖縄薬剤師会館

<プログラム>

○主催者挨拶

司会：保健福祉委員会 草 壁 瑞 恵
沖縄県保健医療介護部保健衛生統括監 比 嘉 奈緒子
沖縄県薬剤師会専務理事 阿 部 義 則

○表彰式

○開会アトラクション

沖縄県立真和志高等学校手話部

○県民公開講演会

「そうだったのか健康長寿！～次世代の健康づくり、薬剤師に期待する役割～」

講師：沖縄大学学長 山 代 寛

○健康とおくすり相談会

こども調剤体験、献血に関するブース、薬剤師職業紹介、進路相談ブース

毎年、厚生労働省より、「薬と健康の週間」（10月17日～23日）の実施要綱が各都道府県並びに日本薬剤師会をはじめとする関係機関に通達され、本県においても沖縄県並びに本会をはじめとする関係機関で、週間中に様々なイベントを実施している。同週間は、医薬品及び薬剤師等の役割に関する正しい認識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的として実施されている。

10月20日に開催された「くすりと健康フェア」について報告する。最初に開会セレモニーが行われ、主催者の沖縄県保健医療介護部 比嘉奈緒子保健衛生統括監、沖縄県薬剤師会 阿部義則専務理事のあいさつにより開始された。

その後、表彰式が執り行われ、厚生労働省医薬局長表彰の津波昭史氏、沖縄県薬事功労者知事表彰の徳嶺恵子氏と前濱朋子氏（代理：新垣紀子氏）に比嘉保健衛生統括監から表彰状と記念品が授与された。続いて、沖縄県薬剤師会長表彰に上原幸代氏と新垣慶朗氏、沖縄県薬剤師会感謝状に株式会社タカゾノ沖縄

保健福祉委員会
委員長 村田 美智子



営業所に阿部専務理事から表彰状と記念品が授与された。

表彰式終了後に行われた真和志高等学校手話部による開会アトラクションが大変素晴らしく、涙を流す来場者も見受けられた。



「365日の紙飛行機」を披露した
真和志高等学校手話部

薬と健康の週間

県民公開講演会

「そうだったのか健康長寿！～次世代の健康づくり、薬剤師に期待する役割～」

くすりと健康フェア《心身ともに健康》県民公開講演会において、沖縄大学学長の山代寛先生にご講演いただきましたので、その内容と先生のご著書から関連の重要事項についてご紹介させていただきます。

山代寛先生は、琉球大学医学部医学科一期生としてご卒業後、鳥取大学大学院にて博士号（医学）取得され、20年以上の外科医としての経験を生かし2008年より自称本邦初の禁煙学教授として沖縄大学に赴任された。現在、沖縄大学学長・健康栄養学部教授として大学（院）教育に携わっている。また、沖縄県禁煙協議会会長、リレー・フォー・ライフおきなわ副実行委員長等、沖縄の健康を取り戻す活動を続けている。

山代先生のご講演は、はじめに、沖縄の寿命の推移について解説された。沖縄は健康的な高齢者や百寿者の多い県として注目され1995(平成7)年に世界長寿地域宣言がなされた。しかし2000(平成12)年には男子の平均寿命の順位が全国4位から全国平均にもおおよぬ26位に急落し(26ショック)、平成22年(2010年)の都道府県別平均寿命では、男性の平均寿命が26位から30位とさらに順位を落とし、これまで一貫して首位を保ってきた女性の平均寿命も、復帰後はじめて3位となり(330ショック)、県内各方面に危機感が広がった。厚生労働省が発表した「2020年都道府県別生命表」では、沖縄県の平均寿命は男性が80.73歳で全国43位、女性は87.88歳の16位となっている。このような状況を改善するため、沖縄県は健康長寿復活への取り組みの一環として、「次世代の健康づくり副読本」を作成したが、山代先生は、生活習慣班の班長として、同副読本『ちゃーがんじゅー』等の作成に最も貢献されたお一人である。



ももたろう薬局
柴田 忠佳

次に、健康のあり方として、「ブレスローの7つの健康習慣」について解説された。この7つの習慣とは、①喫煙をしない ②定期的に運動をする ③アルコールは節度ある適度な量にする ④一日7～8時間睡眠をとる ⑤適正体重を維持する ⑥朝食を毎日食べる ⑦間食をしない、を指している。このうち、一番目の喫煙をしないについては、健康長寿のため、山代先生が最も重視されていることであり、現在、禁煙学教授、沖縄県禁煙協議会会長としてご活躍されている。

また、現在日本では飽食の時代、少子化の時代であるにもかかわらず、低出生体重児が増加している。若い女性の「やせ」願望と無理なダイエット、妊娠初期の喫煙、そして「小さく生んで大きく育てる」という風潮が子宮の中で儉約遺伝子型を発現させ、低体重児を出産し健康寿命短縮のリスクをもたらすことが危惧されている。そのため、次世代のために妊娠前の栄養や禁煙の重要性が増していると述べている。

さらに、山代先生は離島の学校を含む県内全域の多数の学校及び企業にて喫煙防止教育をされるとともに、同時に依存症の対策の教育でも多大な貢献をされている。これに関連し、山代先生は沖縄ニコチン依存症研究会を2009年5月31日に立ち上げ、タバコの健康被害や禁煙に関する勉強会・講演会およびその他の諸活動を通じて、県民の健康増進を図ることを目的として活動した後、2012年12月沖縄ニコチン依存症研究会を発展的に解消する

形で沖縄ANDOGネットワークを立ち上げ活動を続けている。沖縄ANDOGネットワークは「アルコール・ニコチン・薬物・重度肥満or過食・ギャンブルの5大依存症の回復支援をする援助職者が、境界を越えて交流しあう」ことを目的としたネットワーク(研究会)である。

最後に、山代先生は、沖縄県内初の管理栄養士養成施設(沖縄大学管理栄養学部管理栄養学科)創設を実現した実績があるが、管理栄養士のみならず薬剤師の養成にも大変興味を示された上で、県内の薬学部設立にも助力されたいと意気込みを述べられた。また、薬剤師に期待する役割として、生活習慣病の背後に依存症がある。依存症を正しく理解する薬剤師が増えていただきたい。

そして、薬剤師が持つ専門知識と患者との密接な関係性こそが、長寿県復活に不可欠な



特別講演講師：山代 寛先生

要素であると述べ、薬剤師にエールを送った。

山代寛先生の大変貴重なご講演と薬剤師や薬剤師会への温かいエールに深く感謝申し上げます。

参考文献 『沖縄で学ぶ福祉老年学』山代寛 他(学文社2015)

「健康とおくすり相談会」「薬剤師になろう！こども調剤体験」

令和6年度薬と健康の週間のイベントで開催された「くすりと健康フェア」において、健康とおくすり相談会とこども調剤体験コーナーのブースを担当しました。相談会には、30名、こども調剤体験には65名の子供たちの参加があり、ご両親が同行の子も多数いました。

健康とおくすり相談ブースでは、血圧測定、体成分測定、骨密度測定、動脈硬化測定を実施しました。来場者に対して薬剤師が1対1でエスコートし、機器の測定を行い、最後に相談コーナーにおいて、結果の説明・相談を受けるという流れでした。

来場者の中にはお薬手帳を持参し、ご自身が服薬しているお薬の相談をされる方も居ました。

調剤体験コーナーでは、お子様用白衣に袖を通した子供たちが、一人前の薬剤師になりきり、調剤の模擬体験をしました。カラーコーディングされた「m&mチョコレート」を錠剤に見立てて、処方本物さながらの処方せ



保健福祉委員会
島袋 さゆり

ん型式で2パターン(青・黄色は朝昼夜、赤色は朝夕)(緑・茶色は朝昼夜、オレンジは朝夕)を用意しました。好きな色パターンを選んでもらい、本物の錠剤分包機を使って調剤体験します。処方せんを読みながら分包機にセットする子供たちの表情は真剣で、とても頼もしく思えました。完成した分包チョコレートは、何ともかわいらしい出来栄です。本物の薬袋に名前を書き、分包チョコレートを入れて、楽しいおみやげになります。最後に、ちびっこ薬剤師は、患者に扮したご両親を相手に投薬・説明を行い、調剤体験は終了です。

また、調剤体験コーナーの待ち時間に、フリップボードを用いて「薬剤師がいるか?○

×ゲーム」を行いました。

警察署に薬剤師はいるか？の問いには、「いない」の答えがほとんどです。沖縄県警には、「科捜研（科学捜査研究所）」があり、薬剤師が勤務しています。事件の立証に必要な証拠を科学の力で明らかにする機関で、沢口靖子主演の「科捜研の女」をイメージしてください。と言うと、お母さんたちが「あ〜」と反応します。

小学校・中学校・高校に薬剤師はいるか？の問いにも、「いない」の答えがほとんどです。「常勤ではありませんが、必ず学校薬剤師が勤務しており、学校の水道水やプールの水が安心して使用できるか等を調べたり、室内の環境チェック、お薬や健康の講演会等を行っ

たりしています。皆さんが会ったことがないのは、授業中に活動しているかもしれませんね。もし、学校で水の検査をしている人を見かけたら、「学校薬剤師ですか？」とお声かけしてください。

今回の、「くすりと健康フェア」は、県外大学薬学部による進路相談ブースが設置されており、その影響で多くの中高生が調剤体験コーナーに参加してくれたことは印象的でした。薬剤師の職能体験の一助となれば幸いです。

最後に、ご一緒頂いた先生方、薬剤師会のスタッフの皆様には感謝申し上げます。これからも皆様とともに、未来ある子供たちに薬剤師という職業を啓蒙していきたいと考えています。

令和6年度「薬と健康の週間」行事表

月 日	行事名	場所	実施団体
10 / 17 (水) ～10 / 22 (火)	「薬と健康の週間」パネル展示	那覇市保健所、沖縄県薬剤師会館	那覇市、沖縄県薬剤師会、沖縄県
10 / 17 (水)	認可外保育園ハンドソープ寄贈式	沖縄県こども未来部 部長室	沖縄県医薬品卸業協会
10 / 18 (木)	薬祖祭	波上宮本殿	沖縄県薬業連合会、那覇市、沖縄県
10 / 18 (木)	全国統一薬事研修会	沖縄県薬剤師会館	沖縄県医薬品登録販売者協会
10 / 19 (土)	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー宮古島シティ	宮古地区薬剤師会、沖縄県
10 / 19 (土)	「薬と健康の週間及び麻薬・覚醒剤乱用防止運動」街頭キャンペーン	イオン名護店前	北部地区薬剤師会、沖縄県薬物乱用防止協会北部支部、沖縄県
10 / 19 (土)	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー石垣シティ	八重山地区薬剤師会、沖縄県
10 / 20 (日)	くすりと健康フェア 「こども調剤体験」	沖縄県薬剤師会館	沖縄県薬剤師会、沖縄県
	くすりと健康フェア 「健康とおくすり相談会」	沖縄県薬剤師会館	沖縄県薬剤師会、沖縄県
	くすりと健康フェア 「特別講演会」	沖縄県薬剤師会館	沖縄県薬剤師会、沖縄県
	くすりと健康フェア 「薬剤師職能紹介・進路相談」	沖縄県薬剤師会館	沖縄県薬剤師会、沖縄県
	沖縄県薬剤師会会長表彰式	沖縄県薬剤師会館	沖縄県薬剤師会
	薬事功労者表彰式、薬事・毒劇監視員医薬食品局長表彰伝達式	沖縄県薬剤師会館	沖縄県

■ ■ こども調剤体験コーナー・〇×クイズ・実験コーナー ■ ■



■ ■ 薬学部への進路相談ブース ■ ■



■ ■ 健康とおくすり
相談会 ■ ■



薬と健康の週間

広報活動

薬と健康の週間は、医薬品及び薬剤師等の役割に関する正しい認識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的に実施されています。

本会では今年も、テレビコマーシャル(TVCM)と新聞への広告掲載等の広報活動を行いました。

TVCMについては、平成25年に本会と琉球放送(RBC)が企画・制作した「薬局・薬店における対面販売強化のための行動に係る県民向け広報としてのTVCM」を、本会ホームページに制作当時より掲載し、放送期間以外でも県民の皆様にご覧いただいています。

他にも沖縄タイムス紙、琉球新報紙への広告掲載をはじめ古謝副会長と喜友名常務理事による両紙の論壇コーナーへの寄稿や、ラジオ各社での各理事によるくすりと健康フェアのPR活動が行われました。

また、会員薬局におかれましてはポスターの掲示や啓発チラシの配布等による広報活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。(文：事務局 川平 真央)



FM沖縄「fine！」
前濱 朋子会長



FM沖縄「人間大好きリレージョッキー」
古謝 玄太副会長



RBCiラジオ「ありんくりんのヨーガクナイト」
阿部 義則専務理事と佐藤 雅美常務理事

テレビCM放送

広報放送テレビ局：琉球放送(RBC) 3チャンネル

放送期間：令和6年10月1日(水)～10月31日(木)

*土日を除く平日の月曜日～金曜日

放送時間：「Nスタ」番組内(午後4時50分～午後5時50分)

※放送時間は、番組編成により変更になる場合がございます。

キャプション：10月1日～23日

「10月17日～23日は薬と健康の週間です。

お薬についてのお問い合わせはお近くの薬局・薬剤師へ」

10月24日以降

「薬剤師が、県民の皆様の健康をサポートします。お薬については、お近くの薬局・薬剤師へお問い合わせ下さい。『決めよう！探そう！かかりつけ薬剤師を』～もっと身近に、ずっとそばに～」



論壇

深刻な県内の薬剤師不足

県薬剤師会の悲願である県内

国公立大学への薬学部設置について、昨年2月に県がその名もズバリ「沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する基本方針」を策定し、一歩前に進んだかに見えた。しかし、県の構想公募に対して県内の大学から提案はなく、残念ながら基本方針で示されたスケジュール通りには進んでいない。報道によれば、県と琉球大学が継続的に協議を進めていくことで合意したとされており、今後の協議の進展を期待



古謝玄太

国公立大の薬学部設置

したい。

そもそも、なぜ県内に薬学部が必要なのか。実は、全国には薬学部がない県は10県以上ある。しかし、沖縄県では人口10万人当たりの薬剤師数が全国最下位となっており、特に薬剤師不足が深刻な状況である。さらに、将来的にも薬剤師の需要が増えていき、薬剤師不足が加速化することが見込まれている。

加えて、沖縄には他の地域にはないさまざまな天然資源が眠っており、その活用によって創薬やバイオ産業の発展に寄与する可能性がある。こうした理由から、県薬剤師会としては県内への薬学部設置を熱望してい

る。

今後、薬剤師の需要が伸びていくことの要因として、急速な高齢化が挙げられる。昨年12月、国立社会保障・人口問題研究所が発表した今後の地域別の推計人口では、沖縄県は総人口の減少幅は低いものの、他県に比べて急速に高齢化が進むとみられている。一般に、高齢になるほど服用する薬が増えることになり、75歳以上の高齢者の4割は、5種類以上の薬を使っているとのデータもある。そうすると、薬の専門家である薬剤師の需要が増えるという算段だ。

薬が増える、薬の情報の管理や、飲み合わせなども気を付けなければならない。思わぬ副作用を未然に防ぐためにも、かかりつけ薬局・薬剤師の活用が有効となる。かかりつけ薬剤師は、病院で処方された薬だけでなく、市販薬やサプリメントなども含めて健康に関する「アドバイザー」となる存在である。

薬学部設置は道半ばであるが、県薬剤師会では県などと連携して、さまざまな薬剤師確保対策事業を実施している。来る17日から23日は「薬と健康の週間」として「くすり」と健康フェアを開催し、その中で子ども調剤体験や健康と薬の相談会なども実施する予定である。ぜひご来場いただき、薬や薬剤師に親しんで、かかりつけ薬局の活用や、薬剤師の在り方について考える機会としてほしい。

(那覇市、県薬剤師会副会長、40歳)

薬と健康の週間

転載記事

琉球新報 令和6年10月10日 (木) 掲載

琉球新報 2024年10月10日

薬局薬剤師の業務は調剤や薬の服用方法の説明、副作用の早期発見、相互作用の確認、薬の管理など多岐にわたっているが、薬の供給不足が問題となっている。昨今では医師に対し代替薬の提案も行うようになってきている。

さらに、65歳以上の高齢者の割合が人口の29%を超える超高齢社会に突入した日本において薬剤師の役割がますます重要になったといわれている。



超高齢社会では、国が薬剤師に求める役割の一つに在宅医療への介入がある。在宅医療の体制には退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りといった場面があり、その全てにおいて薬剤師の介入が必要とされている。これ

論壇

喜友名 朝史

からの薬剤師の業務はこれまでの薬局機能に関するところに加え、在宅の患者や家族に寄り添った薬の専門家としての在宅医療への関与が求められるのである。

一方で、薬剤師には地域への薬の安定供給、住民の健康サポートの担い手としての顔もあ

超高齢社会に突入した日本

薬剤師の役割さらに重要に

り、コロナ禍において、病院の発熱外来が逼迫し、受診・検査難民があふれた際、県や医師会がセルフメディケーションを呼びかけ、地域の薬局・薬剤師は抗原定性検査キットや解熱鎮痛剤の供給を行うことで、当時の混乱を乗り切ることができた

セルフレディケーションは自分自身で健康を管理し、軽度な症状は自分で治療するという考え方で、国はこれを推奨している。その一環として、病院から処方される成分を含む薬を市販化する「スイッチOTC」と呼ばれる施策が進められている。現

在、その種類が増え、セルフメディケーションの幅が広がってきている。医療費控除の対象にもなっているため、皆さんも軽度な喉の痛みや発熱などの症状の際には、市販薬で対応できるのか医療機関を受診すべきかをぜひとも地域の薬局薬剤師に相談いただきたい。

（南風原町、県薬剤師会常務理事、40歳）

薬局では健康・栄養相談、在宅医療、介護に関する相談も受け付けているので、健康や医療に関して分からないことがあれば、いつでも相談いただきたい。

毎年10月17～23日は「薬と健康の週間」である。20日(日)に県薬剤師会館で実施する「くすりと健康フェア」では「健康とおくすり相談会」や県民公開講演会を開催する。

普段利用している薬局や自宅周辺の薬局の中から「かかりつけ薬局」を決め、信頼できる薬剤師を「かかりつけ薬剤師」とすることで、薬局薬剤師が地域住民の医療や健康増進の一端を担っていることを知っていただくきっかけになればと思う。

（南風原町、県薬剤師会常務理事、40歳）

告知チラシ

薬と健康の週間 10/17(木)▶23(水) *・*・*・*・*・*

くすりと健康フェア《心身ともに健康》

県民公開講演会

令和6年**10月20日** **日**

13:00～14:15

沖縄県薬剤師会館ホール

島尻郡南風原町字新川218-10

入場無料



講演 そうだったのか 健康長寿!

～次世代の健康づくり、
薬剤師に期待する役割～

講師 **山代 寛** (やましひろし)

講演題目
沖縄大学学長 琉球大学医学部薬学科一輪生 鹿児島大学薬科にて博士号(医学)取得。
20年以上の外科医としての経験を生かし、2006年より西海本病院の副院長兼外科として沖縄大学赴任。
県庁内で生涯学習推進課長に就任。沖縄大学健康推進学部長として教育に携わる。
*健康と次世代の健康づくりに関する「ローカル・リーダー」作成委員長、沖縄県薬剤師会会長、リレー・フォー・ユースの副実行委員長、沖縄の健康づくり推進委員。

◎日時/令和6年**10月20日**(日)
14:30～17:00(受付13:00～)

◎場所/沖縄県薬剤師会館
(南風原町新川218-10)

薬剤師になろう!こども調剤体験

◎対象年齢/小学生から高校生まで

県外大学薬学部による進路相談ブース

◎対象年齢/薬剤師に興味がある児童・学生等

★沖縄県の生徒が在籍する3～4大学の
薬学部がブースを設置します!

健康とおくすり相談会

◎測定内容/血圧測定、血管年齢測定、
骨密度測定、体成分測定

すべて参加受付は当日会場にて行います



スマホ・タブレット・
パソコンや
スマートフォンで
動画をご視聴
いただけます▶

- ◎薬の正しい使い方について
- ◎薬物乱用防止について
- ◎かかりつけ薬剤師・薬局について
- ◎地域連携薬局について
- ◎感染症予防における正しい手の洗い方や消毒方法について



QRコードから
アクセスしてね!

オンラインで
ご視聴頂けます!

沖縄県薬剤師会 薬と健康の週間

主催: 沖縄県・沖縄県薬剤師会

沖縄県薬剤師会事務局
☎098-963-8930



うまはら

とよみ



転載記事

毎日新聞「薬と健康の週間」企画紙面（10月17日（火））

セルフレキア・セルフレイメーションの強い味方が薬剤師

薬と健康の週間+



健康維持や病気予防で「自己管理」の大切さが叫ばれています。市販の薬や健康食品を手元に活用したいところですが消費者が自分で選ぶ、正しく使うのは簡単ではありません。そこで心強い味方になってくれるのが薬剤師です。10月17〜23日の「薬と健康の週間」(主催:厚生労働省、日本薬剤師会など)に合わせ、日本薬剤師会常務理事の富永孝治さんに、アドバイスをいただきました。



日本薬剤師会 常務理事 富永 孝治さん

薬剤師が健康管理をサポート

「医者の不養生」ならぬ「薬剤師の不養生」でしょうか。私は薬局に来られる方の話をすると、ほぼすべて「自分自身の健康管理は自分でやります。毎日、人間ドックで健康診断を受けます。お酒の「休肝日」を設けるようにしたり、塩分・脂質・血糖値などいろいろな数値が気にくならない場合は、「セルフレキア・セルフレイメーション」を自分で実践するのは難しいので、実践した方がです。

セルフレキア・セルフレイメーションは、世界保健機関(WHO)で「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」を定義されています。薬をうまく使い、適度な運動、十分な睡眠が大事なのは言わずもたずですが、それに加えて「市販薬(OTC医薬品)の上手な活用」も鍵になります。

OTC医薬品にはたくさん種類があり、効果や副作用もさまざま。風邪などの症状を緩和するだけでなく、最近はお酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

自分だけで薬を処方するのではなく、薬師としての

富永孝治さん、健康維持や健康食品の組み合わせ(併用)で悪影響が出ないようにします。

まずは、お近くの薬局で薬剤師に相談してください。薬剤師はセルフレキア・セルフレイメーションを受けるお客様を支援する専門家です。

消費者のヘルスリテラシーの向上にも尽力

薬剤師の仕事を責任を持って担います。例えば健康食品は「安全」に選ぶことが重要です。また、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。また、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

セルフレキア・セルフレイメーションは、世界保健機関(WHO)で「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」を定義されています。薬をうまく使い、適度な運動、十分な睡眠が大事なのは言わずもたずですが、それに加えて「市販薬(OTC医薬品)の上手な活用」も鍵になります。

自分だけで薬を処方するのではなく、薬師としての

健康被害が大きな社会問題になり、健康食品の安全性が注目されました。これは製造工程の管理に問題があり、中には「市販健康食品は医薬品ではないので、薬を治療する目的での服用は避けましょう」という医師の忠告も聞かれます。健康食品は「健康」や「予防」に関する理解を深め、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

薬剤師から積極的に聞き取り、自分で薬を選ぶのは難しいので、薬剤師に相談してください。

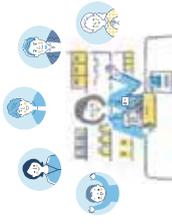
健康をサポートし、国民の幸せに寄与

健康はただただ薬を飲んで治すことではなく、生活習慣の改善やストレスの軽減など、自分自身の健康を自分で管理することが重要です。また、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

「薬師としての責任」をしっかりと果たすことが、国民の健康を守るためには不可欠です。また、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

自分だけで薬を処方するのではなく、薬師としての

頼れる存在 かかりつけ薬剤師



「薬局に行っても、対応してくれる人はいない。気軽に相談できる顔なしの薬剤師がいてくれるのは、本当にありがたい。」「そう感じている人は、『かかりつけ薬剤師』を持つといい。

かかりつけ薬剤師を持つことにより、使用している薬の情報を一元的に継続的に管理し、市販薬や健康食品に関するアドバイスもしていただける。休日や夜間など薬局の閉店時間外も、電話で薬の使い方や副作用や飲み合わせなど、お酒の飲み過ぎやストレスによる胃腸の弱さや便秘の予防に役立つ薬も増えていきます。

また、このように、かかりつけの機能を有している薬局では「健康サポート薬局」の届出をしている薬局も多い。「健康サポート薬局」は、市販薬や介護用品選びの手伝い、プラマイバイザーに配慮したスペースでの健康相談など、幅広いサービスを提供しているのが特徴だ。昨年9月時点で全国に3,000店舗以上あり、年々増えている。

健康サポート薬局とは?
https://www.nichiyaku.or.jp/kakaritsusuke/support_pharmacy/index.html



PR 企画・制作/毎日新聞社営業総本部

薬と健康の週間

日本薬剤師会ウェブサイトの「メディア掲載情報」コーナーには、この他にも啓発記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

毎日新聞 令和6年10月7日（月）掲載

毎日新聞 令和6年10月14日(月)掲載

PR

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol.1 薬剤師はあなたの健康をサポートします

薬剤師や薬局というと、医療機関で発行された処方箋を持っていき、薬剤師は調剤をする人、薬局は調剤をしてもらう場所のイメージが少なくないかもしれません。実は薬局では市販薬や絆創膏や包帯、体温計や血圧計などのセルフケアに必要なものも購入でき、「薬だけ」ではない一面があります。

また地域住民の方々を対象に、薬や健康増進に関する相談会や健康づくりを支援する情報発信などを行っている薬局もあります。身近な薬局を「かかりつけ」として、処方箋調剤だけでなく健康相談にもご利用いたただけると、薬のこたげにとどまらず、健康な時はよりその状態を保てるようアドバイスや、健康に不安があるときには悪化しないよう地域の医療機関とも連携して、薬剤師がサポートいたします。

最も有効な薬局の利用方法は、どんなことでも「かかりつけ」の薬局に相談いただくことです。これから薬局を探す方は「健康サポート薬局」を検索してみてください。

日本薬剤師会がリリースしている電子版お薬手帳「eお薬手帳3.0」は、処方された薬の管理だけではなく、市販薬の管理もできるアプリです。またオンライン服薬指導機能も搭載しています。現在、進んできている電子処方箋と共に、今後の医療DXには欠かせないものとなります。

これまでの健康保険証がマイナ保険証に変わり、紙のお薬手帳もアプリになり、処方箋も電子化が進ん



こちらもチェック

地域住民の健康づくりを支援
公益社団法人 日本薬剤師会

PR

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol.2 薬局でも医療DXが進んでいます！

皆さんは医療DXが進みつつあることを感じられているでしょうか。最近、病院や薬局へ行くと、「マイナバーカードをお持ちですか？保険証の利用登録をされていますか？」と聞かれることがあると思います。いわゆる「マイナ保険証」のことです。マイナ保険証は、マイナバーカード

と健康保険証が一体化したもので、マイナ保険証の読み取り機能がある薬局に持ち込むと、過去の医療情報等を薬局とも共有することが出来ます。マイナバーカード自体に医療情報等が入っているわけではありませんので、安心してご利用ください。この医療情報は、その患者さんが使

用してはいけない薬や、重複している薬等を薬剤師が判断する助けになり、その上で処方した医師とも相談することができます。また、電子版お薬手帳等を併用することで、よりリアルタイムに情報を取得でき、一人ひとりの状態に合った薬の選択ができるようになります。

日本薬剤師会がリリースしている電子版お薬手帳「eお薬手帳3.0」は、処方された薬の管理だけではなく、市販薬の管理もできるアプリです。またオンライン服薬指導機能も搭載しています。現在、進んできている電子処方箋と共に、今後の医療DXには欠かせないものとなります。

これまでの健康保険証がマイナ保険証に変わり、紙のお薬手帳もアプリになり、処方箋も電子化が進ん



こちらもチェック

お薬手帳アプリ「eお薬手帳3.0」とは
公益社団法人 日本薬剤師会

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

毎日新聞 令和6年10月21日 (月) 掲載

毎日新聞 令和6年11月4日 (月) 掲載

PR

PR

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol.4 薬剤師と考える災害への備え

日本は地形、地質、気象条件などにより、地震や津波、火山噴火、台風・大雨が発生しやすい、世界有数の災害大国といわれています。今年も元日に発生した能登半島地震をはじめとする地震被害、大雪による被害、火山被害や林野火災、大雨による浸水被害や土砂災害など多くの災害が身の

回りで発生しています。災害が発生して緊急避難をしたときに、食料や水と共に必要となるのが治療のためにいつも使用している医薬品です。手持ちの医薬品を持って避難できればいいですが、緊急の場合は着の身着のままでの避難となってしまう。そんな緊急時でも自分のお薬情報

があれば、普段とは違う医療機関、薬局、避難所等でもスムーズに診療を受け、薬を受け取ることが可能になります。そのツールがお薬手帳です。東日本大震災や熊本地震でも重要性が認識されたお薬手帳ですが、最近では紙のお薬手帳のほかにスマートフォン等に

対応した電子お薬手帳アプリも普及しています。きっと皆さんは災害時などの緊急時でも、携帯電話やスマートフォンを持って行動するのではないのでしょうか。

またマイナンバーカードをお持ちの方は、お薬情報のほかにも保険情報や診療情報なども避難所等で確認できるようになります。最近の災害は忘れる前にやってみます。皆さんの「かかりつけ薬局」や「かかりつけ薬剤師」に平時か

ら災害時の対応についてぜひご相談ください。災害発生時や緊急時でも私たち薬剤師が必要な医薬品を皆さんのお手元にしっかりとお届けします。



こちらもチェック 災害時における薬剤師活動 公益社団法人 日本薬剤師会

薬剤師・薬局の上手な活用法

Vol.3 薬剤師によるフォローアップ、ご存知ですか

薬局では、薬を正しく使用できているか、薬が効いているか、副作用の兆候が表れていないか等について、薬剤師が患者さんに電話やオンラインなどで確認するフォローアップのサービスを行っています。フォローアップは、薬を一人ひとりの状況に合わせて安全に使用していただくための

大変有効な方法となっています。また同時に、患者さんと薬剤師のコミュニケーションを強化し、安心して薬を使い続けていただくための大切な機会です。フォローアップを受けることで、薬の正しい知識が身に付き、適切な使用につながりますので、気兼ねなくこのサービスを受けてください。

また「ポリファーマシー」という言葉をお聞きになったことはありませんか。ポリファーマシーは「ポリ(多く)」と「ファーマシー(薬剤)」からなる造語で「多剤服用」とも言います。これは、単に服用する薬剤数が多いことではなく、それによって有害な事象が起きている、あるいは起きやすい

状態や、薬を飲み忘れやすくなる状態等を指します。ポリファーマシーを防ぐためには、薬の服用等は自己判断をせずに、医療機関や薬局では、服用している処方薬だけでなく、市販薬やサプリメント等の情報も、医師や薬剤師等に伝えるようにしましょう。かかりつけ医やかかりつけ薬剤師・薬局を持つことも大切ですし、かかりつけ薬剤師からのフォローアップを受けることも有効な手段と

なります。また、医師や薬剤師がお薬手帳からあなたの使っている全ての薬を把握できるように、お薬手帳はひとつにまとめて、継続して記録するようにしましょう。



こちらもチェック お薬のご相談はかかりつけ薬剤師・薬局に 公益社団法人 日本薬剤師会

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

沖縄学術大会

第37回沖縄県薬剤師会学術大会

日時：令和6年11月24日（日）10:20～17:45

会場：沖縄県薬剤師会館ホール・WEB配信



大会実行委員会
委員長 潮平 英郎

11月24日（日）、昨年に引き続き、現地参加を主としたハイブリッド開催により「薬剤師がもたらすイノベーション」をテーマに第37回沖縄県薬剤師会学術大会が実施された。大会の参加者は164名（現地：107名、WEB：57名）であった。春田崇彰大会実行委員の司会進行のもと、中村克徳大会副会長の開会の辞で開幕した。続いて前濱朋子大会会長から「電子処方箋やマイナ保険証など医療DXの推進が求められるなど、我々薬剤師を取り巻く環境が大きく変化しようとする中、薬剤師自身もこの機会を好機と捉え、地域医療や地域住民に良いイノベーションをもたらす主役であってほしいとの願いから大会テーマを「薬剤師がもたらすイノベーション」とした。」と挨拶があった。

会員発表の部では、大城 匡史先生（社会医療法人友愛会 豊見城中央病院）、喜友名朝史先生（第37回沖縄県薬剤師会学術大会委員）、鈴木玲子先生（第37回沖縄県薬剤師会学術大会委員）、友利幹夫先生（沖縄県立中部病院）の4氏が座長を務め、保険薬局・その他部会関連から10演題、病院薬局関連から8演題の合計18演題の発表が行われた。ランチョンセミナーではサンド株式会社様に開催していただき、中村克徳副大会長を座長に社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会中津病院薬剤部薬剤部長 萱野勇一郎先生に「AI活用時代のバイオシミラーの選び方～患者・医療従事者を笑顔にできるか？～」と題してご講演頂いた。特別講演では前濱 朋子大会長を座長に、有限会社宮崎薬局 宮崎長一郎先生を講師に迎え「薬局薬剤師の研究と研究倫理」と題してご講演頂いた。医療と研究双方からの倫理に関する話題と、ご自身の研究業績の紹介があった。

また、5社の協賛企業の広告放映と7社の機器展示が行われた。最後に、大会実行委員長（筆者）が閉会の辞を述べ、盛会のうちに幕を閉じた。今後も離島・遠隔地会員の皆様にもご参加頂けるインフラとしてオンライン開催を残して行きたいと考えている。

実行委員長としての今大会のハイライトに、特別講演が挙げられる。講師の宮崎長一郎先生は医療薬学や感染制御分野で活躍する薬剤師のお一人であり、同時に長崎県薬剤師会会長や日本薬剤師会副会長を歴任されて来られた御仁であり、研究倫理をお話頂く適任者と考え依頼を差し上げたところご快諾頂いた。今回の講演では、研究倫理に留まらず、「professionとしての薬剤師、斯くあるべし」に繋がる薬剤師倫理にまで展開した講演は、一時代を築いてこられた先達の言葉の重みがあり、深く感銘を受けた。

最後に、ご協力をいただいた座長や演者の先生方、協賛をいただいた企業と沖縄県薬剤師会事務局ならびに大会運営スタッフの皆様、心より感謝申し上げます。



講演要旨（表紙）

第37回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

10:20 開会



開会の辞
第37回沖縄県薬剤師会学術大会
副大会長 中村 克徳



会長挨拶
第37回沖縄県薬剤師会学術大会
大会長 前濱 朋子



司会
第37回沖縄県薬剤師会学術大会
実行委員 春田 崇彰

一般演題・午前の部（前半）10:30～11:10



座長 社会医療法人友愛会
豊見城中央病院
大城 匡史



- 1 能登半島地震におけるDMAT活動報告と薬剤師の役割について
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 薬局
○座 波 克 圭



2 診療報酬改定に伴う薬剤総合評価調整加算取得への取り組み

社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院

○喜屋武 夏 妃 宮 里 弥 篤
前 泊 美 保 長 嶺 桃 子
花 城 夢 月 吉 山 祐 美
浜 元 善 仁



3 当院におけるハブ咬傷受診状況および乾燥はぶウマ抗毒素使用後副反応調査

北部地区医師会病院

○栗 田 実 紗 大 浦 真 也
當 山 介 斗 伊 藤 成 美
伊 藤 明 人 高 良 秀 史



4 乳がん患者に対するがん関連血栓症の臨床評価

中部徳州会病院

○横 山 夏 季 駒 井 勇 太
人 見 百合子 阿 部 多嘉浩
水 野 康 平 宇 根 良 裕
又 吉 嘉寿人 喜 多 洋 嗣

一般演題・午前の部（後半）10：30～12：10



座長 第37回沖縄県薬剤師会学術大会
委員 喜友名 朝史



5 門前でない保険調剤薬局開局から10年の統計と

調剤報酬に求められる地域医療貢献体制の比較

薬局えぱーわーな～

○平 良 恭 子 徳 里 千 春
当 真 美佐枝



6 骨粗鬆症治療の重要性 ～今、薬剤師に求められること～

樹々薬局

○上 地 めぐみ 我喜屋 優 希
川 上 善 久



7 医療的ケア児訪問薬剤師症例報告 ～1症例への取り組み～

ぎのわん健康支援センター うちどまり薬局

○早川 美沙 金城 幸弥
村田 美智子 新川 重一



8 HIV患者の生活様式、合併症及び認知機能の変化を伴う諸課題に

チーム医療連携の推進が寄与した一症例

(株)薬正堂 すこやか薬局 新川店

○寺本 奈都子 屋良 愛
松田 絵理菜 安次富 大
坂本 政文 喜屋武 芳美
佐藤 雅美 官里 早香

沖縄県南部医療センター・こども医療センター

成田 雅 向井 三穂子
渡慶次 真由美



9 HIV陽性者の心血管イベント予防を見据えた慢性腎臓病治療を提案した1症例

中部地区薬剤師会

株式会社沖縄ファーマシー

○新江 裕貴

ランチョンセミナー 12:50～13:50

【共催：サンド株式会社】

座長 第37回沖縄県薬剤師会学術大会 副大会長 中村 克徳

「AI活用時代のバイオシミラーの選び方

～患者・医療従事者を笑顔にできるか?～」

講師：社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会中津病院 薬剤部
薬剤部長 萱野 勇一郎

<講師略歴>

1992年北陸大学薬学部卒業、1997年に北陸大学大学院 薬学研究科博士課程を修了、同年より金沢大学医学部附属病院薬剤部にて研修後、非常勤薬剤師として勤務。

1998年からは福井医科大学（現 福井大学）医学部附属病院薬剤部にて勤務、2007年には富山大学大学院 医学薬学研究部の助教、2009年に福井大学医学部附属病院 薬剤部に復帰、2013年に京都大学医学部附属病院 薬剤部副薬剤部長に就任。

2015年より、社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院にて薬剤部長を務め、現在に至る。

社会活動では、日本病院薬剤師会 医療政策部に所属し、重篤副作用疾患別対応マニュアルの改訂委員も務める。

大阪府病院薬剤師会の支部長および全国済生会病院薬剤師会の監事としても活躍中。



特別講演 14:10 ~ 15:40

座長 第37回沖縄県薬剤師会学術大会 大会長 大濱 朋子

「薬局薬剤師の研究と研究倫理」

講師：有限会社 宮崎薬局 宮崎 長一郎

<講師略歴>

1985年に福岡大学薬学部を卒業後、同大学大学院 薬学研究科博士課程前期（医療薬学）を経て、1991年に長崎大学大学院 薬学研究科博士後期課程にて博士（薬学）を修了。

1991年に長崎大学医学部附属病院薬剤部へ入職後、翌年に宮崎薬局を承継。

2001年には長崎県薬剤師会 理事に就任、後2007年から2017年まで長崎県薬剤師会 会長を務める。

日本薬剤師会では、2010年に理事に選任され、2012年には常務理事、さらに2020年から2022年まで副会長を務められました。日本医療薬学会では2010年から2020年、そして2022年から現在に至るまで理事を務める。

著書には、「Visual Basic PEDTAによるTDMの実際」（共編著）、「改訂保険薬局におけるPOSの実際」（共編著）、「調剤と情報 2010.8 vol.16 8月臨時増刊号「ハイリスク薬の薬学的管理 薬局での考え方と対応」」（共編著）、「ウインターの臨床薬物動態学の基礎：投与設計の考え方と臨床に役立つ実践法」（共訳）、「薬物動態学と薬力学の臨床応用－TDMの正しい理解のために」（共訳）など、多岐にわたる分野で活躍中。



一般演題・午後の部（前半）16:00 ~ 16:50



座長 第37回沖縄県薬剤師会学術大会
委員 鈴鹿 玲子



10 南部の広域給食センター設立へのアプローチ

南部支部学校薬剤師

○鍛 治 礼 子 大 城 晴 子
長 瀬 涼 平 良 恭 子



11 桂枝茯苓丸の丸剤の作り方

ふてんま薬局 ○桃原泰誠



12 薬局薬剤師が関与した禁煙サポート事業の一考察

まつお虹薬局 ○玉城三十美
沖縄県薬剤師会 盛本直也 村田美智子
阿部義則 前濱朋子
全国健康保険協会沖縄支部 玉城雅人 新垣清乃



13 沖縄県内における認定こども園の環境衛生検査実施状況について

沖縄県薬剤師会
会営薬局とよみ ○飯塚雄矢
試験検査センター 小泉宝之
試験検査センター委員会 阿部義則



14 「新型コロナワクチン専門相談センター」運営と課題について

沖縄県薬剤師会
会営薬局うえはら ○白坂亮
薬事情報センター 吉田典子

一般演題・午後の部（後半）17:00～17:40



座長 沖縄県立中部病院
薬局長 友利幹夫



15 直接作用型経口抗凝固薬における出血及び塞栓リスクの要因調査

中部徳洲会病院 薬剤部 ○阿部多嘉浩 喜多洋嗣



16 医薬品副作用データベース(JADER)を用いたシスプラチン誘発性腎障害に対するマンニトールとフロセミドの予防効果の解析

- 1) 琉球大学病院薬剤部 ○國場 訓¹⁾ 奥間 瑞希¹⁾
2) 熊本大学薬学部・大学院生命科学研究部
潮平 英郎¹⁾ 石塚 洋一²⁾
薬物治療設計学分野 (臨床薬理学)
近藤 悠希²⁾ 座間味 義人³⁾
3) 岡山大学病院薬剤部 濱野 裕章³⁾ 小島 みどり¹⁾
大嶺 菜¹⁾ 鈴木 毅¹⁾
石井 岳夫¹⁾ 難波 有智¹⁾
中村 克徳¹⁾



17 少量の甘草投与に起因する偽アルドステロン症が疑われた1症例

- 1) 沖縄県立北部病院 薬局 ○藤田 喬¹⁾ 勝連 真人¹⁾
2) 沖縄県立北部病院 総合診療科 森田 直希²⁾ 垣花 真紀子¹⁾



18 簡易懸濁の可否を薬剤情報提供書へ導入する取り組み
医療法人敬愛会 中頭病院 薬剤科

- 普久原 朝樹 翁長 卓司
小森 佳奈子 洲 鎌 なつき
古賀 葉子 木奈崎 昭男
安座間 照子

17:40 閉会



閉会の辞

第37回沖縄県薬剤師会学術大会
大会実行委員長 潮平 英郎



左から、演題審査のオブザーバーを務めた中尾滋久副委員長、司会を務めた春田崇彰委員、潮平英郎委員長、特別講演講師の宮崎長一郎先生、前濱朋子大会長、中村克徳副大会長。

〔機器展示コーナー〕



有限会社アクセス・オー



ウィーメックス株式会社



沖縄東邦株式会社



株式会社タカゾノ



株式会社トーショー



株式会社ユヤマ



株式会社リレーションズ



ご協賛いただいた皆様
ありがとうございました。

協賛会社 (五十音順)

- 有限会社 アクセス・オー
- アース製薬株式会社
- ウィーメックス 株式会社
- イーザイ株式会社
- 沖縄県医薬品卸業協会
- 沖縄東邦 株式会社
- サンド株式会社
- 株式会社 タカゾノ
- 株式会社 トーショー
- 株式会社 ユヤマ
- 株式会社 リレーションズ
- レキオフาร์ม株式会社

沖縄学術大会

第37回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会

日時：令和6年11月24日（日）18：00～19：00

会場：沖縄県薬剤会館研修室



発表者18名へ潮平英郎委員長より演題発表認定証が授与された

奨励賞受賞者



≪保険薬局・その他部門≫
早川美沙氏
代理受賞を務めた
村田 美智子理事



≪病院・診療所部門≫
阿部 多嘉浩氏



来賓挨拶
比嘉奈緒子
沖縄県保健医療介護部
保健衛生統括監



司会
知名 博樹
常務理事

第37回沖縄県薬剤師会学術大会の終了後、会場を研修室へ移し、懇親会が開催された。司会は知名博樹常務理事が務め、前濱朋子会長の開会の挨拶に続き、来賓の比嘉奈緒子沖縄県保健医療介護部 保健衛生統括監よりご挨拶を頂戴した。

次に、演題発表者への認定証授与と奨励賞の表彰式が執り行われた。

演題発表認定証授与式では、潮平英郎委員長より発表者18名へ認定証が授与された。続いて奨励賞表彰が行われ、審査講評と各部門の受賞者が発表された。

保険薬局・その他部門では、「医療的ケア児訪問薬剤症例報告～1症例への取り組み

～」を発表した、ぎのわん健康支援センターうちどまり薬局の早川美沙氏が受賞した。

病院・診療所部門では、「直接作用型経口抗凝固薬における出欠及び塞栓リスクの要因調査」を発表した、医療法人徳州会 中部徳州会病院 薬剤部の阿部多嘉浩氏が受賞し、前濱会長より表彰状と副賞が授与され、会場から盛大な拍手が送られた。

中村克徳副会長の乾杯の音頭で歓談に移り、和やかな雰囲気の中、参加者同士で交流を深める光景が見られた。

学術大会に続き、懇親会にも多くの方にご参加いただき盛会のうちに幕を閉じた。

（文：事務局 川平 真央）

沖縄学術大会

会員発表審査報告



大会実行委員会
副委員長 中尾 滋久

今年度は18演題の発表を行いました。

奨励賞1つ目は、早川美沙先生の発表された「医療的ケア児訪問薬剤師症例報告～1症例への取り組み～」を選定しました。

選考理由は、問題の抽出と解決において、薬剤師が患者や多職種との連携役を果たし、患者のために積極的に取り組んだ内容をわかりやすく報告していただいた点です。地域に根差した薬局が県民の相談窓口として機能することで、患者と多職種を結びつけるケースが増えることが期待されています。このような取り組みはどこの薬局でも必要であり、早川先生の事例はそのための貴重な情報を提供してくださいました。患者にとっての問題を把握し、それを的確に解決へとつなげることで地域に必要とされる薬局・薬剤師となる道標となる発表でした。

2つ目は、阿部多嘉浩先生の「直接作用型経口抗凝固薬における出血及び塞栓リスクの要因調査」を選定しました。

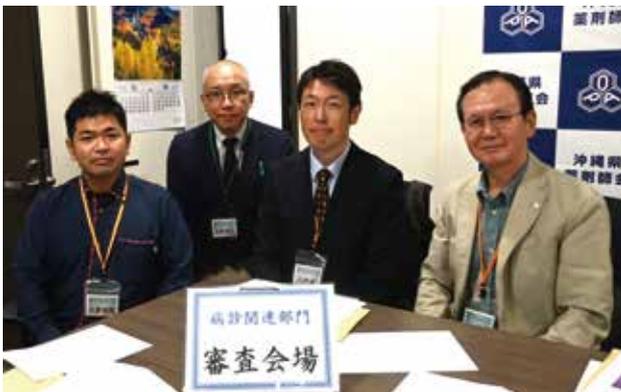
選定理由は、研究の目的と方法が明確であり、病院だけでなく開局薬局でも広く使用される薬剤に関するもので、多施設での業務や患者への応用・還元が可能な内容を提示していただいた点です。代謝・排出経路の違いや年齢、性別、既往歴など患者の個別的な特性

を考慮したうえで投与量の適正を判断する重要性を再認識させていただきました。また、直接作用型経口抗凝固薬の使用頻度が高まる中で、薬剤師がそのリスク管理をしっかりと行うことが求められています。本発表を通じて、薬剤師が患者の出血や塞栓のリスクを適切に評価し、治療の適正化を図るための知識と実践がさらに広がることを期待しています。

最後に、演題を発表された皆様とご施設の皆様には、日々の業務で感じる疑問や取り組みを共有していただき、心より感謝申し上げます。審査員一同、どの発表も素晴らしく、業務において大いに参考になる内容だと評価いたしました。

しかしながら、発表方法について規定に沿わないものが見受けられました。県薬学術大会は、規定を学び、他の学会への参加の足掛かりとしてご活用いただける場です。発表の内容や方法についてご不明な点がございましたら、ぜひ薬剤師会にご相談ください。

今年度は多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。来年度はさらに多くの薬剤師の皆様にご参加いただけるよう、引き続き取り組んでまいります。



<病院・診療所部門審査員>
左から、名嘉紀勝氏、入月健氏、阿部義則氏



<保険薬局・その他部門審査員>
左から、知念大輔氏、安次富長洋氏、宮城幸枝氏

< 発表要旨 >

保健薬局・その他部門
奨励賞受賞

7. 医療的ケア児訪問薬剤症例報告 ～1症例への取り組み～

ぎのわん健康支援センター うちどまり薬局 ○早川 美沙 金城 幸弥
村田 美智子 新川 重一

【はじめに】

「医療的ケア児」とは、医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと、とされている。近隣の整形外科処方箋が大半を占める当薬局で、手探りで開始した医療的ケア児の訪問薬剤の奮闘を報告する。

【症例】

〔患児〕3歳6か月（2024/11月現在）女兒、在胎27週425gで出生した超低出生体重児、双胎第2子。〔主な疾患名〕慢性肺疾患、先天性声門下狭窄、気管軟化症、発育不全〔既往歴・診療経過〕運動機能障害、気管切開管理、在宅人工呼吸器、在宅酸素、吸引・吸入〔使用薬剤〕カルボシステインシロップ5%、消毒用エタノール、グリセリン浣腸液50%、生食液NS、ヒルドイドクリーム0.3%、リンデロンV軟膏0.12%、エンシュア・H、アンヒバ坐剤小児用100mg〔処方提案〕ダイアアップ坐剤4mg

【考察】

- ・ケアのキーパーソンは母親である。兄弟姉妹の存在も大きく影響する。
- ・医療的ケア児の薬剤の受け取りは、待ち時間、処方内容、天候等の面から介護者・患児に負担が大きい。
- ・近隣医に気軽に診てもらえないため、多めの薬剤を処方してもらうことがあり、薬剤管理に不安がある。
- ・医療的ケア児の訪問薬剤は医療保険の範疇であるためか、多職種をまとめる役割者が存在しないため、連携や情報共有に不足を感じた。
- ・同じ母親という立場でケア児の母親の不安に寄り添い、医師との橋渡しができたことで、母親の不安を軽減することができたと感じている。

【まとめ】

今回携わった1症例を通して、医療的ケア児の訪問薬剤は潜在的な要請があるにも関わらず、広く一般に周知されていないと痛感した。医療的ケア児の訪問薬剤は、時間と労力が要求されるが、ケア児の近隣薬局が1～2件ペースで引き受けることで安心かつ継続して地域で暮らすことにつながると考える。それが医療的ケア児の訪問薬剤の周知にもつながり、また近隣薬局同士の連携が進めば、さらに医療の質は高まると考える。

< 発表要旨 >

病院・診療所部門
奨励賞受賞

15. 直接作用型経口抗凝固薬における出血及び塞栓リスクの要因調査

医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 薬剤部 ○阿部 多嘉浩 喜多洋嗣

【目的】

現在、わが国の臨床現場において直接作用型経口抗凝固薬 (direct oral anticoagulants: DOAC) は腎排泄型のダビガトラン、エドキサバン、肝代謝型のリバロキサバン、アピキサバンが使用されている。DOAC は固定用量で使用可能であるが、各薬剤の添付文書において年齢、体重、腎機能や併用薬など減量基準が定められている。しかし、適正量にもかかわらず発症する出血・塞栓イベントの原因についての一定の見解はない。そこで本研究では、DOAC 内服中に発症する出血及び塞栓リスクに関与する因子を調査することを目的とした。

【方法】

2021年4月から2023年3月の期間で、中部徳洲会にてDOACを新規に処方された患者を対象とした。電子カルテにて後方視的に調査を行い、年齢、性別、既往歴、検査値及びDOACに対する相互作用及びDOAC開始後の出血・塞栓イベントを調査した。DOACをダビガトラン、エドキサバンを腎排泄型、リバロキサバン、アピキサバンを肝代謝型とし、それぞれイベントに対してロジスティック解析を実施した。また、出血及び塞栓イベントの詳細を集計した。

【結果】

該当期間におけるDOAC処方患者1028名から、他院継続処方202名、データ欠損359名を除外した467名を解析対象とした。腎排泄型DOAC、肝代謝型DOACそれぞれでイベントに対して年齢、体重、クレアチンクリアランス、DOACに対する相互作用の有無を説明変数としてロジスティック解析を実施した結果、肝代謝型において年齢のみ有意差を認めた($P = 0.04$)。また、肝代謝型のイベントの内訳は出血が2例、塞栓が8例認められた。

【考察】

DOACにおいて肝代謝型であるリバーロキサバン、アピキサバンにおいて年齢が上昇することでイベントリスクが上昇する可能性が示唆され、塞栓イベントが8例確認された。適正量投与されているにも関わらず塞栓イベントが多く生じており、肝代謝型DOACの過少投与の可能性が考えられた。肝代謝型DOACは過量投与になりにくい一方で、添付文書の投与量では過少投与の可能性が報告されている。加齢による脳血管への影響や、貧血進行による血栓リスクの上昇などの因子と共に、肝代謝型DOACの血中濃度の低下の可能性もあると考える。今後、CYPやP-gpによる薬物代謝は個人差があることから、血中濃度測定などにより塞栓イベントと投与量の関連を解明していく必要があると考える。

保健・福祉

令和6年度薬剤師認知症対応力向上研修

日時：令和6年11月10日（日）13:00～17:15

会場：沖縄県薬剤師会館・Web

<プログラム>

13:00～13:05	オリエンテーション		
13:05～13:25	「かかりつけ薬剤師の役割」	保健福祉委員会	中尾 滋久
13:25～13:30	質疑応答		
13:30～14:30	「基本知識」	沖縄県認知症サポート医 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医師	仲村 義一
14:30～14:35	質疑応答		
14:45～15:55	「薬局業務における実践」	保健福祉委員会	中尾 滋久
15:55～16:00	質疑応答		
16:00～17:00	「地域・生活における実践」	沖縄県地域包括ケア推進課 地域包括ケア推進班	石川 直希
17:00～17:05	質疑応答		
17:05～17:15	アンケート記入		

令和6年11月10日（日）に、現地とオンライン（ZOOM）で本研修を開催しました。

薬剤師は、認知症の人の状況に応じた薬学的管理だけでなく、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医をはじめとした医療職や関係機関との連携、認知症の人とその家族への支援体制構築の担い手となることを目的として平成28年度より本研修を開始しました。

保健福祉委員会
中尾 滋久



昨年度よりカリキュラムが変更となり、今年度はテキストが刷新されました。Ⅰ. かかりつけ薬剤師の役割とⅢ. 薬局業務における実践は私、Ⅱ. 基本編はハートライフ病院の仲村義一医師（認知症サポート医）、Ⅳ. 地域・

<講師陣>



中尾 滋久氏



仲村 義一 医師



石川 直希氏

生活における実践は沖縄県地域包括ケア推進課地域包括ケア推進班の石川直希さんが講義を行いました。

この研修を修了すると沖縄県知事名の「修了証書」を交付し、同意を得られた薬剤師は研修修了者として沖縄県のホームページに掲載されます。令和5年度研修終了時点で掲載されている薬剤師は466名です（この研修は会員だけではなく、県内に勤務するすべての薬剤師が参加可能なため会員以外の修了者も掲載されています）。また、この修了者名簿は地域包括支援センターなどに配布されます。

「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」をつくるには、多職種連携・地域包括ケアシステムの中で積極的に関わりを持てる、また認知症の人とその家族からいつでも気軽に相談のできる薬剤師(薬局)が必要とされています。安全な薬物治療を提供するだけではなく、「気づき」や「つなぎ」

のできる地域の医療を担う専門職の一員として活動できる薬剤師が増えていくことで、認知症だけでなく県民みなさんが安心して生活できるようになると思います。

厚労省のサイトにある介護・高齢者福祉の中にある「認知症施策」について詳細な記載がありますので是非ご参照ください。

「厚労省 認知症施策」で検索。または下記URL・QRコードよりご覧ください。



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index.html

お知らせ

Facebookをご覧ください！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

保健・福祉

なごみ会主催 第11回県民健康フェア2024

日時：令和6年11月17日（日）12:00～16:00

会場：沖縄コンベンションセンター 展示場

＜健康とおくすり相談ブース＞

令和6年11月17日（日）、沖縄コンベンションセンターにて開催された、第11回県民健康フェアに参加させていただきました。主な流れは、血圧測定、体組成測定、骨密度測定、動脈硬化測定を実施し、その結果を薬剤師と確認しながら、説明・相談を受けるというものでした。

参加者はご年配の方が多くを占めていましたが、20代～30代の若い方も参加されていたのが印象的でした。

団塊世代全員が75歳以上となる2025年問題をはじめ、医療業界全体として大きな転換期を迎えようとしています。「医療崩壊」という言葉が、新型コロナウイルス蔓延により耳にすることがありましたが、今後は緩やかにその道を辿っていくことになるかもしれません。

このイベントを通して、そのような世の中で、我々薬剤師が医療の一助になれることは何なのかということを考えさせられました。

近年、「未病」という言葉が広まりつつあります。日本未病学会では「自覚症状はないが検査では異常がある状態」と「自覚症状はあるが検査では異常がない状態」としています。

「未病」を治す、つまり心身ともに健康な状態を維持することが、超高齢化社会の日本において医療を維持するのに必要な概念だと考えます。

このイベントでは、この「未病」の方と薬剤師が関わることができる非常に貴重な機会でした。こういった催しに参加する方は、「未病」の状態にあり、自身の健康を心配されている方が多いと思われます。私たち薬剤師は薬局や病院の外に出て、こういった方たちの



相談窓口として国民の健康に寄与できるのではないかと強く感じました。

薬剤師という仕事はどうしても、既に治療を受けている方への対応が多くを占めてしまいます。この医療業界の大きな転換期、私たち薬剤師もこういったイベントに積極的に参加することで、日々の業務で培ったマルチな知識を以て地域の健康づくりへ貢献できると確信しています。

最後に、個人的な感想にはなりますが、このイベントを通して私は、薬剤師としての楽しさのようなものを再確認することが出来ました。調剤報酬改定による経営悪化、対人・在宅などによる業務ひっ迫等日常業務だけで手いっぱいになることが多いですが、この仕事の「楽しさ」を思い出せた素晴らしい機会となり、感謝しています。



<こども調剤体験ブース>

今回初めて地域活動に参加させていただきました。来場者に健康チェック（血圧測定・骨密度測定・動脈硬化度測定・体成分分析）を行い、お薬相談など行っていくブースとこども向け調剤体験・実験コーナーがあり、私は調剤体験コーナーの方をほか3人の薬剤師とともに受け持ちました。

こども向け調剤体験コーナーでは、まず薬剤師になりきってもらうために白衣を着用してもらい、M&Mのチョコレートをお薬とみたくて、3色に分け朝昼夕の一包化を作ってもらいました。そこでは一包化をするメリットとしてコンプライアンスの向上、飲み間違いの防止、保存・管理の簡便さなどがあることを知ってもらいました。保護者から薬局内で聞こえる音はこの音だったのか！と知ってもらういい機会にもなりました。こどもたちも楽しく体験して家族写真を撮影したりと素敵な時間になったのではないかと感じます。

また、実験コーナーでは2つ体験していただきました。1つ目はインクレミンシロップ（鉄剤）とお茶のタンニンが結合し、黒色に変化する反応を見て相互作用により鉄の吸収が悪くなること、2つ目はカプセルと水を使用し、少量の水ではカプセルが粘膜へ付着してしまうため、服用する際には多めの水で服用することが大事と実際に体験して学んでいただきました。こどもたちだけでなく保護者の方も関心をもっていただき驚いた反応がとても印象に残っています。

実際にこどもたちに体験してもらい、私たち薬剤師の仕事がどういった内容なのか保護者も含め知ってもらういい機会になり、服薬指導がいかに大切かも再認識することができました。白衣を着用し興味津々な様子で体験を行い、来場者の驚きと興奮を目の当たりにするとあっという間に時間が過ぎていきました。体験が終わると、こどもたちの中には「薬剤師になりたい」と言う子もおり、将来の職業の1つとして認識していただいたのではな



すこやか薬局 宇地泊店
東恩納 美月

いかと感じ嬉しく思います。この経験が薬や薬局の仕事に対する理解を深めるいい機会になったのではないかと感じ、健康フェアに参加してよかったと思いました。



◆薬剤師会ブース 相談員（敬称略・順不同）

- | | |
|----------|----------|
| ○伊 集 智 英 | ○我喜屋 智香子 |
| ○喜友名 朝 史 | ○草 壁 瑞 恵 |
| ○島 袋 さゆり | ○城 間 史 子 |
| ○高 田 禎 子 | ○高 橋 優 斗 |
| ○長谷川 幸 司 | ○林 伸 嘉 |
| ○東恩納 美 月 | ○福 地 健 治 |
| ○藤 田 由 | ○普天間 公 子 |
| ○外 間 安 次 | ○又 吉 智賀子 |
| ○村 田 美智子 | |

保健・福祉

転載記事

なごみ会主催県民健康フェアに係る会員の投稿

琉球新報 2024年8月28日

2020年に発表された都道府県別平均寿命で、沖縄の平均寿命は男性が80・73歳で前回の36位から43位に、女性が87・88歳で7位から16位に後退しました。この原因は働き盛り世代といわれる35〜65歳未満の死亡率の高さにあり、この世代の定期健康診断での有所見率は全国最下位との調査結果が出ています。

有所見とは健康診断の結果、何らかの異常が見られたことをいう。健診項目別有所見率の上位は血中脂質、血圧、肝機能、血糖の順となっている。これは欧米型の高カロリー食の普及や自動車生活の浸透による運動不足がもたらす肥満に関連がある。20歳以上の肥満率は男性41・6%、女性24・8%で、いずれも全国平均を上回っ



松本 圭五

論壇

ている。肥満は糖尿病や高血圧を引き起こし、慢性腎臓病などの合併症、それに伴う透析患者数の増加につながっている。さらに、沖縄では飲酒量が全国平均を上回っており「飲みニケーション」と呼ばれる沖縄独特の文化も過度の飲酒を助長し、肝疾患の増加につながっている。

健康寿命の地域格差の縮小を目指し、「健康おきなわ21（第3次）」を策定し推進している。特に「肥満の改善」「働き盛り世代の健康づくり」「市町村等との連携強化」を重点的に取り組んでいる。

薬剤師会では各地域の薬剤師会と連携し「健康とおくすり

健康長寿のかぎ握る働き盛り世代

意識高めること重要だ

県民の健康寿命を延ばすためには特に働き盛り世代に対して、特定健診の受診率向上、禁煙、過度の飲酒を避けること、食生活の改善、適度な運動などが重要である。

県は40年までに平均寿命と健康寿命の延伸、早世の予防、健康

薬剤師は普段、お薬を通して患者様の病氣治療と健康向上に努めているが、相談会などを通じて地域の皆さんが病氣にならないうよう、食生活の改善や運動指導なども行っている。

9月15日（日）には県内の医療関連団体17団体からなる県医療保健連合（なごみ会）が「第11回県民健康フェア2024」を官野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催する。各団体がブースを設け、健康チェックや相談、体力測定、食生活チェック、鍼灸治療体験、口腔ケアなど健康に関わるイベントを実施する。薬剤師会のブースでは「健康とおくすり相談会」のほか、子ども向けの調剤体験も行う。普段の健康状態を確認する機会として、ぜひご家族そろってご参加ください。（豊見城市、県薬剤師会会員、52歳）

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

卸薬部会

令和6年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会

日時：令和6年12月19日（木）13：30～16：30

会場：TKP 東京駅カンファレンスセンター及び Web

<次第>

	司会：卸薬剤師部会幹事	朝 枝 一 枝
主催者挨拶	日本薬剤師会 副会長	森 昌 平
講演1「医薬品供給状況と卸への期待について」	厚生労働省 医政局医薬産業振興・医療情報企画課長	水 谷 忠 由
講演2「これからの薬剤師・薬局」	日本薬剤師会会長	岩 月 進
講演3「薬事を巡る最近の動向について」	参議院議員 本田顕子秘書	関 野 秀 人

令和6年12月19日に東京で開催された研修会にWEB参加しましたので、ご報告致します。

日本薬剤師会の森副会長は冒頭の挨拶で、令和6年1月1日に発生した能登地震での被災地に医薬品を届ける『医薬品卸の活躍』について述べられました。

特に、1月4日に現地の医療体制を確立させるための会議で、当時の厚生労働大臣武見先生が、医薬品卸がないことを指摘し、医療体制の確立に卸が欠かせないので参加するよう指示があったとの話を聞くことが出来ました。

【講演1】「医薬品供給状況と卸への期待について」

1.流通改善ガイドラインの改訂について

主な改定の内容

- ①基礎的医薬品、安定確保医薬品、不採算品再算定品、血液製剤、麻薬、覚醒剤及び覚醒剤原料については、価格交渉の段階から別枠とし、単品単価交渉とすること。新薬創出等加算品等も引き続き単品単価交渉。
- ②取引条件を考慮せずに、一方的な値引き交渉や取引条件等を考慮しない同一の納入単価での取引を各卸業者に求める交渉



沖繩東邦株式会社
鈴鹿 玲子

などは厳に慎むこと。

- ③価格交渉の代行業者にも流通ガイドラインを遵守させること
- ④当年度内は妥結価格の変更を原則行わないこと
- ⑤特に返品を慎む事例を追記
- ⑥一社流通を行うメーカーは、自ら又は卸業者と協力しその理由について、丁寧に情報提供を行うこと。医薬品の安定供給を行うこと。

2.適切な医薬品流通に向けた

取り組みについて

- ・単品単価交渉について単品単価交渉と「解釈できない場合」と「解釈できるか検討が必要な場合」について・妥結率に係る報告書は流通改善ガイドラインが卸だけでなく、医療機関や薬局双方の理解を深め、共通認識の形成につながるように変更された。

次頁へつづく⇒

3.安定供給確保に係る

マネジメントシステムの構築について

- ・令和6年10月の報告では、限定出荷・供給停止が19%。要因としては「他社品の影響」によるものが最多であった。

★医療用医薬品の安定供給体制の確保にむけての取り組み（案）

(1) 医療用医薬品の製造販売業者における安定供給確保に向けた体制整備

- ・安定供給の確保のため製薬企業に対し手順書等の整備や一定の在庫や生産管理等（安定供給確保措置）を法令上の遵守事項とする。
- ・安定供給の確保措置の遵守を徹底するとともに、安定供給責任者の設置を義務とする。

(2) 供給不安の迅速な把握/報告徴収/協力要請

- ・供給不安報告・供給状況報告を法令に位置づける。
- ・供給不安報告・供給状況報告等を受けた厚生労働省は、製薬企業や卸などにその報告徴収を求め、製薬企業・卸・医療機関・薬局等に協力要請を行うが、こうした対応も法令に位置付ける。

(3) 安定確保医薬品の供給確保策

- ・安定確保医薬品を法令に位置付ける。
- ・安定確保医薬品について供給不足の恐れがある場合、法令上、感染症対策物資と同様に、生産促進などの要請や報告要請を行えるようにする。また、サプライチェーン強靱化の観点から必要な要請を行えることとする。

(4) 需給データを活用したモニタリングの実施

- ・電子処方箋システムや平時からのモニタリングデータを活用し、供給不安の兆候や市場全体の供給状況を把握する取り組みの検証・実施。

★後発医薬品の安定供給等を実現する産業構造改革少量多品目生産の非効率的な生

産体制の解消に向けて計画的に生産向上に取り組む企業に対する支援を行う。企業間の連携・協力・再編を強力に後押しするために国が企業の取り組みを認定する枠組みを設けることや、薬事・薬価面での対応も検討する。足元の供給不安については、必要な医薬品の増産体制を整える企業に緊急支援を行う。

流通改善ガイドラインは、医薬品卸だけではなく医療機関や薬局などにも周知し、理解していただく必要があることを改めて感じました。また、医薬品の安定供給に対する国の対策が迅速に実施され、効果的であればいいのと思いました。

【講演2】「これからの薬剤師・薬局」

★令和6年度の調剤報酬改定を含め過去6回にわたる改定の概要を踏まえ、薬局や薬剤師に求められてきた業務についてのお話がありました。

その中で、令和6年度分についての内容は、

1. 地域の医薬品供給拠点としての役割を發揮するための体制評価の見直し薬局の持つ機能を地域へ明示化○48薬効のOTC医薬品の販売（在庫の見える化）

→医薬品を身近なところで購入できるメリット。

○感染症協定締結薬局の意味

○災害時の薬局の役割の見える化

↓

地域の住民や関連職への薬局・薬剤師の持つ機能をプレゼンテーションする。

点数を取るためだけでなく、地域に見せていく、知らせていくことが重要！

2. 医療従事者の賃上げ

3. 調剤基本料などの体制評価

→一定の機能を有する薬局への体制評価

4. 質の高い在宅業務の推進（質の高いと書かれていることをよく考えないといけない）

5. かかりつけ機能を発揮して患者に最適な薬学的管理を行うための薬局・薬剤師業務の評価の見直し

★これからの薬局・薬剤師

2025年度以降、後期高齢者の増加は穏やかとなるが、85歳以上の人口は2040年に向けて引き続き増加が見込まれており、医療と介護の複合ニーズを持つものが一層多くなることが見込まれる。

→ 社会保障費用の増大（国は賄いきれるのか？）保健医療の体制も変わってくる可能性もある。

○セルフケア・セルフメディケーションの推進に向けて

- ・ 薬剤師の免許を生かす場面の拡大
- ・ セルフケア環境下でのより具体的なプロデュース

患者の症状を時系列で把握する（どういった経過で今の状態になっているのかを確認する事）が重要になってくる。

- ・ 自立した各薬剤師の取り組み
- 法令遵守は当たり前
- ・ 販売した者（薬剤師・登録販売者）だけでなく、管理者や経営者にも販売した責任を持つ自覚が必要。
- ・ 新たなOTC医薬品の展開（状態の安定した軽度高血圧症・糖尿病患者対象）
- 医薬品販売における医師との連携

【講演3】「薬事を巡る最近の動向について」

本田 顕子 参議院議員が国会対応でご多忙との事で秘書の方が代理で登壇されました。

医薬品卸にご所属経験もある本田議員という事で、GDPガイドラインにも挙がっている返品問題などの制度改正も今後議論されていくとの事でした。

現在大きな問題となっている医薬品供給不足の複合的要因の解消に取り組んでいくとの事も話されていました。→ 中間年薬価改定の廃止を要望。

また、地域医療に関する第8次医療計画などに関する内容を話された際に、都道府県の薬務主管課と医療政策課が連携して取り組むことが必要と話されました。縦割りで連携がされにくい事が多々あるが、地域の医療を考えた時に連携が無いとひずみが出てくるとの事でした。

卸勤務薬剤師部会の研修会とあって、身近な内容だが日頃の卸薬剤師の業務の中で掘り下げられないでいた内容を学ぶことが出来、非常に有意義な研修会でした。

安定供給の問題はまだしばらく続きそうですが、解消に向けて進んでいると信じて引き続き業務に取り組みたいと思います。

また、卸の厳しい立場を理解してくださる薬剤師議員の重要性についても再認識が出来る機会となりました。

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

地区だより

北部地区薬剤師会の取り組みが紹介されました

2025年1月16日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2766号



卸の営業所なし、地域薬が「急配」

沖縄北部の備蓄センター、1600品目そろえ職員が対応

沖縄県の北部地区薬剤師会は、医薬品提供体制の確保に向け「医薬品備蓄センター」を運営している。医薬品卸の営業所がない地域であることも踏まえ、センターで約1600品目を備蓄し、会員の依頼に応じて月100件以上、薬剤師会職員が必要最小量を「急配」。センターに取り扱がない場合は、職員が在庫のある店舗を探して買い取り、届けている。浅沼健一会長は、一人薬剤師の薬局が多い上に「離島住民は船移動のため『明日まで待つ』ことができない」と説明。地域事情を踏まえた取り組みだと述べた。

同地区は1市1町7村で構成。会員薬局33薬局のうち約8割(27薬局)が名護市にあり、伊是名村と伊平屋村、東村の3村が無薬局地域だ。また、一人薬剤師の薬局は全体の約4割、13薬局に上り、会員の高齢化の進展・後継者不足などの問題を抱える。

備蓄センターは、中核病院である県立北部病院が全科で院外処方箋の発行を始めた2002年に設立。同センターは、北部地区医師会病院前にある薬剤師会館と会営薬局が入る建物にあり、北部病院と医師会病院の採用薬を中心に1600品目をそろえる。

●職員3人と車両3台で対応、店舗間融通にも一役

同センターの役割は、いわゆる「二次卸」ではない。患者から処方箋を応需した医薬品の在庫がない場合に、必要最小限を即時に届ける取り組みだ。配送は薬剤師会事務局の職員3人が車両3台で対応。一人薬剤師でも薬局を離れずに取り寄せられることが評判を呼び、利用件数は年々増加傾向にある。22年度は年間1389件、23年度は年間1613件だった。多い日には10件以上の依頼が来るという。利用は1回300円だ。

ここでは店舗間融通の橋渡しの機能も担う。同会が導入するシステムは、各薬局の薬剤ごとの調剤量(調剤日・調剤回数・推定患者数)のデータを管理し、「在庫のある可能性」の検索が可能だ。センターにない医薬品について依頼があった場合、職員はシステムで薬剤名を検索し、在庫可能性が高く、センターから距離が近い薬局から電話で順次確認。在庫のある薬局に出向いていったん薬剤師会で購入し、その後依頼を受けた薬局まで配送している。

同センターは厳格な温度管理を行う遠隔自動管理サービスを導入し、ここで高額薬剤も扱う。このサービスは不用品や未使用品の在庫を卸側が入れ替えてくれるため、廃棄リスクや会員薬局で必要以上の在庫を持つリスクが減る。また停電など異常が発生した場合は随時連絡が来るため、台風の影響を受けやすいこの地域では大きな安心感につながっているという。

浅沼氏は備蓄センターの運営について「赤字にしかない」と明かすが「弱者救済の事業」とも述べ、小規模の薬局がかかりつけ機能を果たすために必要な取り組みだと強調。地域には沖縄の方言で助け合いを意味する「ゆいまーる」の精神が根付き、このような取り組みに発展していると「地域の薬局同士はライバルではなく、助け合って医薬品提供体制を支えていくチーム」だと述べた。(小泉 壮登)

[許諾番号20250116_01]

※株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

2025年1月21日火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2769号



地域の課題解決にフォーミュラリ

沖縄北部、流通難・基幹病院の薬選定にも期待

沖縄県北部地域で昨年12月から、地域フォーミュラリの運用が始まった。地域に医薬品卸の営業所がないことや、医療機関で使用医薬品に差があるという地域課題の解決策として地元薬剤師会が着目。2028年に中核病院の統合で誕生する新病院の採用薬の検討材料にもなり得るとの期待も高まり、三師会が協力して取り組みが加速した。スタチン系脂質異常症治療薬、歯科鎮痛薬、インフルエンザ治療薬の3領域でスタートし、年度内にさらに3領域の追加を目指す。

北部地区の医療圏は名護市と1町7村で構成され、沖縄本島の面積の半分を占める。会員薬局の約8割は名護市に集中し、3村が無薬局地域。県内6地区のうち北部地区のみ以前から卸の営業所が存在せず、長年医薬品流通の問題に苦慮してきた。北部地区薬剤師会で備蓄センターを運営するなど円滑な提供体制の構築に努めているが限界もある。医療機関ごとに使用医薬品に差があり、薬局の在庫品目が多くなることも課題だった。

地区薬の浅沼健一会長は、22年の日本薬剤師会学術大会で地域フォーミュラリの存在を知り、地域の課題解決に適すると判断。関係者に導入意義を説明したところ、入院時に医療機関側の都合で薬が変わることは患者にとって望ましくないとの声があり、導入におおむね賛同を得られた。特に統合する県立北部病院と北部地区医師会病院の関係者からは、両病院の採用薬に差があることから、地域が一丸となって作成したフォーミュラリが存在すれば、新病院の採用薬の選定の参考にもなると歓迎されたという。

●検討委発足3カ月でスタート、三師会の連携が推進力に

24年9月に三師会の正副会長と、県立北部病院と北部地区医師会病院の院長・薬局長などで構成する「やんばる地域フォーミュラリ委員会」が発足。薬剤師会中心の作業部会で案を作成し委員会で承認する流れを構築し、12月には早くも第1弾の導入がスタート。浅沼氏は、地域の三師会の連携が元々強固な地域だったことから合意形成がスムーズに進み、スピード感をもって導入できたと振り返る。

スタチンのフォーミュラリは会員薬局から半年間の使用数量データの提供を受けて検討し、使用が多かったアトルバスタチンカルシウム水和物と、日本フォーミュラリ学会の「モデルフォーミュラリ」にあるロスバスタチンカルシウムの2つを推奨とした。インフルエンザ治療薬では、使用実績の多いオセルタミビルリン酸塩を推奨に位置付けた。

●患者にもフォーミュラリ周知、お薬手帳にPR文貼付

浅沼氏は、導入後も現場の混乱はないとし、年度内に新たに3領域を追加する考えを示した。歯科抗菌薬やPPIなどを検討の俎上に載せる見通し。薬剤師会ではお薬手帳に貼る案内ツールを作成するなど、患者への周知にも力を入れる。

沖縄県薬理事でもある浅沼氏は、県内で同様の課題を抱えている地域は他にもあると指摘。今後の展望として、まずは北部地域での取り組みを軌道に乗せた上で、県内他地域への波及を見据えた。(小泉 壮登)

[許諾番号20250121_01]

※株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

地区だより

第197回健康とおくすり相談会

月例相談会

日時：令和6年11月10日（日）10:00～15:00

場所：沖縄セルラースタジアム軒下

担当：那覇地区薬剤師会

すこやか薬局 おもろまち店
長田 ゆかり



11月10日、沖縄セルラースタジアムの軒下（屋外）で「健康とおくすり相談会」に参加させていただきました。当日は低気圧の影響で湿度気温共に高く、ひやみかちなはウォーク2024の開催で、皆様が数キロ～数十キロ歩かれた後の清々しい汗をかいた状態でお越しになりました。

骨密度測定器と血圧測定器を使用し、その結果をもとに相談させて頂く形式で、待ち時間が数十分発生するくらい盛況でした。今までショッピングセンターでの相談に参加させて頂いた時より、比較的若い方が多く、グループ皆様に検査値を見せ合ったり、ご夫婦で語り合ったりと終始にぎやかで明るい雰囲気でした。運動習慣のある方が多いので、骨密度、血圧 心拍共に正常値を示す方の割合が高く、改めて運動の効果を実感、『健脚揃い、健康意識高い、明るい！よく笑う！食事制限は緩く、適量を摂るように心がけておられるし、サプリメントに頼ったり過度に薬を悪者にする感覚は持っておられない』心身共に健康な方が多かったです。かけるお言葉も「このままの生活習慣を続けてくださいね～」「素晴らしいですね、このまま続けましょうね～」が頻発しておりました。

アドバイスとしては、食生活について、

- ①減塩の勧めとして→出汁や酢の物を取り入れること。
- ②1週間で食事のバランスをとる。ストイックになりすぎない。
- ③寝る2時間以上前に食事を終える、どうしても夕食が遅い場合は捕食として健康補助食品、ナッツ類などを利用し、夕食は軽くする。
- ④野菜や海藻、キノコ類を先に摂ってその後にタンパク質+脂質、糖質を最後に摂ること。
- ⑤沖縄の調味料はミネラルが多く最高なので、地元のお塩、お砂糖（黒糖など）を使いましょう！

少し骨密度が低下した方（YAM80%付近）の方には、

- ①干しシイタケなどのビタミンD、乳製品などでカルシウムを積極的にとること。
- ②手のひらだけでも1日10分程度は日光を当てる。
- ③今回測定したのは、踵骨の超音波法で簡易法のため多少正確性に欠ける、なるべくDXA法で測定してもらうように、近日中の整形外科受診をお勧めしました。

今回の参加で一番勉強になったのは、未病への薬剤師の積極的な介入、特に運動の大切



さです。

ウェアに着替えてジムに行くと、と大掛かりにしなくてよいので、歩くことやなるべく家事や生活習慣で動く、スクワットや腹式呼吸、腕の上げ下げやかかとの上げ下げなど、できる範囲で動き続けることで身体が活性化→それによって気持ちが前向きになる→笑顔で過ごす時間が増えることです。そうすれば、人類の長い歴史で研ぎ澄まされてきた長寿スイッチがONになり、DNAの翻訳が切り替わって健康寿命が延長すると実感しました。その取り組みが、国の医療費を削減し、健康で一生を全うできる方を増やすことに繋がるはず

です。

薬剤師の地域住民の方々への声掛けで、もう一度健康長寿の沖縄県を創っていきましょう！！神戸出身でまだ移住1年半の長田ゆかりも尽力いたします！

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて頂き本当にありがとうございました。

◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 吉田 洋史 ○吉田 安樹 ○長田 ゆかり、
- 桃原 泰誠 ○外間 安次 ○大塚 成一郎、
- 仲里 すが子

相談員：7名 相談者数：121名

ぶれいく
たいむ



会員の投稿が掲載されました

転載記事



祖母の財布

大城尚美(55)

ある日、実家の引き出しから5年前に亡くなった祖母の財布を見つけた。中には古い新聞と写真が入っていた。

それは父の姉が総合病院の副院長に就任した時の記事だった。「勉強は必要ない、働きなさい」と言われていた伯母は、祖母に隠れて勉強していたと聞いている。立派になつたわが娘の記事、さぞかしうれしかったのであろう。

写真は父の若い頃の証明写真だった。「父ちゃんが入れたはずよ」と母。自宅で祖母を介護した母の負担は、かなりのものであったと想像する。これでは母も倒れてしまうと察した父は苦渋の決断。祖母の施設入所の際、忘れないでいてほしい……と、そっと忍ばせておいたのである。その時の父の心情を思うと

熱いものが込み上げてくる。20代で夫を亡くした女性となつた祖母は、2人の子を育てるため強くならざるを得なかつた。脇目も振らず、ひたすら豆腐作りで生計を立てた。厳しい祖母の下、5人の子どもを育ててきた母の苦勞も計り知れない。

その一方で、孫の行事ごとに母を快く送り出す優しい祖母でもあつたらしい。グレープフルーツの果肉の薄皮を、つまようじできれいにむいて差し出してくる。優しい祖母の笑顔が今でも鮮明に思い出せる。

ばあちゃん100歳超えてもみんなのこと忘れないでいてくれてありがとう。また大好きだった芋天ぷらとコーラお供えするね。

(豊見城市、薬剤師)

2024・12・31 沖縄タイムス

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➤ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

➤ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

➤ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➤ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの「かかりつけ薬局」をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

薬事情報おきなわ No.283

●後発医薬品 令和6年12月6日付

薬価収載されたのは後発品23成分71品目。初の後発品収載は、抗血栓薬の「リバーロキサバン」（先発品名：イグザレルト）など9成分12規格41品目。収載状況の内訳は、内用薬11成分17規格44品目、注射薬8成分16規格17品目、外用薬が4成分5規格10品目であった。



Medical News

●D&Sの機能強化通じ市販薬OD防止対策などへの寄与に意欲（薬局新聞12月25日）

日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）は、今後の事業計画を発表するとともに、直近の課題である医薬品販売制度見直しへの対応における方針を示した。濫用リスク薬の販売に関しては、DgS店頭でODに悩む人や家族に効果的な声かけが行える状況を導ければ、相談を促したり公的機関に繋げる対策が図れるとし、空箱陳列などの販売規制ではなく専門家の関与強化による濫用防止策を求める業界の立場を改めて説明した。

●敷地内薬局の機能発揮めぐる厚労省調査報告に疑念噴出（薬局新聞12月25日）

厚生労働省は第11回薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会で、今後の地域における薬局のあり方に関して敷地内薬局も絡めた検討を進める方針を示した。会合では厚労省が実施した実態調査の結果が報告されたが、機能面に主眼を置いた説明内容に多くの委員が疑念を寄せ、利益供与を疑われかねない医療機関の公募内容や高額な不動産取引などが改めて問題視された。

●薬剤師のカスハラ経験7割-医薬品流通問題で求職も～都薬調査（薬事日報1月15日）

業務中にカスタマーハラスメントを受けた経験がある薬局薬剤師が約7割に上ることが、東京都薬剤師会が昨年11月に実施したアンケート調査で明らかになった。「過去のハラスメント経験が現在も業務に影響を残している」と回答したのは約3割。都薬は今後、ハラスメントの相談窓口の設置やハラスメント防止を啓発するポスターの薬局内掲示などを検討する。薬剤師489人から回答を得た中で、カスハラを受けたことが「ある」は69.1%だった。「直接受けた経験はないが見たことはある」は7.2%、「ない」は23.7%となった。

●「零售規制通知は違憲」薬局3社が国相手に提訴（薬事日報1月20日）

処方箋なしで販売できる医療用医薬品（非処方箋医薬品）の販売を行う零售薬局3社は17日、厚生労働省の通知が法的根拠なく零售を規制していることが違憲・違法として、国を被告とする民事訴訟を東京地方裁判所に提起した。通知の存在により、医薬品卸大手4社との取引制限につながり仕入値が増加し、広告規制によって利益確保機会の逸失に陥ったとして国家賠償法に基づく損害賠償請求も行う。厚労省は「同日時点で訴状は受け取っていない」とコメントした。

●厚労省、約1110万人分を確保-抗インフル薬の供給（薬事日報1月22日）

厚生労働省は、直近1カ月間の抗インフルエンザウイルス薬の供給状況を公表した。昨年12月16日から今年12日における通常流通用の抗インフル薬の供給状況などを示したもので、現在メーカーと医薬品卸売業者で約1110万人分を保有している。卸から医療機関・薬局への供給量は、計1072万8000人分となった。内訳はゾフルーザ305万人分、オセルタミビル「サワイ」272万2000人分、イナビル259万8000人分、タミフル152万4000人分、オセルタミビル錠「トーワ」47万1000人分、リレンザ22万7000人分、ラピアクタ13万6000人分だった。

●厚労省、全薬局で電子処方箋導入-今夏メド、目標見直しも（薬事日報1月24日）

厚生労働省は22日、今夏をメドに概ね全ての薬局で電子処方箋が導入される見通しを示した。3月までに8割弱の薬局が導入見込みとした一方、医療機関に関しては1割弱にとどまるため、未導入施設へのフォローアップや公的病院への導入再要請などの取り組みを行った上で、今夏をメドに電子処方箋導入に関する目標の見直しを行うこととした。電子処方箋を運用している医療機関・薬局等は、12日時点で計4万7681施設となり、このうち薬局は3万8188施設と全体の8割を占める。

●薬局における現場認識で医薬品流通状況「依然不安定」9割（薬局新聞1月29日）

日本保険薬局協会（NPhA）が先ごろ定例記者会見で公表した医薬品流通に係る業務実態調査において、2020年12月に発覚した小林化工の不祥事以降、医薬品の流通状況が「とても不安定」「やや不安定」が91.4%を占め、依然として供給不安定な状況が続いていることを裏付けるとともに、限定的な医薬品流通への負担を強いられる状況が示された。

●患者ガイド「小学5年生でも理解可能に」PMDA検討会で要望（日刊薬業1月31日）

添付文書を基に各製薬企業が作成する「患者向医薬品ガイド」の在り方を議論する医薬品医療機器総合機構（PMDA）の第2回検討会が30日に開かれた。現行ガイドに対してこれまで寄せられた要望を踏まえ、情報提供資料としての位置付けを議論。委員からは、「リテラシーは子どもから入っていかないとなかなか醸成されない」として、小学5年生でも理解できる内容にするべきだとの意見があった。

●[24年度登録販売者試験] 合格率46.7% -受験者数は2500人増（日刊薬業1月31日）

各都道府県などが公表した数値をもとに薬事日報社が集計した。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2024年
No.12
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

副作用の発現



事例

【事例の詳細】

患者は医療機関Aを受診して带状疱疹と診断され、バラシクロビルが処方された。薬局の薬剤師が患者のお薬手帳を確認したところ、医療機関Bからオルミエント錠4mgが処方され、服用していることがわかった。オルミエント錠の添付文書には、ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化（带状疱疹等）が報告されていること、症状の発現が認められた場合には、患者に受診するよう説明し、本剤の投与を中断し速やかに適切な処置を行うことが記載されている。オルミエント錠4mgを処方した医療機関Bの医師に連絡し、患者に医療機関Aからバラシクロビルが処方されたことを伝えたと、バラシクロビルの服用が終わるまで、オルミエント錠4mgの服用を中止することになった。

【推定される要因】

患者は、オルミエント錠の服用により、带状疱疹を発症する可能性があること、症状が認められた際は服用を中止することなどについて理解していなかった。オルミエント錠を処方した医師や調剤した薬剤師から説明を受けていなかった可能性がある。

【薬局での取り組み】

带状疱疹の治療薬が処方された際は、併用薬を確認し、患者が治療を受けている全ての疾患・病態について確認する。



その他の情報

オルミエント錠4mg/2mg/1mgの添付文書 2024年8月改訂（第10版）（一部抜粋）

8.重要な基本的注意（効能共通）

8.4 ヘルペスウイルスを含むウイルスの再活性化（带状疱疹等）が報告されている。また、日本人関節リウマチ患者で認められた重篤な感染症のうち多くが重篤な带状疱疹であったこと、播種性带状疱疹も認められていることから、ヘルペスウイルス等の再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。徴候や症状の発現が認められた場合には、患者に受診するよう説明し、本剤の投与を中断し速やかに適切な処置を行うこと。また、ヘルペスウイルス以外のウイルスの再活性化にも注意すること。



事例のポイント

●带状疱疹と診断されバラシクロビルが処方された患者のお薬手帳を確認した際、他の医療機関からオルミエント錠4mgが処方されていることを発見した薬剤師が、オルミエント錠によるヘルペスウイルスの再活性化の可能性を疑い、オルミエント錠4mgを処方している医師に情報提供を行った事例である。

●オルミエント錠は、免疫反応に関与するヤヌスキナーゼ（JAK）を阻害するため、感染症に対する宿主免疫能に影響を及ぼす可能性がある。オルミエント錠の医薬品リスク管理計画書（RMP）の患者向け資料[※]には、「服用中に注意が必要な症状」として、咳、発熱、のどの痛み、寒気、痛みを伴う発疹（带状疱疹）などが挙げられている。

※オルミエント錠の医薬品リスク管理計画書（RMP）の患者向け資料「オルミエントを服用されている方へ」（参照2024年11月20日）

●オルミエント錠のように服用により重篤な副作用が発現する可能性がある薬剤を交付する際は、製薬企業が作成している患者向け資料などを活用し、患者に副作用の症状などを具体的に説明したうえで、症状が現れた時は速やかに医師や薬剤師に相談するよう伝えておくことが重要である。さらに、交付後の患者フォローアップは、副作用の早期発見と早期対応を可能にし、重篤化の回避につながるため、積極的に取り組む必要がある。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2024年
No.12
事例3

一般用医薬品等

不適切な使用の回避



事例

【事例の詳細】

パーキンソン病の患者が、鼻閉の症状が出現したため、介護者に一般用医薬品の購入を依頼した。介護者は、鼻づまりに効果があると外箱に記載されているナシビンMスプレーを購入したが、使用に問題がないか気になり、パーキンソン病治療薬の調剤で利用している当薬局に相談した。薬剤師がナシビンMスプレーの添付文書を確認したところ、モノアミン酸化酵素阻害剤等を服用している人には使用しないでくださいと記載があった。患者はエフビー OD錠2.5を服用しているため、ナシビンMスプレーは使用しないよう介護者に説明し、購入した薬局に返品するよう伝えた。さらに、薬剤師が主治医に症状を伝えて往診を依頼した結果、ナゾネックス点鼻液50 μ g56噴霧用が処方された。

【背景・要因】

患者にエフビー OD錠2.5を交付した薬剤師は、一般用医薬品を購入する前に薬剤師に相談するよう伝えていなかった。患者は、以前にも一般用医薬品の点鼻薬を使用したことがあり、問題なく使用できると考えていた。介護者は、外箱に記載された効能・効果だけを見て薬剤を購入した。

【薬局から報告された改善策】

本事例の患者や介護者には、一般用医薬品を購入する前に主治医や薬剤師に相談するよう説明した。エフビー OD錠2.5は併用禁忌の薬剤が多いため、一般用医薬品を含め、併用に注意する必要がある薬剤をスタッフ間で共有した。



その他の情報

ナシビンMスプレー（第2類医薬品）の添付文書 2015年4月改訂（一部抜粋）

使用上の注意

■してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1.次の方は使用しないでください

(2)モノアミン酸化酵素阻害剤等を服用している人。

※モノアミン酸化酵素阻害作用等を有する医薬品は以下のようなものがあり、いずれもパーキンソン病の治療に用いられます。また、ゾニサミドはてんかんの治療にも用いられます。

●セレギリン塩酸塩 ●ゾニサミド ●エンタカポン



事例のポイント

- 第2類医薬品を販売する際、薬剤師または登録販売者により情報提供を行うことは努力義務とされているが、購入者は薬剤師や登録販売者に相談せずに第2類医薬品を購入することがある。
- 第2類医薬品であるナシビンMスプレーの添付文書には、「モノアミン酸化酵素阻害剤等を服用している人」は使用してはいけないことが記載されており、モノアミン酸化酵素阻害作用等を有する薬剤の成分名が示されているが、購入者は、服用している医療用医薬品名と照らし合わせて判断することが難しい場合がある。薬剤師や登録販売者は、ナシビンMスプレーの購入者に積極的に関わり、必要な情報を伝え、使用が適切であるかを確認することが重要である。
- パーキンソン病治療薬で選択的モノアミン酸化酵素B(MAO-B)阻害薬であるセレギリン塩酸塩(エフビー OD錠2.5など)は、併用禁忌の薬剤が多く、一般用医薬品にも該当する薬剤がある。薬剤師は、セレギリン塩酸塩を服用している患者、家族および介護者に、一般用医薬品を含む他の薬剤を服用・使用する際は薬剤師に相談するようあらかじめ説明しておき、定期的に併用薬を確認することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqahc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検察」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.1
事例3

一般用医薬品等

受診勧奨



事例

【事例の詳細】

40歳の女性が来局し、ドルマイシン軟膏（第2類医薬品）の購入を希望した。薬剤師が症状を確認したところ、足に靴擦れができていたとのことだった。本人の許可を得て患部を確認すると、両足の靴擦れは潰瘍となっていた。薬剤師は、女性から糖尿病の治療中であることを聴取したため、糖尿病性足病変を疑い、糖尿病患者におけるフットケアの重要性を説明し、皮膚科への受診を勧めた。その後、女性が皮膚科を受診したところ治療が開始された。

【背景・要因】

購入希望者は糖尿病の治療中であったが、フットケアの重要性を理解しておらず、自己判断で市販薬を購入して対処しようとしていた。

【薬局から報告された改善策】

糖尿病患者が適切な治療を受けられるよう、糖尿病患者へ薬剤を交付する時に、薬剤の説明だけでなく、体調管理における注意点についても継続的に伝えておく。



その他の情報

糖尿病診療ガイドライン2024*

11章 糖尿病性足病変（一部抜粋）

Q11-1 糖尿病性足病変とは何か？

【ポイント】

- 糖尿病性足病変は“神経障害や末梢動脈疾患と関連して糖尿病患者の下肢に生じる感染、潰瘍、足組織の破壊性病変”と定義される。
- 糖尿病性足病変は神経障害による感覚鈍麻、足の変形、皮膚の乾燥・角化、末梢動脈疾患による血流低下に外因が加わり発症する。足病変は感染を伴うと重症化し下肢切断につながり、さらに生命予後を損なう。

*一般社団法人 日本糖尿病学会（参照2024年11月13日）



事例のポイント

- 糖尿病性足病変は、医師による治療が必要であり、患者が自己判断で市販薬による対処を行ったり、そのまま放置したりした場合、重症化する恐れがある。薬局で足病変のケアに関する医薬品の購入相談を受けた場合は、患者の現病歴を確認することが薬剤師の役割として重要である。
- 糖尿病を治療している患者が足病変を発症した場合は、糖尿病の治療を担当している医師に皮膚の状態を診察してもらい、必要に応じて皮膚科などの専門医を紹介してもらうよう、患者に説明する必要がある。また、状況に応じて薬剤師から糖尿病の治療を担当している医師へ情報提供を行うことが望ましい。
- 糖尿病患者が合併症のひとつである糖尿病性足病変に対する適切な治療を受けられるように、薬剤師は、糖尿病治療薬を交付する際に、患者にフットケアの重要性を説明し、下肢に異常があれば医師や薬剤師に相談するよう指導することが、早期発見や対策に有用である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqahc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
 消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 市販薬の痔の薬にはどんなものがありますか？皮膚に塗る薬は使えますか？

[回答] 痔の治療に使用される市販薬には、飲み薬、坐薬、軟膏や注入軟膏等様々な形のものが販売されています。また、市販薬の成分には、炎症を抑える成分、痛みを和らげる成分、止血する成分等があります。ご自身の症状に合った薬を選ぶことが大切です。ご購入の際は、薬局・薬店の薬剤師や登録販売者にご相談いただくことをお勧めします。肛門周囲は粘膜の部分にあたるため、一般的な皮膚の薬は適さない場合があります。必ず痔の薬として販売されているものを使用しましょう。市販薬で症状が改善しない場合には、早めに医療機関を受診してください。

●安全性情報●

[質問] 血圧が低く、85/40 mmHg位ある。15年前から自律神経が乱れて、マイスリーやデパスを飲んでいたが、依存が心配で中止した。漢方薬が良いと思い、小建中湯を処方してもらっている。小建中湯には芍薬が含まれているため、さらに血圧が低下しないか心配している。このまま飲んでいても大丈夫ですか？

[回答] 小建中湯に含まれる芍薬には、血管拡張作用があるため、血圧低下を引き起こす可能性があります。一方、小建中湯には多量摂取で血圧上昇（偽アルドステロン症）を引き起こす甘草も含まれています。他に漢方薬を服用する場合は、飲み合わせなどに注意が必要です。お薬による副作用については、一概に大丈夫とは言えません。個人差もありますが、服用中は血圧の変動やめまい、ふらつきなどの症状に注意してください。血圧について不安な点がありましたら、医師や薬剤師にご相談ください。

[質問] 以前に麦門冬湯を飲んでいたことがある。現在、慢性気管支拡張症と診断され、エリスロマイシンとカルボシステインで治療を受けている。痰が多く、たまに血痰が出る。他の病院で麦門冬湯について相談したところ、肺癌になるというようなことを言われ、勧められなかった。製薬会社に問い合わせたところ、咳と痰の薬と言われた。麦門冬湯を飲んでも大丈夫なのか？

[回答] 麦門冬湯は、粘膜や気道を潤し、痰を出しやすくする働きがあり、痰が切れにくい咳や気管支炎などに用いられます。痰が多い症状から考えますと、効果は期待できる可能性があります。他の病院で麦門冬湯について相談されたとのことですが、現在複数の薬を服用中であることから、飲み合わせや病状などを考

慮して、勧められないと判断されたのかもしれませんが。麦門冬湯が肺がんの原因になるという医学的な根拠はありません。しかし、副作用としてはまれに間質性肺炎などの重い副作用が起こることが知られています。特に、慢性気管支拡張症の方は注意が必要です。今の治療法で改善が見られないようでしたら、その旨を主治医にご相談ください。

[質問] ステロイドの塗り薬の効き目はどのようなものですか？また、ステロイドは長く使うと副作用が出ると聞いているが、何日まで塗ったらいいとか決まりはあるのですか？例えば5日とか10日とかあるのでしょうか。

[回答] ステロイドの塗り薬は、炎症を抑える作用があり、湿疹や皮膚炎の赤みや痒みなどの症状を鎮める効果があります。ステロイドの塗り薬の使用期間については、症状や薬の種類によって異なります。一般的には、決められた用法・用量を守って使用すれば、副作用の起こる可能性は低いとされています。自己判断で使用を中止したり、使用期間を決めたりせず、必ず医師や薬剤師に相談するようにしましょう。

[質問] 膠原病の友人がプレドニンを服用している。「きつい」と言っているが、これは薬の副作用ですか？膠原病の症状ですか？

[回答] プレドニンは膠原病等多くの病気に使用される薬ですが、副作用として疲労感や不眠、吐き気などの症状が現れることがあります。こちらでは、ご友人が感じている「きつい」という症状が、プレドニンの副作用なのか、膠原病自体の症状なのかを判断することは出来かねます。主治医の先生は、病状や服薬状況、検査結果等を総合的に判断し、適切に対応していただきます。今の症状については、主治医の先生に直接ご相談ください。

[質問] 精神科に通い、甲状腺の薬等も服用している。現在、MARTHAの服用を検討しているが、副作用が心配で飲みたくない。特に、私は薬に敏感な体質で、以前、強い焦燥感や不安感の経験がある。MARTHAの副作用について、教えてください。

[回答] MARTHAは、幻覚や妄想などの症状を改善する効果が期待できる薬ですが、副作用として眠気、体重増加、口渇、便秘などが報告されています。まれに、落ち着きがなくなる、不眠、動悸などの症状が現れる場合もあります。

* MARTHA：多元受容体作用抗精神病薬（Multi-Acting Receptor-Targeted Antipsychotics）



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

[質問] 1. ترامドールを服用中。眠気が強くて、運転に不安がある。ペーパードライバーですが、運転しても大丈夫ですか？

2. ترامドールの中止方法について教えてください。サインバルタと同じように、徐々に中止する必要がありますか？アセトアミノフェンのように、すぐに中止できる薬もあると聞いたのですが。

[回答] 1. ترامドールには、眠気やめまいなどの副作用が現れることがあり、添付文書でも服用中の運転は避けるようにと注意喚起しています。実際に、 ترامドール服用中に意識を失い自動車事故に至った例も報告されています。特に、ペーパードライバーの方は、運転に慣れていないため、より注意が必要です。服用中の自動車運転は絶対に避けてください。

2. ترامドールを自己判断で中止すると、イライラや不眠、吐き気などの離脱症状が現れることがあります。そのため、中止する際は、サインバルタと同様、医師の指示のもとで徐々に減量する必要があります。アセトアミノフェンのように、すぐに中止できる薬とは異なります。

●その他●

[質問] 沖縄県に旅行に来ている。血圧の薬など定期の薬を1週間分持って来たつもりだったが、忘れてきてしまった。どうすれば良いのでしょうか？保険証とお薬手帳は持っています。

[回答] 旅行中に薬を忘れてしまい、大変お困りのことと思います。処方箋医薬品の場合、原則として医師の診察を受けなければ薬をもらうことができません。お手数ですが、お近くの内科クリニックなどを受診し、事情を説明してください。受診の際は、保険証とお薬手帳を持参してください。受診する医療機関が決まりましたら、事前に電話で連絡を入れておくことをお勧めします。

[質問] 次の予約日の2週間前に受診したら、薬は自費になると言われた。10日前なら良いと言われたが、処方箋をもらえる時期に決まりはあるのか？

[回答] 患者様が薬を必要以上に多くもらうことで、悪影響が出たりすることを防ぐため、次回の予約日までの期間が短い場合には、保険適用外で自費となる場合があります。この期間については明確な決まりはなく、都道府県や保険者によって解釈が異なる場合があります。「10日前なら良い」という事についても、明確な基準ではありません。ただし、急な体調変化や旅行等、やむを得ない事情がある場合は、医療機関にご相談していただければと思います。

[その他ご意見・ご相談]

・高齢の母が、複数の病院から10種類の薬を処方されている。薬の管理も大変だったが、ラジオで聞いたポリファーマシーではないかと、心配になった。次の受診で薬の整理をしたいと考えている。不要な薬がないか調べて欲しい。

・ある薬局で、処方された子供の薬（ムコダインや抗生物質）について、薬剤師から「中耳炎だから、無理に飲ませなくてもいいですよ」「抗生剤は自己免疫があるから飲まなくてもいいですよ」と言われた。以前、ワクチンについて質問した時も、「私は勧めない」と言っていた。他の患者さんに対しても、同様のアドバイスをしているのを聞いた。今後は、別の薬剤師に相談したいと思うが、どのように伝えればよいか分らない。

・昨日、処方箋を持って薬局に行った。受付の女性に根掘り葉掘り色々質問され、不快な思いをした。コロナールを処方されたが、薬局は閉店間際だった。私が生活保護を受けていることや医療券を持っていることが理由なのか、他の人もいるのに大声でケースワーカーについて聞かれた。他の薬局ではこのようなことはない。手続きに時間がかかり、痛みをこらえているのに、明らかに個人的に質問を楽しんでいる様子だった。

* * * * *

●薬局より

[質問] 成人の溶連菌感染症の治療に使用するアモキシシリンの一般的な1回量と1日量を教えてください。

[回答] 成人のA群β溶血性連鎖球菌（GAS）による急性咽頭炎に対するアモキシシリンの投与量については、様々な情報があります。「抗微生物薬適正使用の手引き（第三版）」では、成人と小児における基本的な治療としてアモキシシリン10日間経口投与を推奨しており、各学会の指針では、アモキシシリン1回1,000mgを1日1回又は1回500mgを1日2回としています。また、「今日の治療指針2025」では、急性扁桃炎・咽頭炎の重症度スコアに応じて、以下の投与量が推奨されています。軽症：対症療法のみ、中等症：アモキシシリン1回500mg1日3回10日間、重症：1回500mg1日4回10日間。参考：海外では、小児の幅広い疾患及び菌種に対して、アモキシシリンを高用量（最大90～150mg/kg/日）で投与することが承認されています。

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇ medicina 61 巻 13 号
 - * 喘息・COPD と関連疾患の重要知識 Up-to-Date
- ◇ medicina 62 巻 1 号
 - * 糖尿病治療薬のチョイス！こんなとき、あんなとき
- ◇ エキスパートナース 41 巻 1 月号
 - * 看護の最新トレンド 2025 ～業務改善・効率化の参
考に！マネしてみたいアイデア大集合
- ◇ きょうの健康 1 月号
 - * 不整脈、白内障、頭痛
- ◇ 月刊薬事 66 巻 16 号
 - * 重症患者の器官系統別評価
- ◇ 月刊薬事 67 巻 1 号
 - * ポリファーマシー対策
- ◇ 産科と婦人科 92 巻 1 号
 - * 避妊と人工妊娠中絶 UP-to-date
- ◇ 総合診療 34 巻 12 号
 - * 妊婦・褥婦が外来にきたら
- ◇ 総合診療 35 巻 1 号
 - * ワクチンのよくある質問に答えます
- ◇ 調剤と情報 30 巻 15 号 (臨増)
 - * お金にまつわるアレコレ
- ◇ 調剤と情報 30 巻 16 号
 - * 認知症パンデミック時代における薬剤師の役割
- ◇ 調剤と情報 31 巻 1 号
 - * 摂食嚥下障害だけじゃない！？錠剤嚥下障害
- ◇ 調剤と情報 31 巻 2 号 (臨増)
 - * データから理解し次のパンデミックにつなげる 新
型コロナ検証 SP
- ◇ 治療 106 巻 12 号
 - * 自信が持てる移行期医療
- ◇ 治療 107 巻 1 号
 - * 1. プライマリ・ケア共通テスト / 2. チームで目指
す Diagnostic Excellence
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 326 号
 - * キーワードで学ぶ！インスリンの新常識
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 327 号
 - * 吉か凶か Amazon・楽天の参入
- ◇ 日本医事新報 5248 号
 - * CKD に SGLT2 阻害薬をどう使いこなすか
- ◇ 日本医事新報 5249 号～5253 号
 - * 便秘を視て診る もっと！X 線を活用しよう (1) ～ (5)
- ◇ 日本医事新報 5255 号
 - * 使いこなし骨粗鬆症治療薬 (作用機序、適応、効果、
副作用から考える)
- ◇ 日本医事新報 5256 号
 - * eGFR における腎機能評価の工夫 LTEP のススメ

◇ 日本医事新報 5257 号

* 肺非結核性抗酸菌症

◇ 薬局 75 巻 14 号

* 皮膚疾患・皮膚トラブル

◇ 薬局 76 巻 1 号

* 薬剤師の情報福袋 新薬, 診療 GL (ガイドライン),
etc 詰め合わせ

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 医師が語る 処方箋の裏側～難治性の口腔カンジダ
症フロリドゲルの特別な使い方
日経ドラッグインフォメーション (326) p.PE001
- ▶ 医師が語る 処方箋の裏側～食前投与のリンゼスを
食後にする理由
日経ドラッグインフォメーション (327) p.PE007
- ▶ 振り返れば国試 [18] てんかんの発作ゼロ、副作用
ゼロにするには？
月刊薬事 66 (16) p.125
- ▶ 振り返れば国試 [19] 乳がんの外来がん薬物療法管
理のポイントは？
月刊薬事 67 (1) p.131
- ▶ コストを考えた糖尿病治療薬のチョイス
Medecina62 (1) p.143
- ▶ 服薬アドヒアランスがよるしくない患者への糖尿病
治療薬のチョイス
Medecina62 (1) p.150
- ▶ えびさんぼ (37) ランドマークスタディで振り返
る 2024 年 - ランドマークスタディと路地裏エビデ
ンス - 臨床での使い方
治療 107 (1) p.8
- ▶ 統合失調症・カタトニア (緊張病) の薬物療法での
位置づけは？投与のタイミングは？
薬局 75 (13) p.92
- ▶ 乾癬 [私の治療]
日本医事新報 (5247) p.42
- ▶ 腎障害がある関節リウマチ患者の治療は？
日本医事新報 (5248) p.54
- ▶ ペニシリン系抗菌薬が供給不足、代替薬は
日経ドラッグインフォメーション (327) p.PE041
- 新薬■
- ▶ 添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[50]
アブリスボ®筋注用 (組換え RS ウイルスワクチン)
月刊薬事 66 (16) p.115
- ▶ 添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[51]

ザビセフタ®配合点滴静注用（アピバクタムナトリウム・セフタジジム水和物）
月刊薬事 67 (1) p.141

▶週1回持効型（高齢者でのニーズも見込む）持効型製剤アウィクリ（インスリンイコデク）
日経ドラッグインフォメーション (326) p.PE008

■安全性情報■

▶ガチではじめる マジでわかる経口抗がん薬 イクスタンジ®（エンザルタミド）の食欲不振
薬局 75 (14) p.115

▶ガチではじめる マジでわかる経口抗がん薬 アーリーダ®（アパルタミド）の皮膚障害
薬局 76 (1) p.5

▶認知症を疑う前に考慮する「薬剤性認知機能障害」
調剤と情報 30 (16) p.19

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・ベンゾジアゼピン系薬を漸減しても生じる症状
・ガバペンチンやプレガバリンで COPD 重症化リスク上昇
薬局 75 (14) p.112

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・BZ 薬の適正使用を目指した日本での一つの取り組み
・トリプタン開始直後は心筋梗塞や脳卒中のリスクが上昇
薬局 76 (1) p.90

▶モイゼルト軟膏とヒルドイドの混合指示
日経ドラッグインフォメーション (326) p.PE041

▶アトピー性皮膚炎
薬局 75 (14) p.86

■薬剤師業務■

▶抗認知症薬と服薬フォローアップの注意点
調剤と情報 30 (16) p.24

▶経鼻インフルエンザワクチンの特徴を聞かれたら
日経ドラッグインフォメーション (326) p.035

▶救急・集中治療領域の担当薬剤師の役割とは？
月刊薬事 66 (16) p.13

▶日本版敗血症診療ガイドライン 2024 の読み方、活用のポイント - すべての患者に適切な介入と臨床意義の高い研究を行うために
月刊薬事 66 (16) p.88

▶誰でもできる臨床研究 リアルワールドデータで学会発表、論文執筆 [8] 症例報告の書き方
月刊薬事 66 (16) p.136

▶誰でもできる臨床研究 リアルワールドデータで学会発表、論文執筆 [9] データの取り扱い方、解析の仕方（記述統計、単変量解析）
月刊薬事 67 (1) p.127

▶服薬管理がニガテな患者さんを強力サポート！「お薬束®」
調剤と情報 30 (16) p.56

▶薬剤師の役割 認知症を疑う前に考慮する「薬剤性認知機能障害」
調剤と情報 30 (16) p.19

▶低ナトリウム血症出現！検査値のみに囚われず、患者状態を確認せよ！

薬局 75 (14) p.125

▶達人に学ぶ服薬指導のツボ インフルエンザ（後編）
日経ドラッグインフォメーション (326) p.PE030

▶達人に学ぶ服薬指導のツボ 花粉症（前編）
日経ドラッグインフォメーション (327) p.PE031

▶地域を支えるこれからの薬剤師に期待されること
薬局 76 (1) p.12

▶ポリファーマシー対策の現状の課題
月刊薬事 67 (1) p.15

▶シンプルに始めるポリファーマシー対策～PIMs リストの使い方 - 抗コリン薬のリスクスケール
月刊薬事 67 (1) p.21

▶ポリファーマシーと薬剤調整の方法をいろんな角度から
治療 67 (107) p.1

▶処方時に家族歴を確認される薬剤
日経ドラッグインフォメーション (326) p.PE043

■産科・婦人科■

▶妊婦・妊娠中の女性のアルコールリスクをゼロにする
日本医事新報 (5245) p.64

▶女性の頭痛マネジメント 妊娠・授乳中の頭痛
調剤と情報 30 (16) p.97

▶女性の頭痛マネジメント 頭痛外来？内科？受診推奨のポイントと受診推奨先
調剤と情報 31 (1) p.108

■漢方療法■

▶Dr.Shinのよくわかる即戦力漢方～どうする？コロナ後遺症
治療 106 (12) p.1470

▶Dr.Shinのよくわかる即戦力漢方～高齢者の精神・心理的フレイルにどう対応する？
治療 107 (1) p.122

▶漢方方剤の効き目をみきわめる期間はどれくらい？
薬局 75 (14) p.97

▶ぐっとよくなる！漢方処方快訣ピフォアアフター〈第12回〉「何にでも効く薬」は難しい 焦点を絞った漢方薬の使い方
薬局 75 (14) p.140

▶えびさんぼ (36) 皮膚疾患の症状緩和に対して漢方薬は効果がありますか？
治療 106 (12) p.1368

■その他■

▶薬剤師記録における「By system」と「By problem」の違いとは？
月刊薬事 66 (16) p.21

▶「謎の原虫トキソプラズマ」
日本医事新報 (5245) p.65

▶認知症治療体系「コウノメソッド」とは
調剤と情報 30 (16) p.45

▶錠剤を粉碎することの問題点
調剤と情報 31 (1) p.58

▶海外渡航時のワクチン接種
総合診療 35 (1) p.47

▶ワクチン反対派とどうコミュニケーションをとるか
総合診療 35 (1) p.71

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

妊婦・授乳婦への投薬

総合診療 12月号

*妊婦の診察における対応

①妊娠週数・妊娠経過について確認する ②服薬の必要性を考える：絶対に安全な薬剤がない以上、不要な投薬は控えるべきである。しかし、母体の妊娠継続において必要であれば、服薬の必要性とリスクについて説明し、患者の価値観を尊重し、患者自身が納得して選択できるように支援を行う ③代替薬を探す、安全性の高い薬剤を選択：書籍（「薬物治療コンサルテーション-妊娠と授乳」）やウェブサイト（妊娠と薬情報センター、LactMed等）を参照し、最新情報を確認する ④患者と服薬によるメリットとデメリット、ベースラインリスクについて共有する：全妊娠で約15.3%の確率で流産、約4.9%で早産、約3.3%で先天性奇形が発症するとされ、これらの認識を共有した上で処方することが望ましい。 ⑤症状・経過をフォロー

*授乳婦の診察における対応

①授乳移行性：上記書籍等を参考に選択
②母乳育児のメリット：服薬を理由として不必要な断乳を指示しないように注意する

亀田ファミリークリニック 館山 高島 育
わかばファミリークリニック 水谷 佳敬

女性の頭痛マネジメント～妊娠・授乳中の頭痛

調剤と情報 12月号

妊婦の頭痛の有病率は35%。そのうち約65%が片頭痛や緊張型頭痛などの一次性頭痛、35%が二次性頭痛であるとの報告がある。ひどい場合の第一選択薬はアセトアミノフェンである。先天形態異常の危険性が否定されており、妊娠全期を通して使用可能である。しかし児の泌尿器障害に関連する可能性が示唆されており、漫然投与は避けなければならない。一方で、トリプタンは妊娠初期の使用による催奇形性や流産・早産率の増加は認められていない。予防療法は原則行わないが、必要な場合にはβ遮断薬が第一選択薬となる。プロプラノロールは、診療ガイドライン2021では第一選択薬となっている。産褥期の頭痛有病率は39%。急性もしくは悪化する頭痛のうち73%が二次性頭痛であるとの報告もあり、産褥期は特に鑑別が必要になる。一次性頭痛にはトリプタンのうちスマトリプタンとエレクトリプタンの母乳移行率は低い。二次性頭痛は硬膜穿刺後頭痛といい、無痛分娩や帝王切開で行う麻酔後に合併して発症する。重度な場合にはブラッドパッチ治療を行う。

千船病院産婦人科
稲垣 美恵子・河谷 春那

進行がん患者における重度の疼痛を訴える割合はオピオイドの低い利用と関連している：日本におけるDB研究と全国アンケート調査の複合解析(二次出版)

新薬と臨床 11月号

患者が末期がんで死亡する30日前までの疼痛の詳細を評価するため、日本国内の2000の地域の地域包括支援センターの介護者を対象に全国ウェブ調査を実施した。また、がん患者の死亡前90日間のオピオイド処方量と医療サービスのデータを健康保険請求データベースから抽出した。1034人の介護者から回答が得られ、665例の患者が解析対象となった。合計で254例の患者(38.2%)が重度～耐えられないがん性疼痛を訴えていた。患者の死亡前90日間のオピオイドの累積処方量の中央値は、経口モルヒネ換算量で311.0mgであった。【考察】末期がん患者のかんがりの割合が重度～耐えられない痛みで苦しんでおり、がんによる死亡直前にWHO推奨量にまったく達しない極めて低用量のオピオイドが処方されていた。47都道府県全体で、重度～耐えられないがん性疼痛患者の割合とオピオイド処方量には大きなばらつきがあった。この研究にはいくつかの限界があり、結果の解釈には注意が必要だが、オピオイド使用の絶対量を増やすことで、緩和ケアの診療内容を世界基準の疼痛管理レベルに改善できる可能性がある。東京大学大学院医学系研究科 疼痛・緩和病態医科学講座 長谷川麻衣子他

RA治療中の知っておきたい病態！「抗リウマチ薬を飲んでいる人で注意すべきところとは？①ブシラミン(BUC)

medicina 12月号

”黄色爪症候群”・・・BUCに伴うものとしてよく知られている徴候である。BUC以外でも生じうるため、リンパ系の還流障害が病態と考えられている。症状としては黄色爪、難治性胸水、リンパ浮腫の3徴が有名ではあるが、臨床的特徴の実態に関する報告はいくつかある。BUCによる黄色爪症候群をまとめて報告しているものでは女性は85.7%、発症平均年齢は60.6歳(38～78歳)、症状としてリンパ浮腫は37.1%、肺病変は52.6%、3徴候を満たしたものは31.6%であった。黄色爪が初発症状となったものは88.2%であったが、初発症状として黄色爪がないものも報告されている。胸水について少し深掘りする。2014年の黄色爪症候群の胸水について書かれた総説がある。68%で両側胸水であり、性状は滲出性(95%)、リンパ球優位(96%)とされる。胸水をメインとして精査され、最終的に黄色爪症候群による胸水であったという報告は散在しており、原因不明の滲出性胸水の場合に一度は想起したい。また、黄色爪症候群は浮腫をきたす疾患として頭のどこかで思い浮かんで欲しいものの1つである。

中部ろうさい病院リウマチ膠原病・腎感染症内科 猪飼 浩樹

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】治療薬ハンドブック 2025

【編著】堀 正二、菅野 健太郎、門脇 孝、乾 賢一、林 昌洋／編【発行】じほう

【発行日】2025年1月【版型/頁】B6変型判/1,888頁

【定価】4,950円(税込)【幹旋価格】4,400円(税込)

項目「授乳婦」を新設。書籍『授乳婦と薬』（じほう刊）掲載の分類基準が臨床情報欄に登場。患者リスクに応じた処方・調剤に便利な情報が、さらに充実。包装単位情報を強化。分包品とバラ包装がある薬剤などについては、包装単位を記載。薬剤の選択・比較に便利。かゆい所に手が届く情報量で、多忙な日常業務を支える。RMP資料の有無を掲載。調剤報酬改定でRMPへの目度が高まっている。RMPの患者用資料の有無も、治療薬ハンドブックに掲載。

★【日薬幹旋図書】誰も教えてくれなかった実践薬歴 改訂版

【編著】山本 雄一郎【発行】じほう【発行日】2024年9月

【版型/頁】A5判/464頁【定価】3,520円(税込)【幹旋価格】3,080円(税込)

本書は、薬歴の基本的な書き方・考え方に加えて、薬歴を通した薬学的管理の実践的な考え方を症例ベースで解説。よくある症例であっても、患者情報や薬剤師の考え方によって服薬指導が変化することを実践的に例示する。

改訂版では、電子薬歴や薬機法改正に対応するとともに、診療ガイドラインなどを最新の情報にアップデート。新人・若手から、大学で医療記録について学んでこなかったベテランまで、すべての薬剤師におすすめの1冊。

★【日薬幹旋図書】治療薬マニュアル 2025

【著者】矢崎 義雄／監、上野 文昭、越前 宏俊／編【発行】医学書院【発行日】2025年1月

【版型/頁】B6判/2912頁【定価】5,610円(税込)【幹旋価格】5,192円(税込)

圧倒的な添付文書情報量！副作用、重要な基本的注意、併用禁忌・注意、作用機序、投与期間上限など、必要な情報を網羅。専門医による「臨床解説」（適応外使用など）や妊婦・授乳婦リスク分類など添付文書以外の情報も充実。後発医薬品や2024年収載の新薬を含む、ほぼすべての医療用医薬品を収録。PC・スマホで利用できる「Web電子版」付き。

★【日薬幹旋図書】Pocket Drugs 2025

【監修】福井 次矢【発行】医学書院【発行日】2025年1月

【版型/頁】A6判/1248頁【定価】4,950円(税込)【幹旋価格】4,552円(税込)

治療薬を薬効ごとに分類し、冒頭に「臨床解説」を掲載。各薬剤情報では、すぐに役立つ「選び方・使い方」、薬剤選択・使用時の「エビデンス」をコンパクトにまとめた。フルカラーで欲しい情報がすぐに見つかり、主要な薬剤は写真も掲載。臨床現場で本当に必要な情報だけをまとめたポケット判医薬品集。

★【日薬幹旋図書】今日の治療薬 2025

【編集】伊豆津宏二/今井靖/桑名正隆/寺田智祐【発行】南江堂【発行日】2025年1月

【版型/頁】B6判/1,440頁【幹旋価格】4,750円(税込)

今版で47版目となる医療用医薬品情報集のベストセラー。領域ごとに、疾患や治療の概要をまとめた「解説」と臨床ですぐ知りたい薬剤情報を凝縮した「便覧」で構成。今版では、解説は最新情報が一目でわかるようリニューアルし、便覧は簡易懸濁の可否情報を追加。同種・同効薬の使い分けのヒントになる「同効薬インデックス」「同種薬比較」や、製剤写真などを閲覧できる無料オンライン付録「e-OMAKE」も継続。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus+ 令和7年4月版

【編著】薬業研究会／編【発行】じほう 【発行日】2025年3月

【版型/頁】A5判/1,042頁 【幹旋価格】4,730円(税込)

同一成分の剤形や規格単位ごとの薬価を調べられるだけでなく、「適応・用法」情報も確認することができ、さらに適応外使用に係る公知申請が認められているものについても記載。また、ジェネリック医薬品の適応・用法違いの確認においても最適で、一般名からも商品名からも検索できる医療用医薬品リストの好評定番書籍。

★【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 令和7年4月版

【発行】じほう 【発行日】2025年3月

【版型/頁】A5判/1,032頁 【幹旋価格】2,310円(税込)

薬価基準収載医薬品を、「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬」の投与経路別に、商品名の50音順に配列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。局方品目の銘柄名、請求に使用できる略称なども本文に掲載。統一名収載品目の製品も各銘柄名から検索が可能。診療報酬上評価される後発医薬品や、先発医薬品、準先発品、経過措置品目などにマークを付してわかりやすく表記。

★【日薬幹旋図書】投薬禁忌リスト 令和7年版

【発行】じほう 【発行日】2025年4月【幹旋価格】4,400円(税込)

★【日薬幹旋図書】薬効・薬価リスト 令和7年版

【発行】じほう 【発行日】2025年4月【幹旋価格】6,600円(税込)

三ツ星シェフへの道「経静脈栄養」実践 GUIDE

【編著】東 敬一郎 【発行】南山堂 【発行日】2024年11月

【版型/頁】B5判/245頁 【定価】3,520円(税込)

臨床現場にはいまだ医原性低栄養が生じやすい素地があり、それによる回復の遅れや治療強度の不足は、患者にとって大きな損失になる。そうならないためにも、経静脈栄養の管理法や輸液製剤の選びかた・組み合わせかたを楽しく学びながら、臨床栄養の実践に必要な“意識”と“知識”を身につけよう！

ポケット医薬品集 2025年版

【著者】龍原 徹／監修 澤田康文、佐藤宏樹／著【発行】南山堂 【発行日】2025年1月

【版型/頁】B6判/1525頁 【定価】5,500円(税込)

添付文書の情報にとどまらず、薬の作用メカニズムや、薬剤選択・薬物療法管理に必須となる最新の医薬品情報を掲載。日常診療、薬剤業務で手元に置いておきたい定番の医薬品集。

薬剤師に聞いてみよう！子どもの薬 Q&A

【著者】児島 悠史、富野 浩充、安福 功一【発行】診断と治療社 【発行日】2024年11月

【版型/頁】B5判/208頁 【定価】4,180円(税込)

「薬を飲んだ後、吐いたらどうすればよい？」「子どもの薬の投与量、体重にだけ気をつけていればよい？」「併用禁忌の組み合わせ、実際のリスクはどの程度？」本書では、そんな小児診療現場での医師、看護師の疑問に薬剤師が丁寧に回答！その回答に至るまでの判断材料や思考プロセスを可視化し、わかりやすく解説。「これってどうなんだろう？」に答える内容が満載な Child Health Books 第二弾、発刊！

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ
(4)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (5)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)
(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」
平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の間覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 公認スポーツファーマシスト認証制度について * *

(公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構)

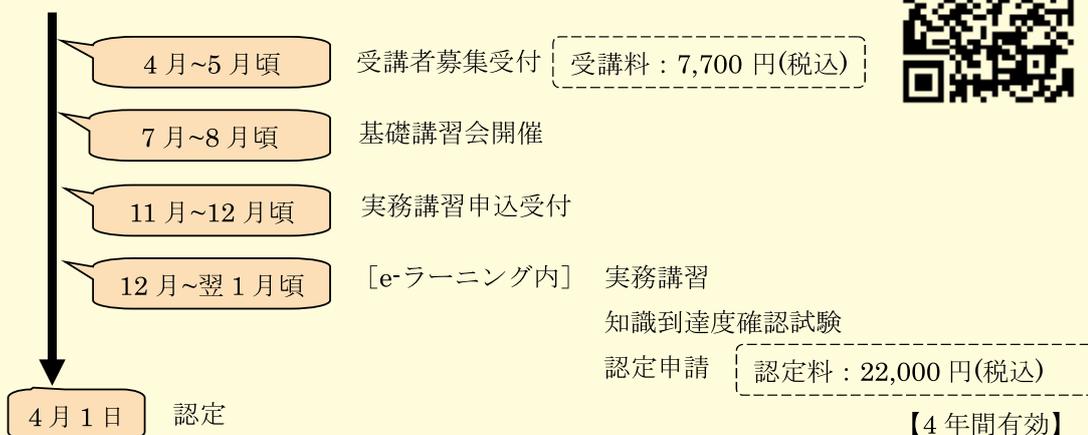
<https://www.sp.playtruejapan.org/about/index.html>

公認スポーツファーマシストは、最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師です。(公財)日本アンチ・ドーピング機構が定める所定の過程(アンチ・ドーピングに関する内容)終了後に認定される資格制度です。

○公認スポーツファーマシストの活動例

- ・国民体育大会に向けての都道府県選手団への情報提供・啓発活動等
- ・学校教育の現場におけるアンチ・ドーピング情報を介した医薬品の使用に関する情報提供・啓発活動等

○認定までの流れとスケジュール



©2025年度の募集は、2024年3月に告知の予定です。

各位

薬剤師法第23条および第24条の遵守について

薬事情報委員会

平素より地域医療の発展に多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

現在、薬剤の供給不足により、品薄の状況が続いております。このような状況下においても、各法規の遵守は極めて重要です。しかしながら、近時、医師が不在・外来診察中等の理由により疑義照会が速やかに行えず、事後に報告・確認を行っている事例が見受けられます。このような事態を未然に防ぎ、適切な医療提供体制を維持するため、改めて下記内容をご確認の上、適切な対応を徹底していただきますようお願い申し上げます。

<法律遵守の重要性>

薬剤師法第23条および第24条に基づき、処方せんに記載された内容を正確に調剤すること、また疑わしい点がある場合には、必ず処方せんを交付した医師に確認することが義務付けられています。

○薬剤師法第二十三条（処方せんによる調剤）

薬剤師は、医師、歯科医師又は獣医師の処方せんによらなければ、販売又は授与の目的で調剤してはならない。

2 薬剤師は、処方せんに記載された医薬品につき、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師の同意を得た場合を除くほか、これを変更して調剤してはならない。

○薬剤師法第二十四条（処方せん中の疑義）

薬剤師は、処方せん中に疑わしい点があるときは、その処方せんを交付した医師、歯科医師又は獣医師に問い合わせて、その疑わしい点を確認した後でなければ、これによつて調剤してはならない。

<遵守するための対応>

薬剤の供給不足等にて薬局に薬が無い場合、以下の対応を徹底していただきますようお願い申し上げます。

① 近隣薬局での小分け等による調達を試みるなど、まず処方通りの薬の手配を心がけてください。

② 処方通りの薬の調達が困難な場合は、必ず処方せんを交付した医師に疑義照会を行い、同意を得た上で薬剤変更を行ってください。

③ 医師と連絡が取れない場合は、患者に「お薬の変更には医師の確認が必要となります。医師と連絡が取れ次第、改めてご連絡します」などと説明し、一旦ご帰宅いただくなどの対応をとる。その後、医師と連絡が取れたら、電話、メール、または再度来局などの方法で患者に連絡し、対応について相談する。

※薬剤の変更について、事前に薬局と医療機関の間で合意がある場合など、令和6年3月15日付の厚労省事務連絡『現下の医療用医薬品の供給状況における変更調剤の取扱いについて』に該当するケースでは、この限りではありません。

こちらの件に関して、ご質問がございましたら県薬までご連絡ください。

参考

事務連絡

令和6年3月15日

現下の医療用医薬品の供給状況における変更調剤の取扱いについて

厚生労働省保険局医療課

(抜粋)

昨今の医療用医薬品の供給状況や、それに伴う需給の逼迫を踏まえ、「経口抗菌薬の在庫逼迫に伴う協力依頼」(令和5年9月15日厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課事務連絡)、「鎮咳薬(咳止め)・去痰薬の在庫逼迫に伴う協力依頼」(令和5年9月29日同課事務連絡)、「オセルタミビルリン酸塩ドライシロップの在庫逼迫に伴う協力依頼」(令和5年11月8日同課事務連絡)のとおり、保険薬局において処方薬の調剤に当たり、医薬品の入手が限定されること等により必要量が用意できないようなやむを得ない状況においては、変更調剤による対応を柔軟に取り扱うことが有用であると考えられる。

このようなやむを得ない場合における変更調剤について、当面の間の取扱いを下記のとおり示す。

記

- 1 後発医薬品の銘柄処方において、「変更不可」欄に「✓」又は「×」が記載されていない場合にあっては、患者に対して調剤する薬剤を変更することを説明の上、同意を得ることで、当該処方薬に代えて、先発医薬品(含量規格が異なるもの又は類似する別剤形のものを含む。)を調剤することができる。
- 2 処方薬の変更調剤を行うに当たって、以下に掲げるものについては、変更調剤後の薬剤料が変更前のものを超える場合であっても、患者に対してその旨を説明の上、同意を得ることで、当該変更調剤を行うことができる(ただし、規格又は剤形の違いにより効能・効果や用法・用量が異なるものを除く。)
 - ① 含量規格が異なる後発医薬品又は類似する別剤形の後発医薬品への変更調剤
 - ② 内服薬のうち、類似する別剤形の後発医薬品への変更調剤がやむを得ずできない場合であつて、次に掲げる分類間の別剤形(含量規格が異なる場合を含む。)の医薬品への変更調剤
 - ア 錠剤(普通錠)、錠剤(口腔内崩壊錠)、カプセル剤、丸剤
 - イ 散剤、顆粒剤、細粒剤、末剤、ドライシロップ剤(内服用固形剤として調剤する場合に限る。)(例：アに該当する錠剤をイに該当する散剤への変更調剤)
- 3 保険薬局において、上記1又は2の対応を行った場合には、調剤した薬剤の銘柄(含量規格が異なる後発医薬品を調剤した場合にあっては含量規格を、処方薬とは別の剤形の後発医薬品を調剤した場合にあっては剤形を含む。)等について、当該調剤に係る処方箋を発行した保険医療機関に情報提供すること。ただし、当該保険医療機関との間で、調剤した薬剤の銘柄等に係る情報提供の要否、方法、頻度等に関してあらかじめ合意が得られている場合は、当該合意に基づいた方法等により情報提供を行うことで差し支えない。

試験検査センターからのお知らせ

1 計画的試験を実施しています

令和6年度 計画的試験を以下の項目で実施しています。

- ①ウルソデオキシコール酸の定量試験 ②漢方薬の細菌試験

試験検査センター利用契約を結んでいただいている薬局へ1月に封書にて、検体提出などについてご案内しました。提出期限は1月31日です。

検査終了後、成績書をお送りしますので、管理日誌に記載お願いいたします。

2 日薬 薬事衛生連絡協議会・技術研修会（静岡県にて開催）へ参加しました

令和6年12月12日に静岡市のクーポール会館にて開催された薬事衛生連絡協議会・技術研修会へ参加しました。今年度から公衆衛生委員会と試験検査センター委員会が統合され、薬事衛生委員会として初めての協議会・技術研修会となりました。

協議会・技術研修会では消費者行政について、中核的な実施機関である国民生活センターが消費者行政の司令塔機能の発揮・地方消費者行政の推進・消費者への注意喚起を行っており、様々なネットワークを構築していると説明がありました。また、紅麹関連製品による健康被害を踏まえた対応として、健康被害情報収集体制の見直しが行われ、天然抽出物等を原料とする錠剤、カプセル剤等食品の届出に関する製造加工等においてGMP基準の適応が施行されていると報告がありました。



3 学校薬剤師の皆様へ

学校の環境検査で使用する騒音計や照度計などを学校薬剤師部会が揃え、試験検査センターが管理しています。

ご利用の際は予約が必要ですので、試験検査センターへ電話またはメールでご連絡ください。



〈貸し出し用機器〉

- ・騒音計：5台 ・照度計：7台 ・CO2モニター：4台
- ・微風速計：1台 ・粉じん計：1台 ・ガス採取器：3つ
- ・ルミスター（ATPふき取り検査用）：3台
- ・手洗いチェッカー：2セット ・掃除機（ダニアルゲン検査用）：7台

なお、機器を予約・利用できるのは学校薬剤師部会に登録された先生方に限ります。

お願い：室内化学物質検査用スタンドが不足しています

室内化学物質検査で使用したスタンドがお手元にありましたら、返却お願いします。



ひきつづき利用契約推進中！

試験検査センターでは、会員の皆様のご利用をお待ちしています。

私たちは、困った時の検査センター、会員のための検査センターをモットーに頑張っています。※利用契約の詳細は、以下の連絡先に連絡下さい。

連絡先：試験検査センター 電話：098-963-8934 Mail：siken@okiyaku.or.jp

第68回 暮らしの中の薬草学
身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会
副部長 狩俣 イノ

沖縄で一般的に常用されているさんぴん茶は、緑茶にマツリカの香りを付けたものだそうです。よく知らずに飲んでいたので、今回は「マツリカ」と「さんぴん茶・ジャスミン茶」を調べてみました。

マツリカ：茉莉花：ジャスミン

学名 Jasminum sambac (L.) Aiton
科名 モクセイ科 Oleaceae
属名 ソケイ属 Jasminum
使用部位 花（茉莉花）・根（茉莉根）
成分 リナロール・ベンジルアセテート・
アントラニル酸メチル・ファルネセン



【マツリカの名称】

ジャスミンの由来は、ペルシャ語の「神様からの贈り物」を意味する単語から由来するといわれている。和名のマツリカは、漢名の茉莉花を日本語読みしたもの。サンバックジャスミン、アラビアンジャスミン、ピカケ、サンパギータ、沖縄方言でムイクリ、ムルクと呼ばれる。

【マツリカの歴史】

フィリピン、インドネシアの国花に制定されており、古くから結婚式や客人の歓迎に使用され、そのほかの国でも宗教的な儀式や瞑想などに使われている。また中国ではジャスミン茶の香り付けに使われている。

【マツリカの形態・生態】

原産地は熱帯アジアのつる植物（半つる性）で1.5 m～3 mの常緑低木（寒さで落葉することもある）、耐暑性が強い。7月～9月に香りのある白い花を咲かせる。新月から満月にかけて枝の先端部に蕾をつけ、膨らんだ蕾はやがて開花し、月明りの中で満開になり、時間がたつと紫がかかったピンク色に変色する。朝には散る一日花である。仏陀の歯にたとえられる純白の花はやや肉厚で、クチナシに似た強い香りを放ち、仏教では仏の住む国に香るとされる。涼しい気温の初夏や秋口にはより長もちする。

【マツリカの成分】

マツリカは、香料用植物として知られるジャスミンの一種で、漢方では花と根を生薬として用いる。66種の香気成分があり、リナロール（花の芳香）とアントラニル酸メチル（果実系着香料・鳥忌避剤）、 α -ファルネセン、ベンジルアセテートなどが香りに寄与している。

【リナロールが不安を軽減する脳の仕組み】

リナロールは食品添加物の指定添加物リストに記載されている。

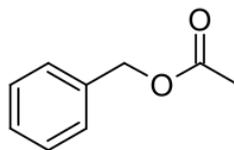
リナロール香気は嗅覚系の活性化を介して、抗不安作用を生じることが明らかになった。内因性ベンゾジアゼピン様物質の放出を促し、GABA受容体のBZD作用部位を活性化することで抗不安効果をもたらす。リナロール香気暴露により明らかな催眠、鎮静、筋弛緩、運動抑制は観察されていない。依存等の有害作用の報告もない。抗不安に対する新たな治療戦略が創出されることが期待されている。

睡眠を促し脳の中途覚醒を予防し、継続的な睡眠を確保する効果がある。また判断力の低下を抑える効果もあるとされている。

抗炎症作用、口内環境を整える抗菌効果、加えて血行を促進して身体を温める効果などが確認されている。

【ベンジルアセテート：酢酸ベンジル】

ベンジルアセテートはエンドルフィンの分泌を高め、気分を高揚させる。自律神経を整えてリラックス効果を促進することにより、乱れがちなホルモンバランスを整える働きもある。生理前の月経前症候群PMS症状の緩和に役立つことはもちろん、更年期障害による気分の浮き沈みやイライラにも効果的である。



またシタバチ類のオスを誘引する化合物（フェロモン）の一つでもあり、研究のためにこれらのハチを捕まえる際の罠に使われる。

【さんぴん茶とジャスミン茶】

ジャスミン茶は中国で生まれた伝統的なフレーバーティーである。香片ジャズピン、茉莉銀毫、祁門、真珠花茶など多数の種類がある。一般のジャスミン茶が緑茶にマツリカの香りを付けたものであるのに対して、さんぴん茶は半発酵茶にマツリカの香りを付けたものである。摘み取った生茶葉に加熱・乾燥等の加工を行った荒茶とジャスミンの花を幾重にも積み重ね、花の香りを荒茶に移したものがさんぴん茶葉となる。さんぴん茶という名称は、中国語の香片茶ジャズピンチャーが転訛したものである。

【さんぴん茶とジャスミン茶の栄養成分】

緑茶やウーロン茶に香りをつけているので、緑茶やウーロン茶とほぼ同じである。ビタミンC、ビタミンE、ミネラルを多く含み、さらにカテキンを含むタンニンやカフェインなどの成分も含まれる。更に茉莉花の特徴的な香り成分が含まれている。

【さんぴん茶・ジャスミン茶の効能効果】

ビタミンE：強力な抗酸化作用がある。血管の健康を保つ働きがありアンチエイジングに役立つ。悪玉コレステロールを抑えて善玉コレステロール値を上げる効果もある。

ミネラル：メラニンの代謝を促進してシミやそばかすを防ぐ。基礎代謝を促進し、脂肪を燃焼しやすくする働きを持つ。

タンニン：活性酸素の働きを抑える抗酸化作用や殺菌・消臭作用がある。収れん作用があり、開いた毛穴や皮脂腺を引き締めて毛穴が目立ちにくくする。メラニンの増殖を抑えてシミやくすみを防ぎ、美肌・美白効果を示す。

カフェイン：覚醒作用をもたらし、集中力をアップさせ、疲労を回復する。脂肪を分解する酵素であるリパーゼを活発にさせる作用があり、血行を促進させる。脂肪をエネルギーに変換し代謝を上げ、脂肪燃焼に効果的である。

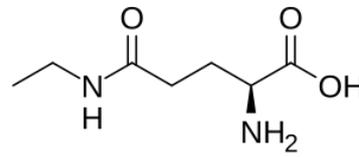
利尿作用と血行促進作用で体内の余分な水分を排出し、むくみの解消になる。

カテキン：細菌やウイルスを殺菌する効果があり、風邪や感染症の予防、歯周病菌の殺菌、口臭予防に役立つ。血中コレステロールの増加を抑制し生活習慣病の予防に役立つ。またアルコールの分解を促し、カフェインの利尿作用で二日酔いの予防になる。

香り成分：焼肉やニンニク料理などの食事中と一緒に飲むと、体臭・口臭予防になる。ベ

ンジルアセテートは集中力を高める働きがある。右脳を刺激して自律神経の緊張を和らげるので、勉強や仕事の合間にジャスミン茶を飲むことによって効果的になる。

【テアニンL-Theanine】



テアニンとは、茶に多量に含まれるアミノ酸の一種で、グルタミンのアミドの

部分の相手が、アンモニアからエチルアミンに変わった化合物である。経口摂取すると小腸からアミノ酸トランスポーターに乗り吸収され、さらに血液脳関門を通過できるため、精神に影響を与える作用が認められる。リラックスの指標であるα波の発生が30分から40分後に確認されている。50 mg 摂取では不安傾向の低い人に、200 mg 摂取では不安傾向の高い人においてもリラックス効果が認められている。抗ストレス作用についても同様に効果が確認されている。それに随伴して血圧降下作用も見られる。ヒト臨床試験において睡眠潜時の減少、睡眠の質の改善、徐波睡眠の延長、中途覚醒の減少が確認されている。被験者アンケートにより起床時の爽快感、熟眠感、労回復感の改善が認められた。

テアニンとカフェインとの相乗効果もあいまって、認知活動や気分の改善が見込めることが確認された。統合失調症の治療において、投薬中の抗精神病薬にテアニンを併用することで、いくつか症状が減少することが、プラセボ対照試験で示されているほか、精神疾患の予防にも有用である。

テアニンが、PMS時の乳房痛、下腹部痛、イライラ、憂鬱、むくみ、集中力の低下等を改善することが報告されている。

被験者が4週間にわたって毎日600mLのコーヒーまたは茶を飲む研究をした。結果、血液の分析で抗菌タンパク質の産生はお茶を飲む群のほうが5倍高まっており、より高い免疫反応を示した。テアニンはガンマ・デルタT細胞の防衛機能を増強することで、感染に対する生体の免疫反応を助けるかもしれない。

参考 南の島のハーブ、伊藤園研究レポート、柏谷英樹*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科統合分子生理学、永見桂子*日本看護研究学会2006、わかさの秘密、もやいネット医療共済、趣味の園芸、日本女性心身医学会雑誌Vol 6 No2 pp234～239、久保田紀久枝*お茶の水女子大学生生活科学部、亜熱帯生物資源データベース、Felice編集部



「ファッションショー」

広報委員会
喜久山 有沙



今回リレー随筆のバトンを受け取りました、広報委員会の喜久山有沙と申します。去る2024年12月15日にプラザハウスショッピングセンターにて開催されたファッションショーへの出演とイベント運営に携わったのでそのお話をさせていただこうと思います。

その前に、私の自己紹介を少々。私は6年制一期生の薬剤師で、現在はフリーランスとして、調剤薬局と在宅専門クリニック勤務、自営業をしております。以前は病院でICU・救急担当、災害医療に関わっていた経験から「病気になることが大事だ」と思うようになり、興味があった「予防医療・美容・漢方」をテーマに自分自身で何かできないかと模索し、現在の働き方になりました。趣味と健康のために始めたファッションショー用のウォーキングにと興味が尽きない今日この頃。

さて、ファッションショーのお話です。ウォーキングを通して年齢や性別、障害を越えて自分らしく輝く自分を発信するイベント「Me My Selfish Collection Vol.4」が、沖縄市のプラザハウスショッピングセンターで開催されました。主催はウォーキングインストラ

クターで「琉叶.Walking」代表の屋良充佑紀さん。一般の出演者は小学4年生から65歳で、自分自身の殻を破りたい大人、自閉症の子、モデルになりたい子など多彩。プロモデルの出演に、ブランド衣装の提供もありました。

ジェンダーレスやエイジレスを謳ったボーダーレスなイベントと口では簡単に言えますが、実際に裏方として参加すると、多動な子供を落ち着かせたり、障害を持った方のトイレの付き添いや飲水を促したり、特に、出演者の衣装チェンジはとても大変でした。私自身は日々の仕事に加えて運営としての裏方の仕事、出演するためにウォーキングのフォーメーションを覚えたり、出演者のサポートもしたりと、何度も運営から降りようと思いつつもなんとか当日を迎え、満員御礼で無事イベントを終えました。

イベント終了後に障害を持った参加者のご家族から頂いたメッセージには感動し、忙しい中で運営頑張ってくれたと思いました。一部抜粋してご紹介させていただきます。

「Aちゃんの夢はモデル！夢を叶えてくれ





てありがとうございました！基本的に待つのも苦手だし、たくさんの知らない人に囲まれるのも得意ではないですが、嫌がらずニコニコできたのは本当に皆さんのおかげです。裏で待っている時、最後の写真の時、色んな場

面で沢山の人が文字通りAに手を差し伸べてくれて、Aもそれを受け入れて。本当に本当に感謝しかありません。」

今後も趣味を通じた様々な経験を通して知見を広げて行きたいと思います。

プロのモデルと一緒に記念撮影をする参加者



子どもら堂々ランウェイ
沖縄 モデルと一緒にウォーキング

【沖縄】年齢や性別、障がいを超えて自分らしく輝く自分を、ウォーキングを通して発信するイベント「Me My Self Collection vol. 4」がこのほど、沖縄市のプラザハウスショッピングセンターで開かれた。

主催はウォーキングインストラクターで「琉球.Walking」代表の風良充佑紀さん。今回は「沖縄子供たちへの夢プロジェクト」企画で、SNSで公募しレッスンを受けた小学4年から中学1年までの29人の子どもたちが、プロのモデルらと共に

堂々とランウェイを歩いた。初めて出演した美里小学校4年の登川一真さん(9)は「自分で決めた衣装に合ったポーズや歩き方を覚えて、本番でビシッと決められたのがうれしくて楽しかった。みんなの前で歩くのは少し緊張したけど練習通り頑張れた」と話した。

風良さんは「ランウェイで歩くだけでメッセージを出せる力がある。子どもたちがプロモデルのように輝いて、沖縄を世界に発信していくきっかけになればいい」と述べた。

(喜納高宏通信員)

琉球新報 令和7年1月23日(木) 掲載

次号には、上原 卓朗 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

会 報 原 稿 募 集 の ご 案 内

広 報 委 員 会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)
 沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

薬連だより

オレンジ日記

新年度に向けて
～令和7年度予算編成ほか～

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



暦の上では2025年がスタートし、様々な思いを抱き、新たな目標に向かって社会全体が動き出していることと存じます。他方、今の時期は会計年度の終盤でもあり、新年度を間近に控え、これまでを振り返りつつ「次の準備」を行う時期に当たります。

令和7年度予算の編成も来年度からの社会経済活動を動かすための「準備」の一つで、一般会計総額が115兆5,415億円規模の政府予算案が昨年末に閣議決定されましたが、通常国会での審議を経て速やかな執行が求められます。

薬剤師関連予算は総額6億9,400万円が計上され、資質向上や専門人材の養成のほか普及啓発関連事業などを引き続き実施することに加え、対前年度比で約3億円の増額分を活用して、地域の実情に応じた医薬品提供体制の在り方をはじめ、地域医療計画の下で求められる薬局の機能強化につなげる予算となっています。そのため、予算が執行段階に入ることを見据えた準備を各自治体との間でよろしくお願いいたします。

また、地域医療構想の実現のため、在宅医療の推進や薬剤師確保に向けた取組に対して引き続き地域医療介護総合確保基金を活用で

きますが、薬剤師確保に関しては、病院・薬局での勤務経験がある薬剤師の復職支援に重点が置かれ、特に女性薬剤師の復職に大きな期待が寄せられています。

医薬品・医療機器等の産業振興関連では、令和6年度補正予算に加えて更に、厚生労働省において、創薬エコシステムの構築や医療機器創出に向けた支援強化やジェネリック医薬品などの普及促進につながる予算などが増額されており、文部科学省においても健康・医療分野の研究開発を推進することのほか、薬学教育において創薬研究人材を養成するための調査研究を始め、科学技術・イノベーション人材の育成・確保、理数系教育の強化、女性研究者の活躍促進などを加速させる内容となっています。

これらのほか本年4月の国立健康危機管理研究機構の創設関連予算や薬剤耐性（AMR）対策のための予算などが計上されている重要な予算案ですので、通常国会での円滑な審議に向けて尽力いたします。そして、女性局長としての党務、参議院議員として国民のいのちと暮らしを守る政策の実現のための活動を続け、「次の準備」にも万全を期す年度末にいたします。

●厚生労働省 令和7年度予算案の概要

<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/25syokanyosan/dl/01-01.pdf>

●令和7年度医薬関係予算案の概要（薬局）

<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/25syokanyosan/dl/gaiyo-02.pdf>

薬連だより

政幸だより
創薬への取り組み



参議院議員・薬剤師
神谷 政幸

令和6年9月12日、第一三共品川研究開発センターを視察させていただきました。こちらのセンターは、第一三共の研究開発の中心として様々な革新的な新薬を生み出しており、代表する薬の一つにエンハーツがあります。ご承知のようにこの薬剤はヒト上皮増殖因子受容体2型に対するヒト化モノクローナル抗体とトポイソメラーゼI阻害作用を有するカンプトテシン誘導体を、リンカーを介して結合させた抗体薬物複合体です。第一製薬と三共が統合されたのは2007年、エンハーツの開発プロジェクトは2010年にスタートしました。開発候補品は2012年に完成し、2015年には臨床試験が開始され、条件付き早期承認制度の適用対象として2019年に承認されました。第一の抗がん薬と、三共の抗体医薬の技術が融合し、エンハーツの開発が加速したというお話はとても興味深く、両社の統合によるイノベーションが結実した成果だと思いました。

その後9月20日に、アステラス製薬のSakuLabを視察させていただきました。この施設は2024年4月、アステラスつくば研究センターの敷地内に設立されたオープンイノベーション拠点です。入居後すぐに使える生物系・化学系の実験施設を備え、創薬に関するアステラスの様々な専門家によるサポートのほか、利用者同士、あるいはアステラスの研究者とのネットワークの機会が活用できます。現在2つの企業と1つの大学が入居し、研究が開始されています。また研究所では「匠の腕」ロボットMaholoを視察させていただきました。iPS細胞は非常に扱いが難しく、細胞培養には熟練した研究者の手技が必要です。Maholoは熟練した研究者の作業の再現を可能にしました。日本が世界をリードするロボティクス分野の発展が期待されます。

これからも日本の創薬を、しっかりと後押しして参ります。今回の視察にご尽力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げます。

お知らせ

沖縄県薬剤師連盟 Facebookをご覧ください！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

日薬通達

日本薬剤師会(令和6年9月27日付け日薬発第234号)より、厚生労働省医薬局長から届いた「医薬品販売制度に関する自己点検結果」について、会員へ周知する旨の以下通知がございました。

会員におかれましては、より一層の法令遵守の徹底を周知いただくとともに、適切な医薬品の提供並びに地域住民に呈して医薬品の適正使用を啓発いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

医薬品販売制度に関する自己点検結果について

平素より本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年9月27日付け日薬業発第234号にてご依頼の標記点検の実施につきましては、会務ご多忙の折ご対応いただき、誠にありがとうございました。

今般、その結果を取りまとめましたのでお知らせいたします(別添)。

本点検は、会員の従事する薬局等において、医薬品販売に関する法令上のルールを自ら点検し、その遵守状況を確認することを目的として取り組んでいただいております。

本年度の結果では、自己点検表を配付した薬局・店舗数が49,303軒、うち回答のあった薬局・店舗数が45,643軒(92.6%)であり、回答のあったうち「該当する全項目について適切に実施していることを確認できた」薬局・店舗数は45,588軒(99.9%)と、前年度に比べ、多くの薬局等において点検の実施ができ、該当する全項目について適切に実施できる状態となることが確認できました。

しかしその一方で、点検を実施できていない薬局等や不十分な項目について改善ができていない薬局等も一部見受けられる状況です。

国民の安全・安心な医薬品の使用のためには、医薬品販売制度に則った対応を形骸化させることなく、専門家としての薬剤師の適切な関与と適切な医薬品提供体制が不可欠です。

本点検の趣旨をご賢察いただき、本期間に点検を実施できなかった薬局等を含め、期間に限らず点検を実施いただき、全ての薬局等において法令遵守の徹底に向けて対応していただきたく存じます。

※次頁より詳細をご確認ください。

医薬品販売制度対応に関する自己点検の実施結果について

日本薬剤師会は、会員の従事する薬局・店舗が医薬品販売に関する法令上のルールを自ら点検し、その遵守状況を確認することを目的として、都道府県薬剤師会の協力のもと、医薬品販売制度に関する自己点検を実施した。

<実施概要>

- ・ 会員の従事する薬局・店舗を対象として、自己点検表(参考)を配付。
- ・ 本年度の自己点検では、医薬品販売制度における法令の基本的な項目に加えて、厚生労働省「令和5年度医薬品販売制度実態調査」の結果を受けて、改善が必要な項目(濫用のおそれのある医薬品販売時の対応や、資格者による相談・販売対応等)及び一般用検査薬における情報提供の項目を点検表に含めた。
- ・ 各薬局・店舗は、令和6年度自己点検表を用いて全項目について点検し、不十分な項目があれば改善を行った後、都道府県薬剤師会を通じて日本薬剤師会へ報告頂いた。
- ・ 実施期間: 令和6年9月27日(金)から11月29日(金)

1. 自己点検の回収結果の概要

	薬局・店舗数	率(%)
①: 対象薬局・店舗数	49,303 (前年度: 48,956)	—
②: 自己点検を実施した旨の報告が得られた薬局・店舗数	45,643 (前年度: 41,673)	92.6 (前年度: 85.1) (②÷①)
③: ②のうち、該当する全項目について、適切に実施していることを確認できた薬局・店舗数	45,588 (前年度: 41,585)	99.9 (前年度: 99.8) (③÷②)

※東京都薬剤師会においては、独自の自主点検表を用いて点検を実施した。

2. 都道府県薬剤師会毎の結果

は全国平均以下

No.	都道府県	自己点検表を配付した薬局・店舗数	実施した旨の報告が得られた薬局・店舗数	うち、該当する項目の適切な実施が確認できた数*	実施率	うち、該当する項目の適切な実施が確認できた率*
1	北海道	2,136	1,982	1,982	92.8%	100%
2	青森県	588	540	540	91.8%	100%
3	岩手県	552	519	519	94.0%	100%
4	宮城県	974	881	881	90.5%	100%
5	秋田県	486	469	469	96.5%	100%
6	山形県	558	528	528	94.6%	100%
7	福島県	805	768	765	95.4%	99.6%
8	茨城県	993	953	953	96.0%	100%
9	栃木県	722	621	621	86.0%	100%
10	群馬県	803	698	698	86.9%	100%
11	埼玉県	1,778	1,413	1,413	79.5%	100%
12	千葉県	1,847	1,244	1,234	67.4%	99.2%
13	東京都	4,347	4,290	4,268	98.7%	99.5%
14	神奈川県	1,896	1,743	1,743	91.9%	100%
15	新潟県	1,079	931	931	86.3%	100%
16	富山県	506	500	500	98.8%	100%
17	石川県	469	465	465	99.1%	100%
18	福井県	299	286	286	95.7%	100%
19	山梨県	346	269	269	77.7%	100%
20	長野県	915	860	860	94.0%	100%
21	岐阜県	935	847	847	90.6%	100%
22	静岡県	1,528	1,489	1,489	97.4%	100%
23	愛知県	2,951	2,772	2,772	93.9%	100%
24	三重県	766	762	762	99.5%	100%
25	滋賀県	554	541	541	97.7%	100%
26	京都府	1,029	974	973	94.7%	99.9%
27	大阪府	3,630	3,563	3,563	98.2%	100%
28	兵庫県	2,382	2,124	2,124	89.2%	100%
29	奈良県	451	411	411	91.1%	100%
30	和歌山県	457	403	403	88.2%	100%
31	鳥取県	271	228	228	84.1%	100%
32	島根県	335	311	311	92.8%	100%
33	岡山県	829	829	829	100%	100%
34	広島県	1,471	1,412	1,412	96.0%	100%
35	山口県	757	756	756	99.9%	100%
36	徳島県	374	256	256	68.4%	100%
37	香川県	505	504	504	99.8%	100%
38	愛媛県	623	603	599	96.8%	99.3%
39	高知県	376	361	361	96.0%	100%
40	福岡県	2,426	2,425	2,425	99.96%	100%
41	佐賀県	488	486	485	99.6%	99.8%
42	長崎県	695	676	676	97.3%	100%
43	熊本県	833	789	788	94.7%	99.9%
44	大分県	565	442	433	78.2%	98.0%
45	宮崎県	552	435	435	78.8%	100%
46	鹿児島県	858	809	809	94.3%	100%
47	沖縄県	563	475	471	84.4%	99.2%
計		49,303	45,643	45,588	92.6%	99.9%

※本会の自己点検表では、実施できていない項目は適切に改善してから報告することとしているが、東京都薬剤師会の点検表では、点検時点で実施できていた薬局・店舗の報告数としている。

参 考

【各薬局・店舗販売業→都道府県薬剤師会】

令和6年度 医薬品販売制度に関する自己点検

【目的】

国民が安全・安心にセルフケア・セルフメディケーションを行えるよう、薬剤師が薬機法に定められた医薬品販売ルールを遵守していることについて点検・確認を行うとともに、適切な取り扱い及び対応を確実なものとするため。

【自己点検 手順】

1. 本自己点検表を用いて、自薬局・店舗の医薬品販売ルールの遵守状況を確認しチェック☑を記入する。
2. 該当するOTC医薬品の備蓄がない場合であっても、遵守すべき体制を理解の上チェック☑を記入する。
3. 不十分な項目があれば改善を図り、適切に実施できる状態に改善した上でチェック☑を記入する。
4. 1.～3.が完了したら、所属の都道府県薬剤師会へ報告する。

令和6年度自己点検表

「○」は必須、「△」は努力義務

No	点検内容				確認欄	
1	名札を着用し、来局者から「薬剤師」「登録販売者」「一般従事者」を容易に判別できる				<input type="checkbox"/>	
2	薬局・店舗内の見やすい場所に「薬局・店舗の管理及び運営に関する事項」及び「要指導医薬品及び一般用医薬品の販売に関する制度に関する事項」等の必要な掲示をしている				<input type="checkbox"/>	
No	要指導	第1類	指定第2類	第2類第3類	点検内容	確認欄
3	○	○	○	○	リスク区分別（要指導、第1～3類）に陳列している	<input type="checkbox"/>
4	○	○	○	○	リスク区分に応じた資格者が販売を行っている（購入者に対して当該資格者の相談・対応がないまま、無資格の従業員がレジ会計を行わない）	<input type="checkbox"/>
5	○	○	—	—	購入者の手の届かないところに陳列している	<input type="checkbox"/>
6	○	—	—	—	薬剤師が購入者に対し、当該医薬品は本人が使用することを確認している	<input type="checkbox"/>
7	○	○	—	—	薬剤師が対面により注1、書面を用いた情報提供及び指導注1をしている	<input type="checkbox"/>
8	○	○	△	△	情報提供及び指導注1の内容を理解したこと、他に質問がないことを確認している（一般用検査薬の販売の場合、使用方法の説明にとどまらず、検査結果の理解や適切な行動選択にかかる丁寧な説明ができています）	<input type="checkbox"/>
9	○	○	△	△	販売記録を作成し、2年間保存している	<input type="checkbox"/>
10	○	○	○	○	需要者から相談があった場合は、必要に応じお薬手帳等を活用し情報提供又は指導注1している	<input type="checkbox"/>
11	—	—	○	—	指定第二類医薬品について、禁忌の確認や専門家への相談を促す掲示・表示等を行い、購入者にその内容が適切に伝わる取り組みを実施している	<input type="checkbox"/>
12	—	○注2	○注2	—	薬局・店舗で販売している「濫用等のおそれのある医薬品」を、すべての販売従事者が把握している（空箱やシール、ポストレジのアラート、取扱リスト等を活用）	<input type="checkbox"/>
13	○	○注2	○注2	—	1人1包装単位で販売している（1人あたり複数個販売していない）	<input type="checkbox"/>
14	○	○注2	○注2	—	頻回購入の購入者に対して、必要な指導・確認を行っている	<input type="checkbox"/>
15	○	○注2	○注2	—	当該店舗以外での購入状況等を確認し、必要な指導を行っている	<input type="checkbox"/>
16	—	○注2	○注2	—	購入者が若年者の場合、氏名及び年齢を確認している	<input type="checkbox"/>

※ 注1：要指導医薬品のみ適用 注2：「濫用等のおそれのある医薬品」が対象

No	点検内容	確認欄
17	該当する全ての項目について、適切に実施していることを確認した。	<input type="checkbox"/>

薬局・店舗名		管理者名	
TEL・FAX			

日薬通達

日 薬 発 第 2 6 1 号
令 和 6 年 1 2 月 2 5 日

都 道 府 県 薬 剤 師 会 会 長 殿
都 道 府 県 薬 剤 師 会 事 務 (局) 長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 岩 月 進

【重要】

2025年薬剤師賠償責任保険・サイバー保険等の加入募集について (ご連絡とお願い)

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、2025年2月15日開始の各種保険の募集方法を大幅に変更いたします。変更内容等につきましては、下記の通りです。これに伴い、会員の皆様からの貴会への照会等が増えることが予想されますので、会員への周知並びに加入資格確認等の事務処理におきましては、貴会の特段の協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、新たに取り扱いを開始しました、「クレーム対応費用保険」以外の保険制度内容につきましては従来通り変更の無いことを申し添えます。

記

1. 大幅改定の趣旨

2025年2月15日より、本会取扱い保険の募集方法を大幅に変更します。この変更により利便性向上と、より効率的で透明性の高い保険料収納を目指します。

2. 変更点

その1 決済方法を郵便局振込・口座振替・銀行振込からコンビニ決済・カード決済に変更します。
※その他の決済方法につきましては基本的に受付できません。

その2 WEB加入システムを導入します。
※契約者作成のマイページにて決済方法の選択から保険加入までの進捗状況の確認、加入者証・領収書の発行が可能となります。
※契約毎の保険料決済ではなく、複数契約の保険料を合算で決済できるようになります。
※契約者による加入者名変更、住所変更、プラン変更、解約等のお手続きが可能になります。
※保険料の返金は契約者指定の銀行口座情報へ振込となります。

その3 募集案内文書他、保険関係書類郵送物の変更と廃止を行います。

その4 クレーム対応費用補償保険の取り扱いを開始します。

その5 会員向け募集案内発送時期が今年度に限り遅れます。
※システム変更や新規保険取扱い開始の準備のため、募集案内の発送が例年12月中旬のところ1月14日頃に後ろ倒しになりました。

その他詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

【別添資料】

- ・別添1 2025年2月15日始期分 保険募集内容等大幅改定について
- ・別添2 薬剤師賠償責任保険等本会取扱い保険についての概要

別添 1

2025年2月15日始期分 保険募集方法等 大幅改定について

今回の改正に伴う、変更内容は下表の通りです。
 参考までに資料番号を付しておりますので、併せてご覧ください。

募集案内文書等

項目	従来	変更後
添書 (鏡文)	決済方法により文書 記載事項が異なる	(表面) 全員同一の文書 (裏面) 保険加入時に必要な入力情報を記載
(会員向け) パンフレット	郵送	送付を廃止 ※WEB サイトで提供
(貴会向け) パンフレット	郵送	送付を廃止 ※WEB サイトで提供
(会員向け) リーフレット	-	パンフレットの代用として会員向け募集案内に同封 (記載事項) 保険概要・保険料・WEB 加入システム利用方法等
(貴会向け) リーフレット	-	従前と同部数提供予定
封筒 サイズ	角2封筒 A4 サイズ	長3封筒 (従来の1/3 のサイズ)
封筒 カラー	薄いブルー	オレンジ
発送時期	12 月中旬	2025年1月14日頃 ※2025年のみ 2026年からは通常通り12月中旬を予定

WEB 加入システム

項目	従来	変更後
システム利用者	-	<契約者（ログインID 取得者）> 日薬会員・非会員問わずログインID 取得可 <加入者> 本会正会員かつ各保険加入条件を満たした者 ※従来と変更なし
保険料納入方法	<ul style="list-style-type: none"> ・払込取扱票を利用した郵便局にて払込 ・口座振替 ・銀行決済 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード決済 ・コンビニ決済 ※セブンイレブンのみ開設次第利用可
決済代行業者	-	SB ペイメントサービス株式会社
領収書	-	WEB 加入システムより各自出力
加入者証	郵送	WEB 加入システムより各自出力
各種変更手続	本会HPより用紙をダウンロード後、必要事項記入の上、提出	WEB 加入システムより各自変更・修正
返金方法	払出証書にて指定の住所へ郵送	WEB 加入システムにて各契約者（保険料納入者）より指定された返金先銀行口座へ振込

別添 2

薬剤師賠償責任保険等本会取扱い保険についての概要

1. 薬剤師賠償責任保険 サイバー保険・クレーム対応費用保険（新設）の概要

(1) 前年度との記載事項変更点

1. インボイス制度への対応

インボイス制度対応の領収書をWEBシステムのマイページより各自ダウンロードの上ご利用いただけます。

2. 加入者証の発送

領収書同様、WEB加入システムのマイページより各自ダウンロードの上ご利用いただけます。

3. クレーム対応費用保険（新設）のページが追加されました。

(2) 保険期間

2025年2月15日午後4時～2026年2月15日午後4時

◆ 中途加入の場合は決済手続き完了日の翌日

※ コンビニ決済の場合は、コンビニの窓口にてお支払いが完了した翌日となります。

(3) 保険料

薬局契約		補償内容概要		年間保険料 (円) ※赤字が変更後保険料
加入プラン		薬剤師賠償責任保険	オプション サイバー保険	
基本プラン	薬局 A	保険金額 1.5 億円		3,600
	薬局 B		保険金額 1,000 万円	17,100
	薬局 C		保険金額 1 億円	30,600
充実プラン	薬局 D	保険金額 2 億円 初期対応サポート (お見舞い費用など) 特約付帯		4,500
	薬局 E		保険金額 1,000 万円	18,000
	薬局 F		保険金額 1 億円	31,500
サイバー保険のみ	サイバー G		保険金額 1,000 万円	13,500
	サイバー H		保険金額 1 億円	27,000
新設 クレーム対応費用保険		お支払する弁護士費用の支払限度額 ※自己負担額0円 100万円/事故 (期間中200万円)		9,000

薬剤師契約		補償内容概要		年間保険料 (円)
加入プラン		薬剤師賠償責任保険	オプション サイバー保険	
基本プラン	薬剤師 A	保険金額 1.5 億円		1,950
充実プラン	薬剤師 B	保険金額 2 億円		2,850

(4) 加入方法・保険料支払方法・申込締切

1. 決済方法はクレジットカード、またはコンビニ決済の2種類のみです。従来の方法でご入金いただいても対応できかねますことをご了承ください。
2. 上記の方法では対応出来ないという方に関しましては、WEB加入システムのお問合せボタンからメールにより本会へ問合せするようご回答ください。
3. 加入方法はご契約者の方ご自身でマイページを作成していただくこととなります。保険加入に必要な事項が自動反映されるよう、募集案内の裏面に申込コードを記載しております。パスワードは、募集案内が届いた住所の貴会（本会）会員情報登録の電話番号末尾4ケタになります。パスワードについてのお問合せが会員よりありましたら、ご対応お願いいたします。

(5) 保険加入資格について

1. 本会正会員として会員番号が付番され、本会会員名簿登録事項が保険申込内容と一致している方が加入可能です。相違している場合は、加入者証の出力ができません。会員より貴会へ照会がありましたら、会員情報の変更等のご対応をお願いいたします。

★下記ケースの場合は変更報告書を所属の薬剤師会へ提出するよう、会員へ周知ください。

- ①勤務薬剤師から管理薬剤師に変わっている。
 - ②薬局名称や住所が変わっている。
 - ③自宅住所が変わっている。
 - ④勤務先が変わっている。
 - ⑤改姓している。
2. 薬局契約は、本会会員名簿に登録されている薬局での加入になります。複数店舗を有する開設者または法人代表者は、本会会員名簿に登録されている店舗でのみ加入可能です。
 3. メーカーや卸売販売業等に勤務されている正会員は、薬剤師賠償責任保険の対象にはなりません。「お客様相談窓口」等で直接消費者との医薬品情報の提供業務を行っている方は薬剤師契約に加入可能です。前年度当該保険に加入していない会員へは募集のご案内をお送りしておりませんので、加入を希望される場合は、本会HPよりお手続きいただくか、貴会へ事前送付しております「リーフレット」をお渡しさせていただきますよう、お願いいたします。
 4. 本会正会員の貴会情報担当部署の職員は、各自薬剤師契約をお申込みください。薬局契約の申込みはできません。ご了承ください。
 5. 本会会員名簿に「無職」で登録されている会員には、2024年10月までに保険加入している会員にのみご案内しますので、ご案内を受け取っていない「無職」登録の会員が加入を希望される場合は、3.と同様のご案内をお願いいたします。

(6) 加入後の変更について

申込内容を変更する際には、ログインID取得者によりWEB加入システムのマイページから各自変更が可能です。(パンフレット6ページに詳細記載)

(7) 加入後、再加入が必要な場合について

薬剤師賠償責任保険の薬局契約やサイバー保険契約は、薬局店舗にかかる保険であり、監督責任者(本会正会員の管理薬剤師、開設者または法人代表者)の名義で加入することになっています。その監督責任者が変更となった場合は、マイページにて変更の手続きをしていただくことで、現行の保険を継続できますが、譲渡等により経営母体に変更になる場合は、事故発生時の保険金受取先や事故責任の所在を明確にするため、保険譲渡について話し合ってください。譲渡しない場合は、譲渡前の加入者により解約手続きをし、譲渡後の監督責任者名で改めてログインIDを取得の上、保険の加入手続きを行っていただくよう、ご説明をお願いいたします。

(8) 留意事項

保険料を支払い済でも、本会会員登録が無い場合は、保険加入希望日に補償開始にならないこともございますので、ご注意ください。

例：保険料を支払う時点では非会員の方が1月28日に保険料をお支払いいただいても、その方の会員入会受付が4月1日の場合、保険加入始期は4月1日となる場合があります。

2. アンチ・ドーピング活動保険の概要

(1) 補償内容

詳細は本会HP掲載のパンフレットをご覧ください。

(2) 保険期間

2025年2月15日午後4時～2026年2月15日午後4時

◆中途加入の場合は決済手続き完了日の翌日

※コンビニ決済の場合は、コンビニの窓口にてお支払いが完了した翌日となります。

(3) 保険料

年間保険料2,700円

中途加入保険料につきましては本会HP掲載のリーフレットをご覧ください。

(4) 加入方法・保険料支払方法・申込締切

賠償責任保険・サイバー保険、クレーム対応費用補償保険と同様です。

3. 休業補償保険・長期休業補償保険概要

(1) 補償内容についての主な留意点

インボイス制度への対応
適格請求書については本会HPにて説明しております。

(2) 補償内容

詳細は「薬剤師休業補償保険」のパンフレット2ページ及び3ページをご覧ください。

(3) 保険期間

2025年2月15日午後4時～2026年2月15日午後4時
◆中途加入の場合：本会への書類到着日翌月15日～2026年2月15日午後4時
(パンフレット6ページに詳細記載)

(4) 保険料

2024年の保険料と同額(パンフレット4ページに詳細記載)
◆年齢区分に応じて、保険料も変更します。

(5) 申込方法・申込締切

申込方法

今年度募集から書類(加入依頼書)での申込みのみとなりました。

申込方法	保険料支払方法	必要書類
書類(加入依頼書)での申込み	口座振替	●加入依頼書 ●預金口座振替依頼書 ●告知書 日本薬剤師会HPまたはご案内同封のチラシからご請求ください。

申込締切

申込方法	書類提出締切日 (日本薬剤師会必着)	補償開始日	口座振替(引落日)
書類(加入依頼書)での申込み	1月31日	2月15日	(初回引落)4月26日 以降毎月26日 ※金融機関が休業日の場合は翌営業日

(パンフレット6ページに詳細記載)

4. 対象者と送付書類

2024年10月20日時点の本会会員名簿に基づき、保険加入資格を有する会員に募集案内書類を送付いたします。2024年の加入方法によって送付物が異なりますので、下表を参照してください。

(募集案内書類)

- ① 2025年加入版 薬剤師賠償責任保険・サイバー保険等 日本薬剤師会取扱い各種保険加入のご案内 案内状

※裏面にご加入時に必要な申込情報等記載有

- ② 日本薬剤師会取扱い各種保険加入のご案内 (リーフレット)
 ③ 休業補償保険・長期休業補償保険チラシ (新規加入申込書送付依頼書付)
 ④ 休業補償保険・長期休業補償保険 継続のご案内 (既加入者のみ)
 ⑤ 薬剤師休業補償保険パンフレット (既加入者のみ)

保険種類	送付対象者			送付先	送付物
	会員属性	業種別・薬剤師区分	前年加入状況		
1. 薬剤師賠償責任保険	正会員 ※注1	法人代表者	1.~5.のいずれの保険においても既加入・未加入問わず全員及び6.における前年未加入者	本会会員登録の勤務先	1. ご案内状 ※裏面に申込コード等の記載あり 2. リーフレット 3. 休業補償保険リーフレット
2. サイバー保険		開設者			
3. アンチ・ドーピング活動保険		管理薬剤師			
4. クレーム対応費用保険		その他の薬剤師	日薬誌送付先住所		
5. 薬剤 (商品) 補償制度					
6. 休業補償保険・長期休業補償保険		制限なし	既加入者	同上	

※注1：2024年10月までに保険未加入の「会員名簿業態：教育研修・行政・卸売販売・医薬品製造販売・無職」の会員を除く。

5. 会員向け広報

日薬雑誌、日薬ニュース2024年12月号～2025年2月号に掲載いたします。

6. 保険会社からの説明について

各都道府県薬剤師会担当の保険会社 (損害保険ジャパン株式会社) より2025年2月中旬までに貴会にご説明に伺います。追って担当者より連絡がございますので、日程のご調整をお願いいたします。

各都道府県で薬剤師賠償責任保険 サイバー保険並びに休業補償保険・長期休業補償保険の他、相続税対策等を希望される事項を組み入れたセミナー開催等も可能です。

8. 問い合わせ先

総務部 会計・厚生課 損害保険担当 TEL:03-3353-1190

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
 (香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局 (玉寄・大城) : 098-963-8930

12月

- 1日○令和6年度第2回女性薬剤師部会研修会 県薬研修室
- 5木○沖縄県UIターンガイドダンス（九州医療科学大学）九州医療科学大学 上地徳重、事務局：大城事務局長・平安山
- 5木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美（医療保険委員会）
- 5木○令和6年度第2回医療保険委員会 県薬研修室
- 6金○令和6年度第2回会営薬局委員会 県薬会議室
- 7土○令和6年度第2回沖縄県認知症疾患医療連携協議会 WEB 中尾滋久（保健福祉委員会）
- 9月○協会けんぽ沖縄支部来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事、事務局：大城事務局長・長嶺主任
- 9月○佐久川碧氏（株式会社薬正堂管理栄養士）来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事、佐藤常務理事
- 9月○令和6年度第9回業務執行理事会 県薬会議室
- 10火○九州厚生局長来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事
- 11水○沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課来訪（登録販売者試験当日業務について） 県薬会議室 中村薬務専門監、米村わかな、阿部専務理事、事務局：大城事務局長・玉寄課長・金城
- 12木○令和6年度薬事衛生連絡協議会・技術研修会 静岡県生活科学検査センター藤枝検査所 小泉試験検査センター長代理
- 13金○NAHA ミライCity in school 那覇市立金城中学校 阿部専務理事、事務局：長嶺主任・砂川
- 14土○令和6年度第9回理事会 ホテルコレクティブ
- 15日○令和6年度沖縄県登録販売者試験 沖縄県立武道館 事務局：金城
- 16月○沖縄県国保ヘルスアップ支援事業 第2回研修会 沖縄県医師会館 阿部専務理事、吉田理事、事務局：長嶺主任・松堂
- 17火○沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課来訪（薬学部設置に係る県内国公立大学との話し合いの報告） 県薬会議室 中村薬務専門監、泉水主幹、前濱会長、阿部専務理事
- 18水○社会保険診療報酬支払基金 令和6年12月審査運営協議会 沖縄審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 18水○令和6年度第2回沖縄県保険者協議会 八汐荘4階中会議室 阿部専務理事
- 19木○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 照屋林一郎（医療保険委員会）
- 19木○美ら島レスキュー2024第2回全体説明会 陸上自衛隊那覇駐屯地 姫野常務理事、長嶺主任
- 19木○沖縄県医療提供体制協議会「新興感染症等医療部会」 沖縄県医師会館 姫野常務理事
- 19木○令和6年度第1回試験検査センター委員会 県薬ホール
- 20金○令和6年度基金事業補助金、委託事業に係る中間検査 県薬会議室
- 20金○美ら島レスキュー2024シナリオ作成打ち合わせ 県薬会議室 姫野常務理事、知念理事、鈴鹿理事、坂本政文（災害対策委員会）、長嶺主任
- 21土○新琉球大学病院内覧会 新琉球大学病院 前濱会長、古謝副会長、鈴鹿理事、大城事務局長
- 22日○令和6年度第9回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 22日○令和6年度第2回学校薬剤師部会研修会 県薬研修室

令和7年1月

- 2木○沖縄県知事令和7年度新春の集い 沖縄県知事公舎 前濱会長
- 6月○令和6年度第10回業務執行理事会 県薬会議室
- 7火○令和6年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 佐藤常務理事
- 7火○株式会社ズケン沖縄薬品（上原浩司代表取締役）新年挨拶来訪 県薬会長室 阿部専務理事 大城事務局長
- 8水○初薬師 県薬神殿
- 9木○集団的個別指導 那覇第一地方合同庁舎 宮城常務理事
- 9木○美ら島レスキュー2024打ち合わせ 県薬会議室 姫野常務理事、知念理事、鈴鹿理事、坂本政文（災害対策委員会）、長嶺主任
- 9木○沖縄県歯科医師会新年祝賀会並びに令和6年度受賞合同祝賀会 ザ・ナハテラス 前濱会長
- 10金○沖縄県教育庁保健体育課表敬訪問 県庁 知名理事、新垣紀子部会長、久手堅奈央（学校薬剤師部会）、事務局：平安山
- 10金○令和7年沖縄県小児保健協会新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 古謝副会長、知名常務理事
- 11土○沖縄県看護協会受賞祝賀会並びに新年会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 前濱会長
- 11土○沖縄県栄養士会令和7年新年会並びに表彰受賞祝賀会度新年会並びに表彰受賞祝賀会 ノボテルホテル沖縄那覇2階ラーボ 古謝副会長
- 11土○能登半島地震における被災地支援薬剤師への感謝状贈呈 県薬ホール
- 11土○令和6年度第10回理事会 県薬研修室
- 11土○令和7年沖縄県医師会新年祝賀会並びに医事功労者表彰式 ホテルコレクティブ 川満副会長
- 15水○令和6年度第4回都道府県会長協議会前講演会 日薬 前濱会長
- 15水○令和6年度第4回都道府県会長協議会 日薬 前濱会長
- 15水○日本薬剤師会新年賀詞交歓会 ホテルニューオータニ 前濱会長
- 15水○社会保険診療報酬支払基金令和6年1月審査運営協議会 沖縄審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 15水○なごみ会主催県民健康フェア第3回実行委員会 沖縄県医師会館 松本圭五（保健福祉委員会）、長嶺主任
- 15水○令和6年度第6回地域医療提供体制対策小委員会 県薬会議室
- 16木○令和6年度訪問薬剤管理指導推進事業訪問薬剤師連携講習会 県薬研修室
- 17金○令和6年度沖縄県医療費適正化計画検討委員会 南部合同庁舎 喜友名常務理事
- 17金○令和6年度第1回沖縄県公害審査会 県庁 鈴鹿理事
- 19日○令和6年度沖縄県薬業連合会主催薬事功労受賞者合同祝賀会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城
- 23木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 西川裕（医療保険委員会）
- 23木○会営薬局とよみ個別指導 会営薬局とよみ 前濱会長、会営薬局とよみ:宮里管理薬剤師、玉寄課長、當山事務主任
- 24金○緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究の継続等に関する説明会 WEB 村田理事

- 25土○日薬九州ブロック会議前日夕食会 ANAクラウンプラザホテル福岡 前濱会長
26日○健康サポートのための多職種連携研修会【A研修】 県薬研修室
26日○健康サポートのための薬剤師の対応研修会【B研修】 県薬研修室
26日○令和6年度日本薬剤師会九州ブロック会議 TKPガーデンシティ PREMIUM天神スカイホール前濱会長、川満副会長
26日○令和6年度第10回学校薬剤師部会役員会 県薬会議室
26日○沖縄県臨床検査技師会令和7年沖臨技新年会 ノボテルホテル沖縄那覇 江夏監事
28火○九州厚生局来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事
28火○新見総合法律事務所（新見研吾弁護士）来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事
29水○沖縄県UIターンガイドダンス（昭和薬科大学） 県薬研修室 米村わかな（沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課）、事務局：大城事務局長、平安山
29水○令和6年度第2回保健福祉委員会 県薬研修室
30木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 喜屋武芳美（医療保険委員会）
30木○令和6年度沖縄県自殺対策連絡協議会 県庁 又吉理事
30木○令和6年度訪問薬剤管理指導推進事業在宅訪問薬剤師連携会議 県薬研修室
31金○令和6年度第3回会営薬局委員会 県薬会議室

沖縄県薬剤師連盟

12月

- 10金○令和6年度第3回沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室
14火○西銘恒三郎君と日本の未来を語る会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 前濱会長、名嘉副幹事長

令和7年1月

- 7金○2025公明党沖縄県本部賀詞交歓会 浦添市産業振興センター 前濱会長、江夏監事
8土○自由民主党沖縄県第三選挙区支部主催新春の集い（島尻あい子） 沖縄市民会館 前濱会長、大城事務局長
9日○自由民主党沖縄県支部連合会総務会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長
9日○自由民主党沖縄県支部連合会令和7年新春の集い パシフィックホテル沖縄 前濱会長、阿部専務理事
10月○宮崎政久衆議院議員令和7年新春の集い 浦添市社会福祉センター 前濱会長、石川幹事長
16日○日本薬剤師連盟令和6年度第2回全国会長・幹事長拡大会議 AP日本橋（東京都） 前濱会長、石川幹事長
16日○本田あきこ中央後援会令和6年度第2回役員会 AP日本橋（東京都） 前濱会長、石川幹事長
18火○2025年新春の集い（西銘恒三郎） 南風原町中央公民館 前濱会長、名嘉副幹事長
23日○小淵優子自民党組織運動本部長との懇談会 沖縄市民会館 石川幹事長、阿部常任総務、大城事務局長
23日○花城ダイスケ総決起大会 沖縄市民会館 前濱会長、石川幹事長、知名組織強化担当、阿部常任総務、佐藤常任総務、江夏監事、福地中部地区薬剤師会会長、事務局：大城事務局長・

会 務 報 告

玉寄課長・長嶺主任・平安山・比嘉・金城・荒殿

- 25火○衆議院議員コクバ幸之助令和7年新春の集い 沖縄県市町村自治会館 神村相談役、阿部専務理事
- 25火○花城ダイスケ打ち上げ式 ゴヤ十字路 石川幹事長、江夏監事、福地中部地区薬剤師会会長、事務局：大城事務局長・長嶺主任・上原主任・川平・荒殿
- 26水○令和6年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会 TKPガーデンシティ PREMIUM天神スカイホール 前濱会長、川満副会長、石川幹事長、知名組織強化担当、阿部常任総務 大城事務局長
- 26水○本田あきこを励ます会 TKPエルガーラホール 前濱会長、川満副会長、石川幹事長、知名組織強化担当、姫野副幹事長、阿部常任総務、喜友名常任総務、大城事務局長、玉寄課長
- 26水○日本薬剤師連盟九州ブロック会議懇親会 サンミケーレ（ホテルモントレ福岡）前濱会長、川満副会長、石川幹事長

ぶれいく
たいむ



会員の投稿が掲載されました

転載記事



写真集

池間きよ(78)

私の部屋の壁に、姉が以前沖繩に遊びに来た時に撮った美ら海水族館と、オオゴマダラが群れている写真が飾ってある。写真撮影が趣味だった姉は、趣味が高じて写真教室に通い、たびたび写真展に出品していた。副賞でハワイ旅行や台湾旅行がプレゼントされたこともある。また、入選した写真は絵はがきにすることができたので、作成して知り合いに配っていた。

姉の家にいくと、撮影した日時や場所ごとにきれいに整理されたフォトブックが本棚にずらりと並んでいるので、いつも感心して見ている。

姉が亡くなった後、どうしても姉の写真集を残しておきたい、姉の子どもたちに相談すると、早速大きな大きな段ボール6箱に写真を入れて送ってき

いざ写真集を作成する段階になって、知り合いに相談してみると個人の方で写真集を作成するのは、そんなに簡単なことではないと言われてしまった。「CDにしてみたら」とアドバイスされて、それならと作ることにした。

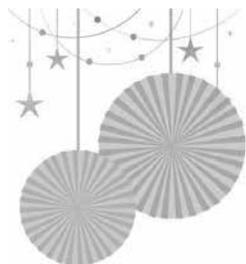
まずは大量の写真から選ぶ作業が始まって、次に返却された出品作品はがつちりと額に入っているのを、これを外して写真を撮り、また元の姿に戻すという作業。これが済めば後は順番を考え、姉の満面の笑みの写真をレーベル面にして、バックミュージックを付けて、何とかそれらしいものが出来上がったのである。

しかし、いまだにやはり無理してでも冊子にした方が良かったのではないだろうか、という思いにとらわれたりしている。

(浦添市)

2024・12・4 沖縄タイムス

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



誌上ギャラリー(裏表紙) について



令和6年誌上ギャラリー大賞

第322号(令和6年3・4・5月号)掲載 **飯塚 雄矢**氏の撮影写真「由布シルキーロードから見る由布岳」

令和6年誌上ギャラリー優秀賞

第321号(令和6年6・7月号)掲載 **喜屋武 芳美**氏の撮影写真「サガリバナ」

おめでとうございます！これからも会員の皆様からの多くの作品をお待ちしております!!

編 集 後 記

数年前、はじめて本物の「モナリザ」を見ました。衝撃でした！芸術に疎い私でも本物を目の前にすると緊張と感動で、しばし見入ってしまいました。

そして昨年。「ゴッホ・アライブ東京展」を見たのです。驚きました！う、動いている・・・絵が動き音楽まで流れている。まるで絵の中に入ったような不思議な感覚です。これは没入型展覧会、イマーシブ展覧会などといわれており、「展示」ではなく「投影」という表現になっていることも。ルーブル美術館の「モナリザ」とは違う意味での感動でした。

今年は「動き出す浮世絵展TOKYO」に行こうと思っています。

もしかしたら・・・映像と音楽、香り漂う「イマーシブ薬局」なんていうものが現れるかもしれません。う～む、世の中についていくのも大変だわ。
(クララ)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

私事ではございますが、昨年12月に結婚いたしました。結婚後の初めての正月ということで、年末年始は親戚への挨拶まわりなどに追われ、慌ただしく過ごしておりました。多くの方々から祝福のお言葉をいただき、大変嬉しく思っております。せっかくの連休でしたが、予想以上に忙しく、あっという間に過ぎてしまいました。ただ、お祝いの席では美味しいものが多く、つい食べ過ぎてしまい、いわゆる「正月太り」を経験する羽目に。。これを機に、今年も健康的な生活を心がけようと思っております。(少しずつですが)。

新しい年が始まり、気持ちを新たに尽力してまいります。今後ともどうぞよろしくお祈りします。
(ちゃげ)

新年そうそう少し寂しい話題になります
が琉球大学病院が、2025年1月に宜野湾市
キャンプ瑞慶覧の西普天間住宅地区の跡地
に造られた建物へ移転した事に伴い、会営
薬局うえはらは12月いっぱい閉局した。

会営薬局うえはらは琉球大学医学部附属
病院の院外処方箋発行に伴い、平成4年
(1992年)6月から琉球大学医学部附属病院
の処方箋を応需するようになった。30年以上
も前の話ではあるが琉球大学医学部附属病院
の院外処方箋発行を契機として総合病院・
各県立病院の院外処方箋発行が続いたので、
医薬分業推進に向けて熱い思いで皆さん取
り組んでいたなど、今でも昨日のこのよ
うに思い出される。

会営薬局は会員に対しての研修、調剤技術
指導、医薬品の備蓄供給等、会員の困ったと
きの後ろ盾になってくださっていた。この後
ろ盾がなくなるのはやっぱり寂しい。なにか
思い出になるものはないかと会営うえはら
に行ってみた。ほとんど何も残っていなかつ
たが、調剤した薬を入れるトレーが残って
いたので頂いて、今薬局で毎日使っている。
(ピアノ)

2024年の後半は立て続けに良いことがあり、引越しや新たな出会い、イベント出演と大忙しに
過ごしました。その中で、人と人の繋がりがとても大切で私にチャンスや良い出会いを与えて
くれたのは「ご縁」でした。これまでは自己否定の人生でしたが、最近は周りへの感謝と幸せだ
なあ、恵まれているんだと思うようになりました。心が凧なもの、2年ほど頑張っている食事
と体質改善のお陰だなあと確信した年。

2025年は、「禍福は糾える縄の如し」の言葉を思い出し、調子に乗らないように楽しみたいです。
(アリゴリ)

明けましておめでとうございます。

我が家の2024年最大のニュースはツインズ
の誕生、家族4人+ネコ2匹で迎える初
めての年越しとなりました。ギャーギャー
ニャーニャーと騒がしくもにぎやかで、今
までとはまた違った喜びを感じるお正月を
迎えられました。1400gと1800gと小さく生
まれましたがミルクもたくさん飲んでくれ
てすくすくと元気に育っております。夜泣
きもせず6時間前後しっかりと寝てくれ
てすでに親孝行な子たち(笑)

ちなみにツインズの誕生日は2024.7.29。
この日は「天赦日」「一粒万倍日」「母倉日」
「大安」が重なる最強の開運日。この子たち
が我が家に来てくれたことに感謝しつつ、今
年もこの子たちがたくさんの福を運んでき
てくれることに期待し、それに喜びと感謝
で応えられるように全力で楽しんでいき
たいと思います。

それでは今年もよろしくお願ひ致します。
(ハンバーグ)

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kawahira@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報 第326号 令和7年2月20日発行

◇次号は、令和7年4月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長/宮城敦子 委員/池間記世・運天芳生・宮本直樹・喜久山有沙

久米島通信員/山城晶 宮古地区通信員/前里由紀子

八重山地区通信員/波多江直也 事務局/大城喜仁・川平真央

印刷：株式会社 東洋企画印刷

令和6年 誌上ギャラリー大賞



「由布シルキーロードから見る由布岳」photo by 飯塚 雄矢(会営薬局とよみ)
第322号(令和6年3・4・5月号)掲載

令和6年 誌上ギャラリー優秀賞



「サガリバナ」photo by 喜屋武 芳美((株)薬正堂)
第323号(令和6年6・7月号)掲載